

令和7年2月5日

【担当者】

香川県教育センター 教育研究課 天野・三好
087-813-0931(直通)

香川県教育委員会事務局 義務教育課 久利
087-832-3741(直通)

令和6年度香川県学習状況調査報告書について

令和6年度香川県学習状況調査を令和6年10月、11月に実施しました。香川県教育センターでは、調査結果について成果や課題が明らかになるよう、児童生徒の学習や生活の諸側面等に関する状況を分析し、本報告書にまとめました。それぞれの市町や学校の実情に照らし合わせて、本報告書を適切に活用した教育実践がなされるよう、活用支援を行います。

1 調査の概要

(1) 調査の対象

県内公立学校の小学校第5学年及び中学校第2学年の全ての児童生徒

〔学校数 小学校 151 校、中学校 66 校（附属学校及び県立学校を含む）〕

(2) 調査の時期

小学校：令和6年10月29日（火）～11月8日（金）

中学校：令和6年11月5日（火）～11月14日（木）

(3) 本年度の出題の主旨

「思考力・判断力・表現力等」の問題に重点を置いて出題し、「知識及び技能」を活用して課題を解決する力が育っているかどうかを測り、学習指導に係る検証改善サイクルの確立を図る。

2 調査の結果から

(1) 読み取った情報を基に考えたり、結び付けて考えたりすること

- ・ 文章や資料から必要な情報を読み取ったことを基に、自分の考えをもったり、表現したりする問題の正答率が低く、無解答率が高い。(p29～48、p31)
- ・ 複数の情報を結び付けて考える問題の正答率が低く、無解答率が高い。(p29～48、p37)

(2) 児童生徒主体の学びの実現に向けた授業改善

- ・ 自分で考え、自分から取り組んでいると回答した児童生徒は70%を下回っている。(p6)

(3) 自己有用感に関すること

- ・ 自分にはよいところがあると肯定的に回答した児童生徒の割合が増加している。(p26)

(4) 家庭での勉強時間と一人一台端末の持ち帰り利用

- ・ 授業以外で、普段、1時間以上勉強している児童生徒の割合が減少している。(p25、p65)
- ・ 端末を、毎日、もしくは時々、家庭で利用できるようにしていると回答した学校の割合が増加している。(p25、p82)

3 市町教育委員会や学校への支援

- ・ 市町教育委員会や学校からの要請に応じて、指導主事を派遣し、調査結果に基づいた教育活動が行われるよう支援する。
- ・ 電話等で調査結果の分析や活用を支援する。

令和6年度 香川県学習状況調査 報 告 書

令和7年2月

香川県教育センター

目 次

はじめに	1
授業改善のポイント【義務教育課】	2
調査の結果から見られる特徴	4
特集1「自分ごとの学びを支える」	6
特集2「今後取り組みたいICT活用」	8
I 調査結果（概論）	9
調査の概要	10
香川県重点項目に関する質問項目	12
全体的な状況	13
正答数・正答率の分布	14
無解答率	16
結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	17
教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計	18
結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	22
Question 1「学習意欲」	23
Question 2「言語活動」	24
Question 3「学習習慣」	25
Question 4「自己有用感・規範意識等」	26
Question 5「学校生活」	27
Question 6「メディアの利用」	28
II 教科に関する調査結果及び分析	29
国語	30
社会	34
算数・数学	38
理科	42
英語	46
III 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）	49
児童生徒質問紙調査結果一覧	50
児童生徒質問紙調査結果経年比較	58
学校質問紙調査結果一覧	68
学校質問紙調査結果経年比較	76
学校改善に向けた調査結果の活用	86

はじめに

今年度の香川県学習状況調査の結果を分析し、報告書にまとめました。4月に行われた全国学力・学習状況調査の出題趣旨や傾向、調査結果を踏まえ、約半年間の学校における教育及び教育施策の成果と課題を検証し、改善に向けた情報を提供することを目的としています。

本報告書では、冊子の初め（p4、5）に今回の調査の結果から見られる特徴を簡潔に示しています。その上で、特に意識していただきたい事柄について特集（p6～8）を組んでいます。

「特集1 自分ごとの学びを支える」では、児童生徒が自分の目標をもつことで児童生徒主体の学びの実現につながることを期待できることを紹介しています。授業に自分の目標をもって取り組んでいる児童生徒ほど、「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができている」「分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいる」と回答しています。

「特集2 今後取り組みたいICT活用」では、ICTをさらに活用することで、協働的な学びを促進することが期待できることを紹介しています。「学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている」と肯定的に回答した児童生徒が80%を上回っている機を逃さず、教師のしかけによって、多様な他者とつながる学習活動の工夫が望まれます。

今後の授業改善の方向性については、教科に関する調査結果及び分析（p29～48）で、教科ごとに提案しています。その他ページには詳細なデータや分析結果を掲載しておりますので、Columnもあわせて、必要に応じてご活用ください。

各市町（学校組合）教育委員会・各学校におかれましては、本報告書と全国学力・学習状況調査報告書を併せてご活用いただき、国や県の動向も注視しながら、市町（学校組合）や自校の現状把握、分析、改善に取り組んでいただきますようお願いいたします。当センターといたしましては、指導主事等が直接学校等に出向き、状況の分析や改善について一緒に考えるなど、一層の学校支援に努めてまいりますので、どうぞ、ご相談ください。

最後になりましたが、本報告書の作成に関し、ご指導・ご助言を賜りました香川大学教育学部の佐藤明宏先生、松島充先生、岡田涼先生、経済学部の横山佳充先生に深く感謝の意を表します。

令和7年2月

香川県教育センター
所長 福田 宏志

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて

1 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

令和3年1月の『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」において、2020年代を通じて実現を目指す学校教育の具体的な姿として、また、一人一人の子どもを主語にする学校教育の目指すべき姿として「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」が示されました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」は、次のようにまとめられています。

「個別最適な学び」

「個に応じた指導」を学習者の視点で整理した学び

- 「指導の個別化」：教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなど
- 「学習の個性化」：子供自身が学習が最適となるよう調整できるように、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することなど

「協働的な学び」

探究的な学習や体験活動などを通じ、子供同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する学び

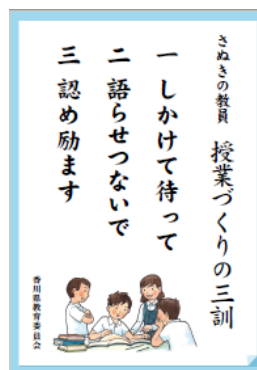
（「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（令和3年3月版）」、文部科学省）

本県においても、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を図るために、「授業づくりの三訓」を心構えとして、各学校において授業改善に取り組んでいただいているところですが、ここでは改めて、その際のポイントを確認したいと思います。

2 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善のポイント

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を実現させるためには、子どもたちが「解決したい」「友達の考えを聞きたい」などの思いや願いをもつことができるような教師の『しかけ』や子どもに委ねる『待つ』姿勢、子どもたちの能動的な対話を促す『語らせつなぐ』教師のファシリテート、取り組みの姿勢や成果等を、教師や子ども同士で『認め励ます』環境づくり等が大切です。

このような授業づくりを支える教員の心構えが「授業づくりの三訓」であり、この「授業づくりの三訓」を踏まえて授業改善を進めていくことがポイントとなります。授業改善を進めていく際の視点として次の4つが考えられます。



授業改善の視点

① 学習環境

子どもが、自ら学習を調整しながら学ぶことができるよう、ICTを活用するなど学習環境を工夫する。

② 学びがいのある課題設定

知的好奇心を喚起し、主体的に考える姿勢を育むことができるよう、子どもにとって学びがいのある課題となるよう工夫する。

③ 自己選択・自己決定

個々の子どもにとって最適な学びとなるよう、学習教材や問題、解決方法、学習形態など、多様な自己選択・自己決定の場を工夫する。

④ 学びの過程の振り返り

子どもが、自身の伸びを実感したり、見通しをもったりできるよう、振り返りの目的を確認したり、振り返りの内容やタイミングを工夫したりする。

① 学習環境

子どもたちが自分の意志で学びたい課題や学ぶ方法等を選択・決定したり、学びを振り返って次の見通しを立てたりするなど、自らの学習を調整しながら学ぶことができるようにするためには、次のような学習環境を必要に応じて整備していくことが重要となります。

【学習環境の例】

- 児童生徒が違いを認めて協力し合える学級づくり
- 自ら学び直し（学習の調整）や、発展的な学習に取り組めるような時間の確保
- 児童生徒が日常的にICTを活用することができる環境
- 本時の学習と日常生活を関連付けられるような掲示や教具の教室設置
- 異学年間の学びや他の学校の児童生徒との学び合い、地域の方々や多様な専門家と協働的に学ぶことができる機会の確保 など



② 学びがいのある課題設定

教師が考えさせたい課題を一方向的に提示するのではなく、子どもの知的好奇心を喚起するような課題を子どもたちと一緒に生み出すなど、子どもの「解決したい」という思いや願いを引き出し、子どもにとって学びがいのある課題を設定することが重要となります。

【学びがいのある課題設定の例】

- 実社会や実生活における子どもたちの疑問から生まれた課題
- 前時の振り返り等で表出された子どものつぶやきから生まれた課題
- 少し困難だが「学んだことを活用すればできそう！」と感ずることができるような課題
- 子どもの「当たり前」が揺さぶられる課題 など



③ 自己選択・自己決定

全員が同じ道筋で学習するのではなく、子ども自らが課題を決める、課題解決に向けて学習の順序を考える、学習の方法を自分で選ぶなど、学習教材や問題、解決方法、学習形態など多様な自己選択・自己決定の場面を保障することが重要となります。

【学習の中で子どもが選択できる場面の例】

- | | |
|--|-------------------------------|
| ○学習教材や問題の選択
例) 解きたい練習問題を選ぶ | ○解決方法の選択
例) 実験方法を構想し、行う |
| ○学習形態の選択
例) 個で、ペアで、集団で考える | ○時間設定の選択
例) どこに時間をかけるか調整する |
| ○個の適性に沿った学び方の選択
例) 認知スタイルに沿ったワークシート等を選択する | など |



④ 学びの過程の振り返り

子どもが見通しをもって課題解決に取り組もうとするなど、次の学びへの意欲を高めるためには、教師の見取りだけではなく、子ども自身が、自分の学びを振り返り把握すること（メタ認知）が重要となります。また、伸び（成長）の実感を促すためにも、振り返りの目的を確認したり、振り返りの内容やタイミングを工夫したりするなど、充実した振り返りができるように働きかけることが大切です。

【振り返りの視点の例】

- 学習内容・・・・・・・・・・何が分かった（分からない）のか
何ができるようになった（できない）のか
- 学習過程（学び方）・・・・・・何に注目し、どのように考えたのか
誰と交流し、どのような視点で解決方法を得たのか
- 自己の変容・課題の発見・・・・・・自己の成長に何が必要なのか
次にどのような学びに挑戦したいのか など



調査の結果から見られる特徴

教科に関する調査

文章や資料から必要な情報を読み取ったことを基に、自分の考えをもったり表現したりすることに課題が見られる。

- ・ 小学校国語の問題において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができるかをみる問題の正答率が42.6%であった。（📖 p31）
- ・ 英語の問題において、まとまりのある英文を読み、読んだことについて、自分の考えとその理由を書くことができるかをみる問題の正答率が21.3%であった。（📖 p47）

観察したことや資料など、複数の情報を結び付けて考えることに課題が見られる。

- ・ 小学校理科の問題において、実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるかをみる問題の正答率が38.3%であった。（📖 p43）
- ・ 中学校社会の問題において、資料から読み取った情報と知識とを結び付けて農業の分布について判断できるかをみる問題の正答率が39.5%であった。（📖 p37）

質問紙調査

児童生徒主体の学びの実現に課題が見られる。

- ・「◇^{25/23} 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校が 67.4%、中学校が 62.2%である。（📄 p 6、62）

「自分にはよいところがある」と考えている児童生徒の割合が増えている。

- ・「◇^{6/6} 自分にはよいところがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校は 70.9%、中学校は 72.1%である。（📄 p 26、59）

学校の授業以外の勉強時間が減少している。

- ・「◇^{41/40} 普段、1 日当たり 1 時間以上勉強している」と回答した児童生徒の割合は、小学校が 53.5%、中学校が 58.9%である。（📄 p 25、65）

一人一台端末の持ち帰り利用が進んでいる。

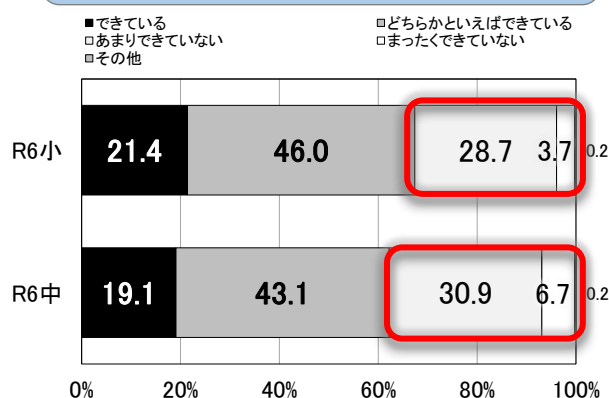
- ・「◆³⁴ PC・タブレットなどの端末を、毎日、もしくは時々、家庭で利用できるようにしている」と回答した学校の割合は、小学校が 74.0%、中学校が 60.0%である。（📄 p 25、82）

自分ごとの学びを支える

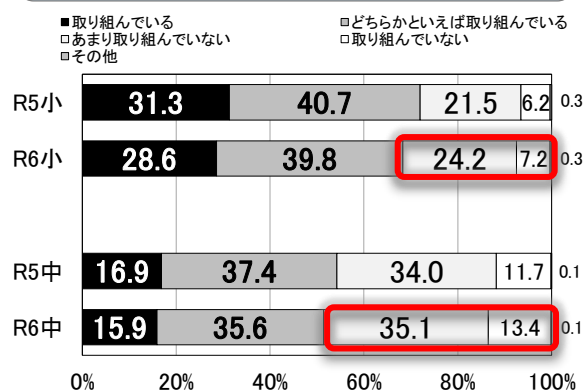
児童生徒主体の学びの実現に課題

「課題解決に向けて自分から取り組んでいない」、「自分の目標をもって取り組んでいない」と否定的に回答している児童生徒がいることが分かります。

◇25/23 授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができていますか。
【児童生徒質問紙】

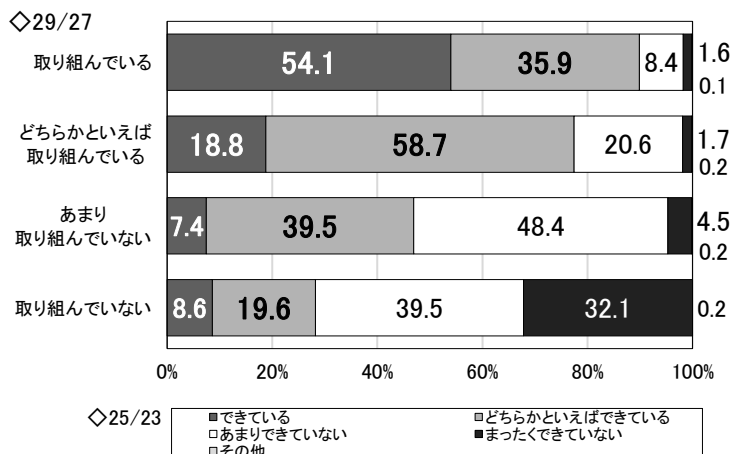


◇29/27 授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。
【児童生徒質問紙】



自分の目標をもつことで自分ごとの学びへ

「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と
「◇25/23 授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができています」の
クロス集計（R6中）



「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と肯定的に回答した生徒ほど、「◇25/23 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答していることが分かります。

自分の目標をもつことと、児童生徒主体の学びは、関係があると考えられます。



自ら学習を調整しながら粘り強く取り組む

「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と

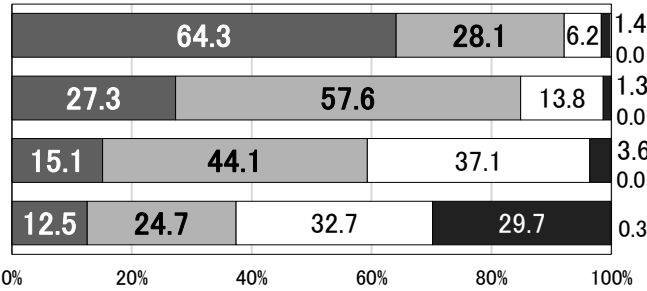
「◇27/25 見方・考え方を変えながら取り組んでいる」のクロス集計（R6中）

◇29/27 取り組んでいる

どちらかといえば
取り組んでいる

あまり
取り組んでいない

取り組んでいない



◇27/25

- 取り組んでいる
- どちらかといえば取り組んでいる
- あまり取り組んでいない
- 取り組んでいない
- その他



「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と肯定的に回答した生徒ほど、「◇27/25 見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいる」と回答していることが分かります。

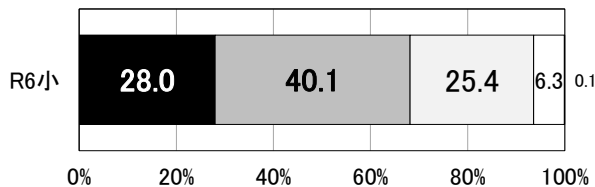
教師は、試行錯誤できるように考えが変化する余地を残したり、学びに関わる選択肢を準備したりする等、児童生徒が自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組めるようにすることが必要です。

次の学習につなげるための振り返り

◇31/29 学習した内容について分かった点やよく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげるための振り返る活動を行っていると思いますか。

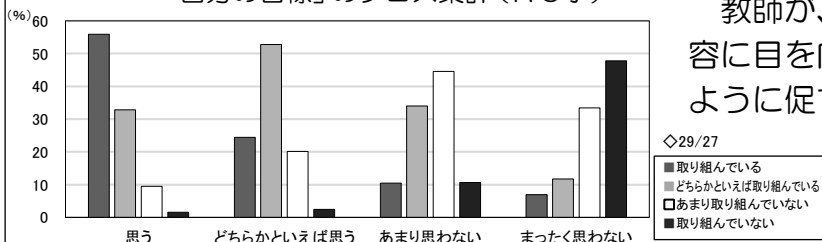
【児童生徒質問紙】

- 思う
- あまり思わない
- その他
- どちらかといえば思う
- まったく思わない



「◇31/29 振り返る活動」と

「◇29/27 自分の目標」のクロス集計（R6小）



「◇31/29 次の学習につなげるための振り返る活動を行っていると思う」と回答した児童ほど、「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と回答していることが分かります。

自分の学習の過程を振り返り、次の学習につながるかどうかを考えることが、問題解決の際の解決方法の見通しをもち、自分の目標をもって取り組むことにつながるのではないのでしょうか。

教師が、学習過程や授業前後の考えの変容に目を向けさせ、次の学習の目標をもつように促すことが必要だと考えられます。

「児童生徒主体の学び」のためのチェックポイント

- ☐ 児童生徒の発言や考えを生かして課題を設定している
- ☐ 児童生徒が必要な時に目的をもって話し合えるようにしている
- ☐ 児童生徒が、課題解決に向けて、ICT 機器を使いたいときに使える環境にしている
- ☒ 児童生徒が自ら振り返る活動を取り入れている
- ☒ 児童生徒が選択したり、自己決定したりする場面を設定している

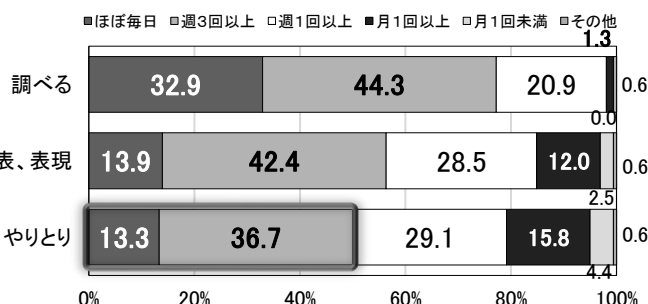
令和 5 年度香川県学習状況調査報告書より

今後取り組みたい ICT 活用

「◆³¹ 調べる場面」で、ICT 機器を週3回以上使用させていると回答した小学校の割合は 77.2%ですが、「◆³³ やりとりする場面」では、50.0%でした。中学校においても同様の傾向が見られます。



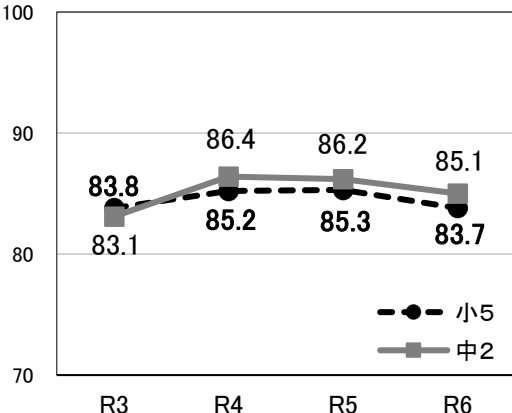
◆^{31~33} 児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用させていますか。
【学校質問紙】



やりとりする場面で ICT を活用する

◇^{34/32} 普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。
【児童生徒質問紙】

※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答
(%) 100



「◇^{34/32} 学級の友達との間で話し合いを行っている」と肯定的に回答した児童生徒は 80%を上回っています。さらに、ICT を活用することは、協働的な学びの促進が期待されます。

例えば、学級を越えて、同じ課題解決に向けて取り組んでいる友達との間で、お互いの学習状況を参照したり、コメントを送り合ったりすることが考えられます。

また、地域の方や遠隔地の学校とつながりをもつことも、ICT を活用することで容易になりました。

〔参考〕令和6年度全国学力・学習状況調査結果

ICT の活用が、自分の学習にとって効果があると肯定的に回答した児童生徒の割合は 70%を上回っています。

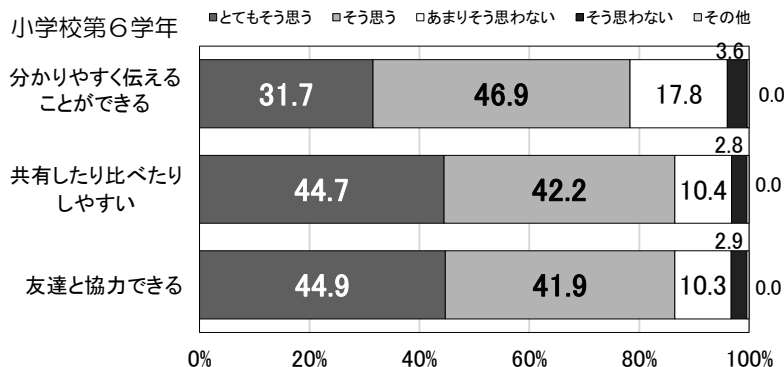
活用実践事例

香川県教育センター
Web サイト



◇^{28/28} ICT 機器の活用についての意識

【児童質問調査】



I 調査結果(概論)

調査の概要

- (1) 調査の目的 児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、児童生徒の理解の程度に基づく個に応じた指導などを実施する契機とする。

- (2) 調査の時期 小学校 第5学年 : 令和6年10月29日(火)～11月8日(金)
中学校 第2学年 : 令和6年11月5日(火)～11月14日(木)

- (3) 調査の対象 県内公立学校の小学校第5学年及び中学校第2学年の全ての児童生徒
・学 校 数 小学校 151校、中学校 66校
(附属学校及び県立学校を含む)

・児童生徒数 [単位:人]

校種・学年 教科	小学校 第5学年	中学校 第2学年
国語	7,626	7,168
社会	7,621	7,167
算数・数学	7,618	7,172
理科	7,602	7,182
英語		7,173
児童生徒質問紙	7,719	7,201

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査

- ・実施教科 小学校 第5学年 : 国語、社会、算数、理科 (4教科)
中学校 第2学年 : 国語、社会、数学、理科、英語 (5教科)
- ・出題範囲 前学年までに学習した内容及び当該年度前期(4月～9月末)に学習した内容
- ・問題の質と量
 - ア 学習指導要領に則して、基礎的・基本的な「知識及び技能」や、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」に関する問題
 - イ 1教科あたり小学校については40分、中学校については45分で解答できる量

② 児童生徒質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習や生活の諸側面等に関する調査を質問紙の形式で実施する。

③ 学校質問紙調査

学校における各種の取組や児童生徒の状況等に関する調査を質問紙の形式で実施する。

(5) 調査結果の活用

香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会や学校は、本調査の目的を達成するため、次のような結果を活用した取組に努めることとする。

- 各学校は、自校で編成・実施している教育課程を評価する資料の一つとして調査結果を活用し、学習指導に係る検証改善サイクルを確立するように努める。
 - ・ 当該年度前期までの学習内容の定着状況を確認、教員が自身の指導を振り返り、指導方法の改善を図るとともに、児童生徒の理解の状況に応じて、発展的な学習や補充的な指導などを行う。
 - ・ 質問紙調査の結果から、児童生徒の状況に応じて「授業規律の確立」「学習意欲と学習に向かう態度の育成」「学習方法の指導」等の取組の推進を図るとともに、児童生徒や保護者に対して、よさやつまずきの状況を説明し、生活や学習の状況について、これまでを振り返り、これからの見通しをもつ機会を設ける。
 - ・ 分析・検証の際にまとめられた成果と課題に基づいて、本年度の年間指導計画や校内指導体制等を見直し、次年度計画を作成する。
- 香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会は、教育施策の成果と課題を把握・検証し、教育施策の改善に努めるとともに、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援を行う。

【調査結果の数値について】

表記された数値は、端数処理のため0.1の誤差が生じることがある。

香川県重点項目に関する質問項目（全国学力・学習状況調査との関連）

経年比較から見られる現状について、香川県重点項目として6つのカテゴリー項目別にQ & Aにまとめました。

重点項目	Q & A	R6 児童生徒質問紙 質問項目			全国 関連	基本 計画 指標	R6	R5	R4	R3
		小	中							
学習意欲	Q1	20	20	勉強は好きですか。	(42 50 58 61)	(◆)	○	○	○	○
		21	21	授業は楽しいと思いますか。	—		○	○	○	○
		25	23	授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができますか。	30		○	△	△	△
		27	25	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	(55)		○	○	○	○
		28	26	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	—		○	○	○	○
言語活動	Q2	30	28	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	—		○	○	○	○
		32	30	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	—		○	○	○	○
		33	31	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	29		○	○	○	○
		34	32	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	—		○	○	○	○
		35	33	普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	—		○	○	△	△
		36	34	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができますか。	(33)		○	○	○	○
学習習慣	Q3	39	38	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	—		○	○	○	○
		41	40	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	21		○	○	○	○
		42	41	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	22		○	○	○	○
自己有用感・規範意識等	Q4	4	4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	—		○	○	○	○
		5	5	むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	—		○	○	○	○
		6	6	自分には、よいところがあると思いますか。	9	◆	○	○	○	○
		7	7	将来の夢や目標を持っていますか。	11	(◆)	○	○	○	○
		8	8	学校のきまりを守っていますか。	—		○	○	○	○
		10	10	人が困っているときは、進んで助けていますか。	12		○	○	○	○
		11	11	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	—	◆	○	○	○	○
		12	12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	13	◆	○	○	○	○
		13	13	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	15		○	○	○	○
学校生活	Q5	15	15	今住んでいる地域(香川県)の歴史や自然、産業について関心がありますか。	—	◆	○	○	○	○
		49	48	学校に行くのは楽しいと思いますか。	16	◆	○	○	○	○
		50	49	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	—		○	○	○	○
		51	50	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	—		○	○	○	○
メディアの利用	Q6	16	16	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	5		○	○	○	○
		17	17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	(6)		○	○	○	○
		18	18	携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	7	◆	○	○	○	○
		46	45	読書は好きですか。	—	◆	○	○	○	○

※ ○…小5年、中2年の児童生徒対象

※ 令和6年度全国学力・学習状況調査と同一の質問項目には、質問番号（全国報告書参照）を、類似の質問項目には質問番号に（ ）を付けて、全国関連の欄に表記している。

全体的な状況

Point

1. 小学校は、4教科の平均正答率が61.9%で、中学校は、5教科の平均正答率が52.7%であった。
2. 「知識・技能」については、算数・中学校国語の平均正答率が70%を上回っている。「思考・判断・表現」については、中学校で理科を除く4教科の平均正答率が50%を下回っている。

【教科に関する調査結果】

1 平均正答率

[単位：％]

	小学校 第5学年			中学校 第2学年		
	平均正答率	調査内容別平均正答率		平均正答率	調査内容別平均正答率	
		知識・技能	思考・判断・表現		知識・技能	思考・判断・表現
国語	57.9	67.9	55.2	60.5	71.0	49.0
社会	65.8	66.4	65.0	50.2	64.2	42.4
算数・数学	64.8	72.9	54.9	52.3	60.0	34.7
理科	59.0	66.4	56.8	52.6	50.1	55.9
英語				47.8	49.9	43.4
平均	61.9	68.4	58.0	52.7	59.0	45.1

2 平均正答率の推移

[単位：％]

小学校 第5学年	R 3	R 4	R 5	R 6
国語	57.1	56.5	55.0	57.9
社会	73.0	67.7	69.4	65.8
算数	66.8	77.7	58.5	64.8
理科	67.3	57.6	67.1	59.0

[単位：％]

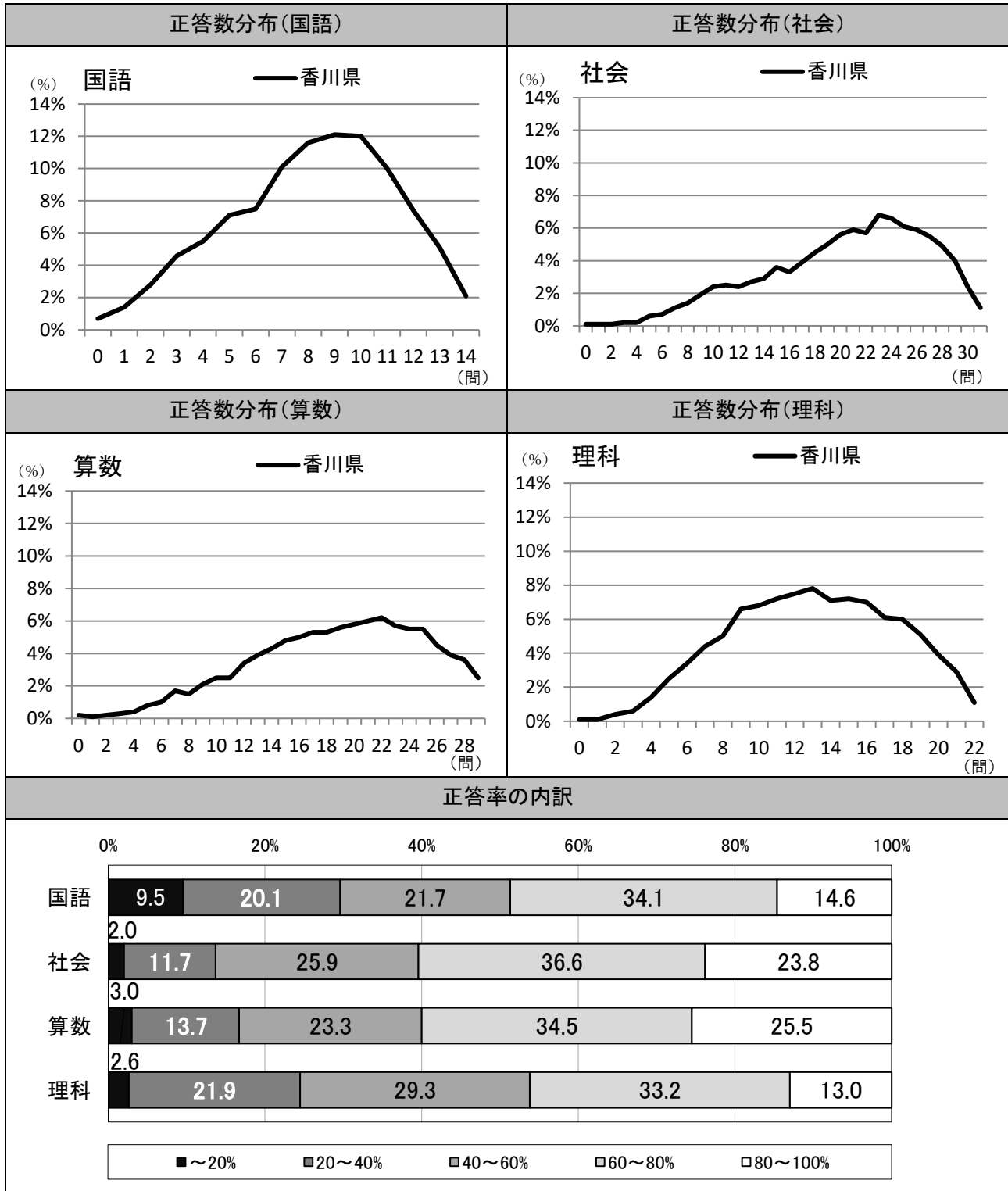
中学校 第2学年	R 3	R 4	R 5	R 6
国語	67.3	62.9	59.4	60.5
社会	66.8	63.3	53.8	50.2
数学	66.2	56.4	42.8	52.3
理科	56.7	55.9	46.0	52.6
英語	60.4	56.7	57.4	47.8

正答数・正答率の分布【小学校】



1. 社会・算数において、正答率 80%以上の児童の割合が 20%を上回っている。
2. 国語・理科においては、正答率 40%未満の児童の割合が 20%を上回っている。

【小学校 第5学年】

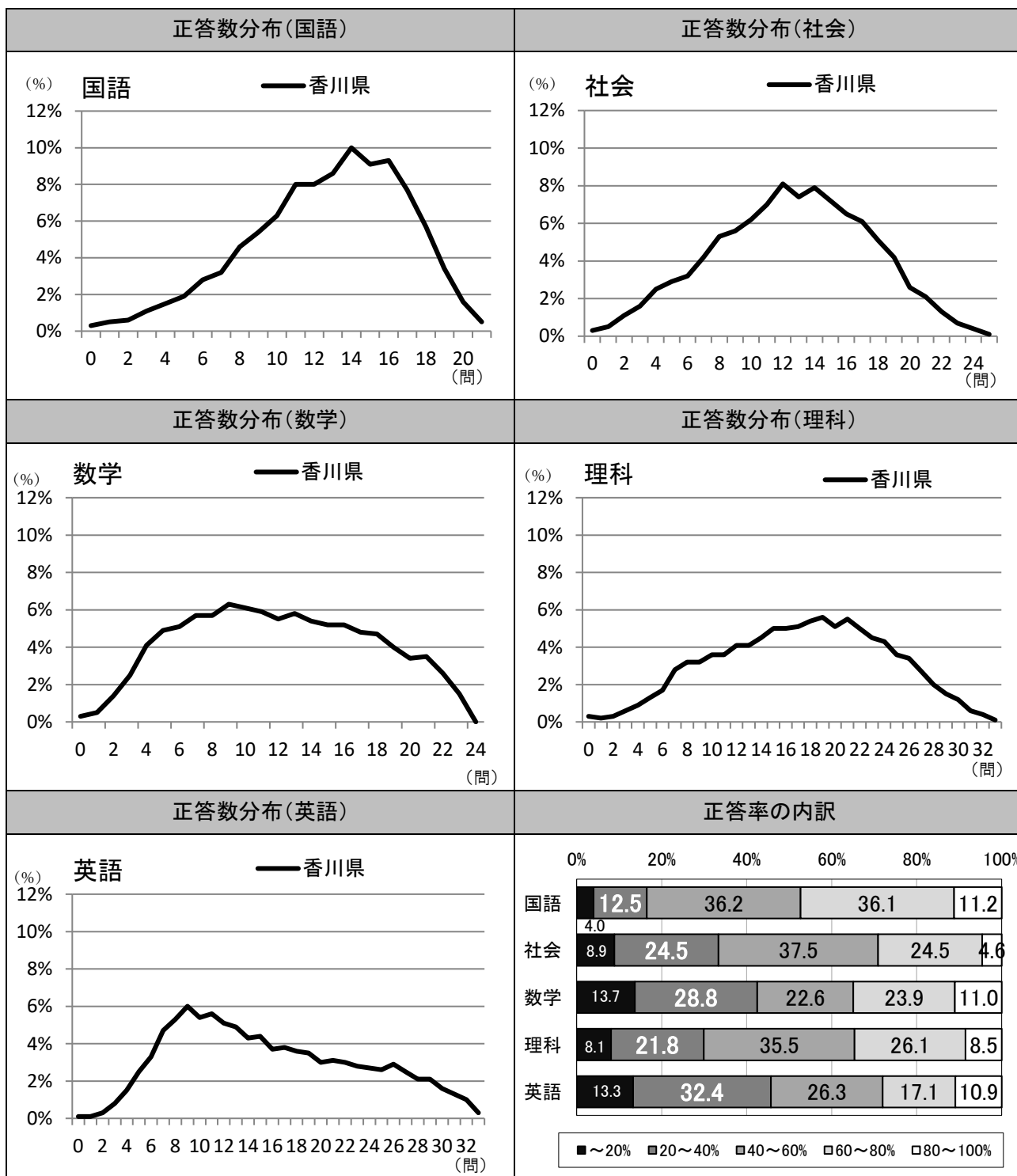


正答数・正答率の分布【中学校】



国語以外の4教科において、正答率 40%未満の生徒の割合が 20%を上回っている。

【中学校 第2学年】



無解答率

Point

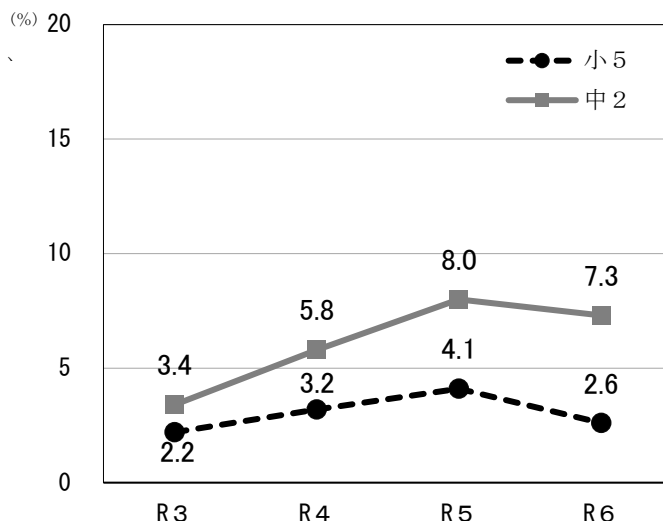
1. 無解答率は、小・中学校ともに、昨年度より減少している。特に、算数・数学において大きく減少している。
2. 問題形式別では、中学校において記述式問題の無解答率が高い。

1 無解答率

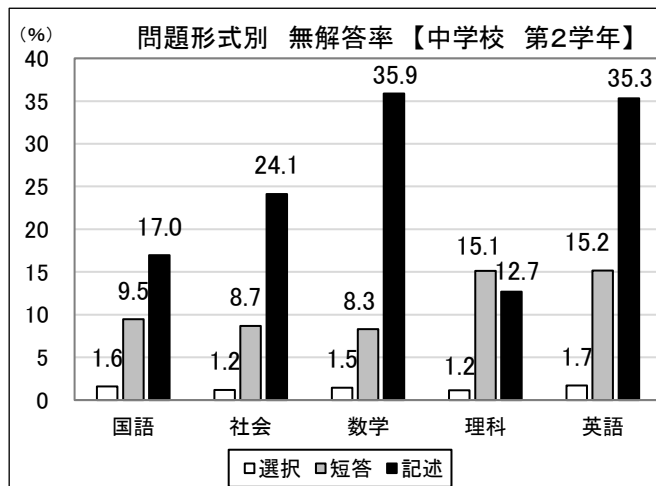
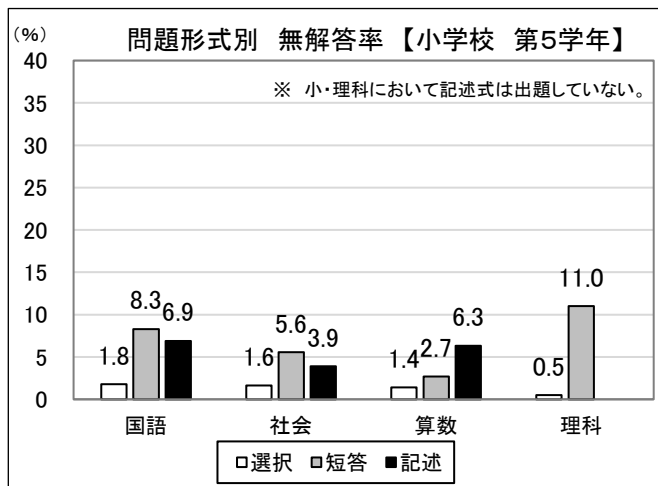
[単位：％（R5との差：pt）]

	小学校 第5学年	中学校 第2学年
国語	5.1 (-1.7)	8.9 (+1.2)
社会	2.0 (-0.5)	6.3 (-1.1)
算数・数学	2.4 (-3.9)	10.4 (-4.1)
理科	1.0 (+0.4)	4.3 (-1.5)
英語		6.6 (+2.2)
平均	2.6 (-1.5)	7.3 (-0.7)

2 無解答率の推移



3 問題形式別無解答率の割合



Column

記述式問題では、文章を読んで理解したことや資料から読み取ったことを基に自分の考えを記述する問題、問題解決の方法を説明する問題などで無解答率が高くなっています。

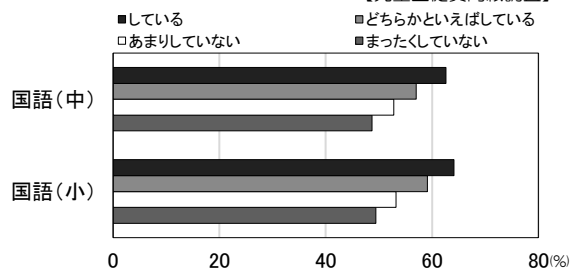
教科の正答率とのクロス集計結果からは、「自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している」と肯定的に回答している児童生徒ほど正答率が高いことが分かります。

授業においては、目的に応じて、情報を取捨選択し、自分の考えを整理、表現する活動や、学んだことを使って解決方法を考えたり説明したりする活動に、一人一人が取り組めるようにすることが大切です。

選択肢別の正答率

◇33/31 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。

【児童生徒質問紙調査】



令和6年度香川県学習状況調査

結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。

※ 時間や頻度を問う質問項目は除く。

小学校第5学年

○肯定的な回答の割合が高い5つの質問項目

質問番号	質問事項	%
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.5
13	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	94.6
11	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	94.5
38	学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	93.4
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	93.2

○肯定的な回答の割合が低い5つの質問項目

質問番号	質問事項	%
40	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	49.3
20	勉強は好きですか。	50.5
45	悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。	58.0
39	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	58.5
33	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	63.6

中学校第2学年

○肯定的な回答の割合が高い5つの質問項目

質問番号	質問事項	%
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	95.9
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	94.9
8	学校のきまりを守っていますか。	94.6
13	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	94.5
11	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	94.2

○肯定的な回答の割合が低い5つの質問項目

質問番号	質問事項	%
20	勉強は好きですか。	26.9
15	今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	43.6
39	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	44.0
38	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	47.3
27	授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。	51.5

令和6年度香川県学習状況調査

教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

※ 「香川県重点項目に関わる質問事項」において児童生徒質問紙調査結果の選択肢別平均正答率が、「回答1>回答2>回答3>回答4>回答5>回答6」の関係である調査結果を示す。ただし、質問項目16、17は「回答1<回答2<回答3<回答4<回答5」の関係。

1 【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)			
			国語	社会	算数	理科
4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	① ある	60.1	67.8	66.8	60.7
		② どちらかといえばある	54.7	63.4	62.4	56.5
		③ どちらかといえはない	49.3	58.3	56.6	51.6
		④ ない	44.7	50.9	50.8	47.9
		差①-④	15.4	16.9	16.0	12.8
6	自分には、よいところがあると思いますか。	① 思う	60.6	68.4	67.3	61.2
		② どちらかといえば思う	58.9	67.0	66.2	59.7
		③ あまり思わない	54.6	62.4	61.4	56.2
		④ まったく思わない	50.8	58.9	57.2	52.8
		差①-④	9.8	9.5	10.1	8.4
8	学校のきまりを守っていますか。	① 守っている	60.4	67.7	66.3	60.3
		② どちらかといえば守っている	58.1	66.4	65.5	59.6
		③ あまり守っていない	47.4	56.5	56.3	50.5
		④ 守っていない	42.5	49.3	49.1	45.8
		差①-④	17.9	18.4	17.2	14.5
16	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	① 4時間以上	46.9	54.8	53.7	48.8
		② 3時間以上、4時間より少ない	53.9	63.0	61.1	55.7
		③ 2時間以上、3時間より少ない	56.8	65.0	64.3	57.8
		④ 1時間以上、2時間より少ない	61.9	70.1	69.1	62.6
		⑤ 1時間より少ない	66.6	73.2	72.5	66.7
		⑥ まったく利用していない	66.9	73.1	72.4	66.9
		差①-⑤	-19.7	-18.4	-18.8	-17.9
17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	① 4時間以上	46.8	54.3	52.7	47.5
		② 3時間以上、4時間より少ない	50.2	57.7	55.6	51.5
		③ 2時間以上、3時間より少ない	53.9	61.5	60.4	54.6
		④ 1時間以上、2時間より少ない	58.5	66.5	65.8	58.6
		⑤ 1時間より少ない	62.7	70.3	69.8	63.7
		⑥ まったく利用していない	61.3	70.1	68.9	63.3
		差①-⑤	-15.9	-16.0	-17.1	-16.2
20	勉強は好きですか。	① 好き	67.6	74.8	74.1	67.3
		② どちらかといえば好き	60.3	69.0	67.8	61.8
		③ どちらかといえはきらい	55.4	63.2	62.1	56.4
		④ きらい	50.2	57.5	56.7	51.6
		差①-④	17.4	17.3	17.4	15.7
21	授業は楽しいと思いますか。	① 思う	61.7	69.7	68.1	62.2
		② どちらかといえば思う	58.2	66.5	65.6	59.7
		③ あまり思わない	54.0	61.6	61.1	55.0
		④ まったく思わない	49.3	55.6	54.6	50.4
		差①-④	12.4	14.1	13.5	11.8
25	授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができていますか。	① できている	65.3	72.8	72.6	66.0
		② どちらかといえばできている	59.7	67.8	66.8	60.3
		③ あまりできていない	51.8	59.7	58.2	53.4
		④ まったくできていない	42.0	50.3	48.0	45.3
		差①-④	23.3	22.5	24.6	20.7
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	63.3	71.4	70.9	64.1
		② どちらかといえば取り組んでいる	58.0	65.7	64.7	58.7
		③ あまり取り組んでいない	48.8	57.3	55.0	50.7
		④ まったく取り組んでいない	41.2	47.8	45.7	44.3
		差①-④	22.1	23.6	25.2	19.8
28	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	① している	60.7	68.4	67.6	61.2
		② どちらかといえばしている	57.3	65.2	64.0	58.3
		③ あまりしていない	52.5	61.5	59.9	55.4
		④ まったくしていない	50.5	58.2	56.8	51.0
		差①-④	10.2	10.2	10.8	10.2
30	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	61.2	68.8	67.6	61.3
		② どちらかといえば取り組んでいる	58.3	66.3	65.4	59.2
		③ あまり取り組んでいない	52.6	61.2	60.2	55.4
		④ まったく取り組んでいない	47.2	53.9	52.2	49.2
		差①-④	14.0	14.9	15.4	12.1
32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	① 思う	62.3	70.3	69.2	63.2
		② どちらかといえば思う	56.4	64.6	63.8	57.6
		③ あまり思わない	51.5	59.5	58.0	52.9
		④ まったく思わない	47.0	53.5	52.9	48.3
		差①-④	15.3	16.8	16.3	14.9

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)			
			国語	社会	算数	理科
33	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	① している	64.1	70.8	70.1	63.6
		② どちらかといえばしている	59.1	67.6	66.5	60.4
		③ あまりしていない	53.2	61.4	60.2	54.9
		④ まったくしていない	49.4	57.5	56.0	51.3
		差①－④	14.7	13.3	14.1	12.3
34	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	① 思う	60.2	67.8	66.9	60.5
		② どちらかといえば思う	57.6	65.8	64.6	59.1
		③ あまり思わない	52.5	61.5	60.3	54.9
		④ まったく思わない	48.4	55.1	53.4	51.3
		差①－④	11.8	12.7	13.5	9.2
35	普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	60.6	68.3	67.5	61.1
		② どちらかといえば取り組んでいる	58.2	66.4	65.2	59.2
		③ あまり取り組んでいない	53.3	61.7	60.5	55.7
		④ 取り組んでいない	49.7	56.3	54.9	51.0
		差①－④	10.9	12.0	12.6	10.1
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	① できている	62.2	69.4	68.6	62.3
		② どちらかといえばできている	58.3	66.5	65.5	59.5
		③ あまりできていない	52.0	60.6	59.3	53.9
		④ まったくできていない	46.5	55.2	52.9	49.2
		差①－④	15.7	14.2	15.7	13.1
39	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	① している	62.5	70.0	69.3	62.3
		② どちらかといえばしている	59.3	67.1	66.4	60.5
		③ あまりしていない	55.1	63.4	62.0	56.7
		④ まったくしていない	51.6	59.8	58.3	53.4
		差①－④	10.9	10.2	11.0	8.9
46	読書は好きですか。	① 好き	63.7	70.7	68.8	64.0
		② どちらかといえば好き	56.7	65.2	64.3	58.2
		③ どちらかといえばきらい	53.2	61.6	62.1	54.8
		④ きらい	48.4	57.2	57.2	49.6
		差①－④	15.3	13.5	11.6	14.4
49	学校に行くのは楽しいと思いますか。	① 思う	61.1	68.8	67.5	61.3
		② どちらかといえば思う	57.5	66.0	65.0	59.3
		③ あまり思わない	54.6	62.1	61.6	55.7
		④ まったく思わない	48.9	56.8	56.0	51.0
		差①－④	12.2	12.0	11.5	10.3
50	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	① ある	59.8	67.3	66.4	60.2
		② どちらかといえばある	56.3	64.8	64.1	58.1
		③ どちらかといえばない	55.4	64.2	62.7	57.3
		④ ない	51.8	59.1	56.5	53.5
		差①－④	8.0	8.2	9.9	6.7
51	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	① できる	61.3	69.7	69.0	62.2
		② どちらかといえばできる	58.3	66.6	65.1	59.5
		③ どちらかといえばできない	54.4	61.7	61.1	55.6
		④ できない	51.7	58.0	56.5	52.4
		差①－④	9.6	11.7	12.5	9.8

2 【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)				
			国語	社会	数学	理科	英語
4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	① ある	62.1	51.5	54.2	54.1	49.6
		② どちらかといえばある	58.4	48.5	49.3	50.2	44.4
		③ どちらかといえばない	54.6	44.5	46.2	46.5	43.0
		④ ない	47.6	41.1	39.4	43.2	37.4
		差①-④	14.5	10.4	14.8	10.9	12.2
6	自分には、よいところがあると思いますか。	① 思う	61.9	51.8	54.5	54.1	49.8
		② どちらかといえば思う	61.6	51.2	53.7	53.8	48.9
		③ あまり思わない	59.3	48.3	49.5	50.6	45.3
		④ まったく思わない	53.2	43.8	43.4	45.7	39.7
		差①-④	8.7	8.0	11.1	8.4	10.1
8	学校のきまりを守っていますか。	① 守っている	62.6	52.2	54.8	54.9	50.3
		② どちらかといえば守っている	59.3	49.0	50.7	51.1	45.9
		③ あまり守っていない	51.8	41.2	42.0	42.1	38.0
		④ 守っていない	41.4	35.5	33.8	34.3	33.5
		差①-④	21.2	16.7	21.0	20.6	16.8
13	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	① 思う	61.7	50.8	53.5	53.5	49.0
		② どちらかといえば思う	58.6	49.5	50.0	51.0	45.2
		③ あまり思わない	57.5	48.0	48.5	49.7	44.5
		④ まったく思わない	45.9	43.3	39.7	43.6	37.5
		差①-④	15.8	7.5	13.8	9.9	11.5
16	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	① 4時間以上	50.9	41.1	40.4	41.8	35.9
		② 3時間以上、4時間より少ない	55.9	45.8	46.4	47.6	41.4
		③ 2時間以上、3時間より少ない	61.0	50.9	52.9	53.5	47.1
		④ 1時間以上、2時間より少ない	64.3	54.5	57.1	57.2	52.7
		⑤ 1時間より少ない	67.3	56.6	60.8	59.8	57.0
		⑥ まったく利用していない	68.1	55.3	60.6	59.3	58.3
		差①-⑤	-16.4	-15.5	-20.4	-18.0	-21.1
17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	① 4時間以上	52.8	41.9	41.8	43.0	38.5
		② 3時間以上、4時間より少ない	57.8	46.3	47.6	48.3	43.7
		③ 2時間以上、3時間より少ない	61.4	49.9	52.5	52.5	48.4
		④ 1時間以上、2時間より少ない	63.3	52.7	55.8	55.4	51.3
		⑤ 1時間より少ない	65.1	56.0	59.3	59.0	53.6
		⑥ まったく利用していない	61.0	54.8	55.0	56.6	48.5
		差①-⑤	-12.3	-14.1	-17.5	-16.0	-15.1
20	勉強は好きですか。	① 好き	68.9	61.1	66.5	64.1	63.2
		② どちらかといえば好き	66.2	57.1	60.5	59.9	55.9
		③ どちらかといえばきらい	62.0	51.4	53.7	53.7	48.5
		④ きらい	55.3	44.2	44.8	46.2	40.6
		差①-④	13.6	16.9	21.7	17.9	22.6
21	授業は楽しいと思いますか。	① 思う	62.4	54.0	57.1	56.0	52.0
		② どちらかといえば思う	62.3	52.5	54.4	54.8	49.4
		③ あまり思わない	60.2	48.1	50.3	50.8	45.9
		④ まったく思わない	53.1	42.0	42.8	44.3	40.3
		差①-④	9.3	12.0	14.3	11.7	11.7
23	授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができますか。	① できている	67.7	57.9	63.6	61.6	58.4
		② どちらかといえばできている	63.3	53.3	56.0	55.6	50.6
		③ あまりできていない	55.7	44.4	44.6	46.5	40.6
		④ まったくできていない	46.3	37.0	33.6	37.0	33.1
		差①-④	21.4	20.9	30.0	24.6	25.3
25	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	66.9	57.5	63.5	61.1	57.5
		② どちらかといえば取り組んでいる	61.8	51.3	53.3	53.5	48.4
		③ あまり取り組んでいない	54.9	44.0	42.6	45.5	39.3
		④ まったく取り組んでいない	46.2	35.5	33.1	36.5	33.0
		差①-④	20.7	22.0	30.4	24.6	24.5
26	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	① している	64.9	54.4	59.0	57.5	53.6
		② どちらかといえばしている	60.6	50.4	52.1	52.4	47.5
		③ あまりしていない	56.9	46.0	45.6	48.0	42.1
		④ まったくしていない	49.4	41.0	39.1	42.2	36.3
		差①-④	15.5	13.4	19.9	15.3	17.3
28	授業では、学級やグループの中で、自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	62.2	52.1	55.0	54.5	50.4
		② どちらかといえば取り組んでいる	61.6	51.0	52.9	53.3	48.2
		③ あまり取り組んでいない	58.2	47.7	49.4	50.3	44.8
		④ まったく取り組んでいない	49.7	41.2	40.6	42.1	38.3
		差①-④	12.5	10.9	14.4	12.4	12.1
30	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	① 思う	63.9	53.9	57.0	56.6	51.6
		② どちらかといえば思う	61.1	50.2	52.2	52.5	47.4
		③ あまり思わない	55.0	43.9	44.7	46.1	42.2
		④ まったく思わない	42.1	35.5	33.0	35.4	32.9
		差①-④	21.8	18.4	24.0	21.2	18.7

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)				
			国語	社会	数学	理科	英語
31	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	① している	65.7	55.6	59.3	58.8	55.2
		② どちらかといえばしている	63.0	52.7	55.6	55.1	50.0
		③ あまりしていない	57.2	46.1	46.9	48.3	42.7
		④ まったくしていない	49.5	40.8	39.5	41.2	37.1
		差①-④	16.2	14.8	19.8	17.6	18.1
32	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	① 思う	62.4	52.0	54.5	54.3	50.2
		② どちらかといえば思う	60.8	50.3	52.1	52.6	47.2
		③ あまり思わない	57.4	47.0	49.1	49.9	45.0
		④ まったく思わない	47.1	39.6	38.6	40.7	34.5
		差①-④	15.3	12.4	15.9	13.6	15.7
33	普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	61.9	51.4	54.4	53.8	49.5
		② どちらかといえば取り組んでいる	61.6	51.2	53.4	53.4	48.7
		③ あまり取り組んでいない	58.9	48.6	49.6	51.1	45.5
		④ 取り組んでいない	53.8	44.3	44.6	46.7	41.7
		差①-④	8.1	7.1	9.8	7.1	7.8
34	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	① できている	63.7	53.1	56.5	55.7	51.8
		② どちらかといえばできている	61.2	51.0	52.8	53.2	47.9
		③ あまりできていない	56.0	45.7	46.4	48.0	42.1
		④ まったくできていない	47.4	38.6	37.2	40.1	35.0
		差①-④	16.3	14.5	19.3	15.6	16.8
38	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	① している	64.1	54.2	57.7	56.9	54.9
		② どちらかといえばしている	63.0	52.7	55.4	55.1	50.6
		③ あまりしていない	59.9	49.1	50.7	51.3	45.7
		④ まったくしていない	55.4	45.5	46.0	47.4	40.9
		差①-④	8.7	8.7	11.7	9.5	14.0
45	読書は好きですか。	① 好き	66.5	55.9	58.3	58.6	53.7
		② どちらかといえば好き	61.6	51.1	52.3	53.1	47.9
		③ どちらかといえばきらい	57.4	46.9	50.0	49.5	44.8
		④ きらい	52.3	42.9	45.1	45.1	41.1
		差①-④	14.2	13.0	13.2	13.5	12.6
50	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	① できる	61.9	51.8	54.4	54.1	49.2
		② どちらかといえばできる	61.3	51.1	53.3	53.6	49.0
		③ どちらかといえばできない	59.1	47.9	49.5	50.2	44.9
		④ できない	54.4	43.7	43.8	45.9	41.2
		差①-④	7.5	8.1	10.6	8.2	8.0

令和6年度香川県学習状況調査

結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

- ※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。
 ※ 時間や頻度を問う質問項目は除く。

小学校

○回答選択肢1の回答の割合が80%を上回る質問項目

質問番号	質問項目	%
37	小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	95.6

○肯定的な回答の割合が70%を下回る質問項目

質問番号	質問項目	%
7	いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	36.7
42	現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。	42.4
41	現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	59.5

中学校

○回答選択肢1の回答の割合が80%を上回る質問項目

質問番号	質問項目	%
37	小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	94.3

○肯定的な回答の割合が70%を下回る質問項目

質問番号	質問項目	%
28	新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	40.0
7	いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	41.5
42	現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。	44.3
41	現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	47.2
35	「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	55.7
4	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	65.7

Question
1
学習意欲

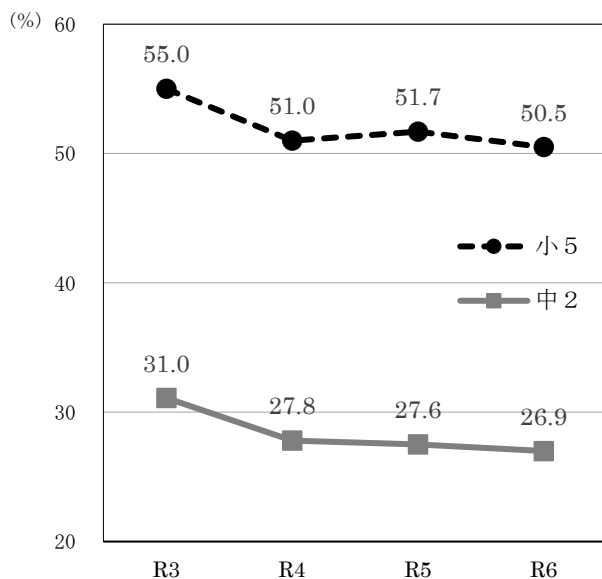
「学習意欲」に関する質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

- Answer 1 「◇20/20 勉強は好き」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、減少している。
- 2 「◇21/21 授業は楽しい」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で横ばいであるが、中学校では減少傾向である。

◇20/20 勉強は好きですか。

【児童生徒質問紙】

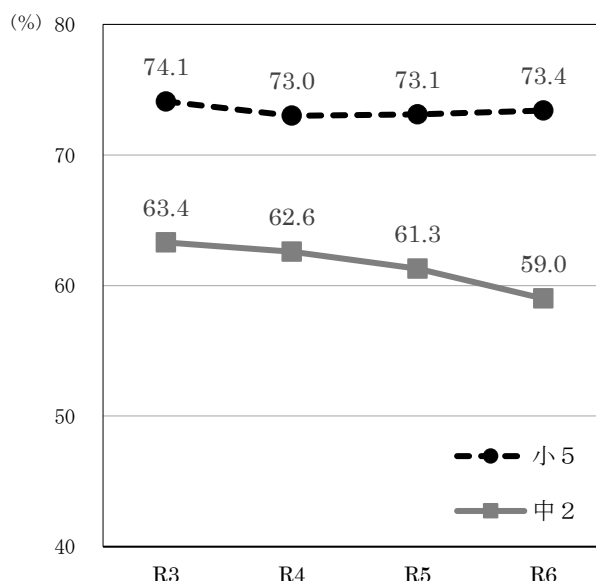
※「好き」+「どちらかといえば好き」と回答



◇21/21 授業は楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】

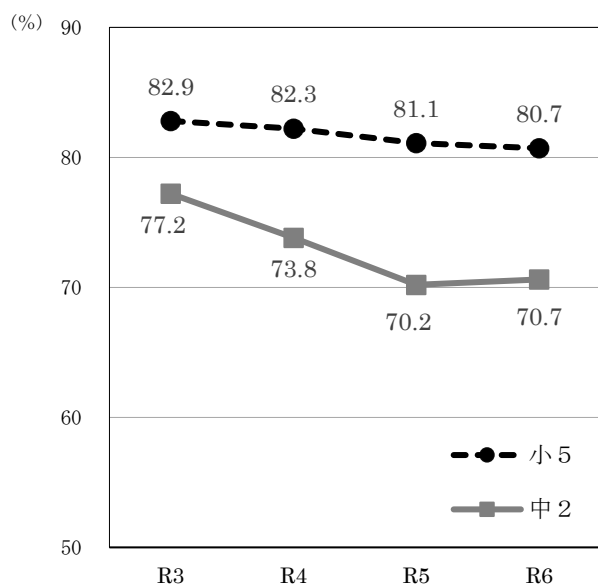
※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答



◇27/25 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。

【児童生徒質問紙】

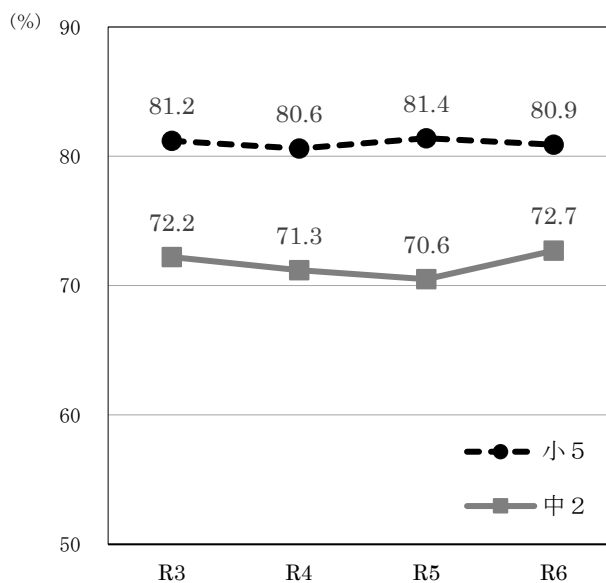
※「取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」と回答



◇28/26 分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。

【児童生徒質問紙】

※「している」+「どちらかといえばしている」と回答



Question
2
言語活動

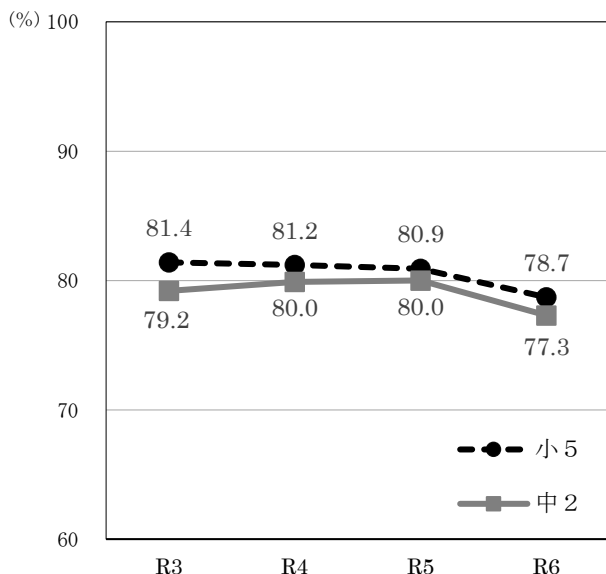
「言語活動」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

- Answer 1 「◇30/28 話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいる」「◇33/31 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫している」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、減少している。
- 2 「◇36/34 話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりできている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校は横ばいであるが、中学校は減少傾向である。

◇30/28 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。

【児童生徒質問紙】

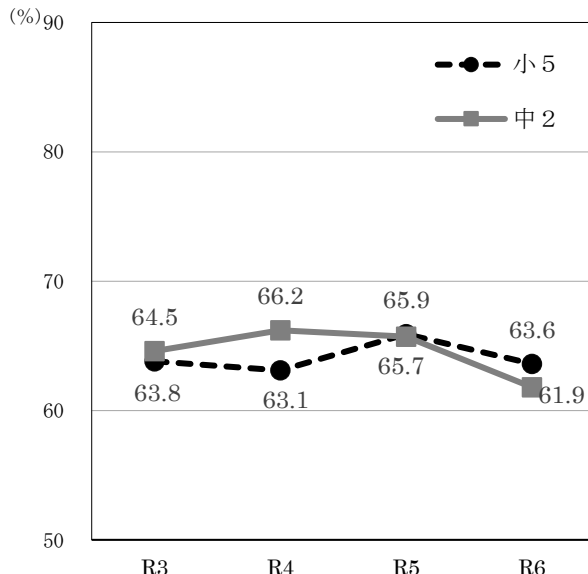
※「取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」と回答



◇33/31 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。

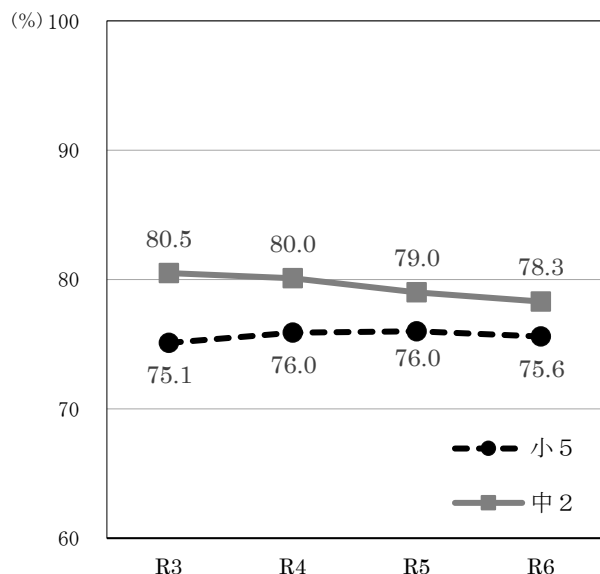
【児童生徒質問紙】

※「している」+「どちらかといえばしている」と回答



◇36/34 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。【児童生徒質問紙】

※「できている」+「どちらかといえばできている」と回答

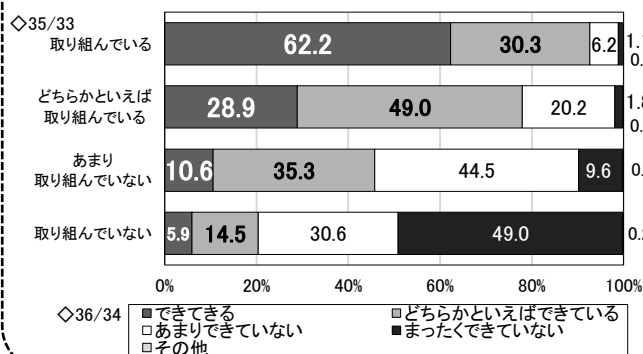


Column

～目的意識を明確にして
必要感のある話し合い活動を～

「◇35/33 友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいる」と肯定的に回答した児童ほど、
「◇36/34 話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができている」と回答しています。この話し合いによって何をgetしたいのかという目的意識をもつことで、その効果を実感することにつながります。教師は、交流相手や交流のタイミングを自分で判断するための手立てを設け、必要感のある話し合い活動へと導きましょう。

「◇35/33 話し合うとき、目的をもって取り組んでいる」と
「◇36/34 自分の考えを広げたり、深めたりできている」の
クロス集計 (R6 小) 【児童生徒質問紙】



Question
3
学習習慣

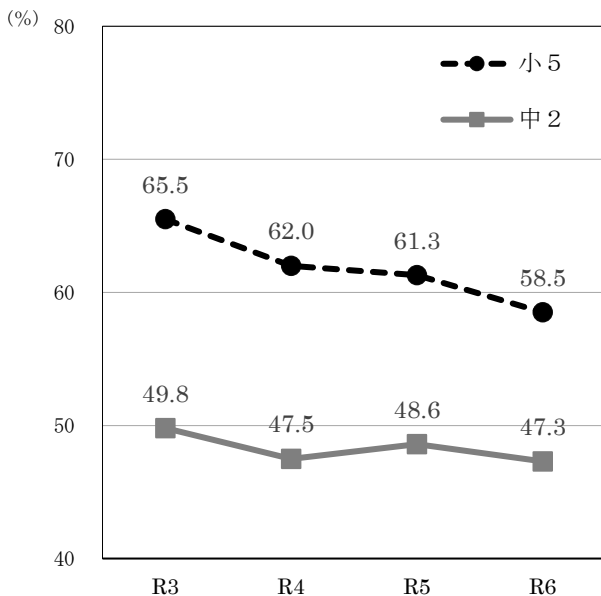
「学習習慣」に関する質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

- Answer 1 「◇39/38 家で自分で計画を立てて勉強をしている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、減少傾向である。
- 2 「◇41/40 平日に1時間以上勉強している」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに減少傾向である。

◇39/38 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

【児童生徒質問紙】

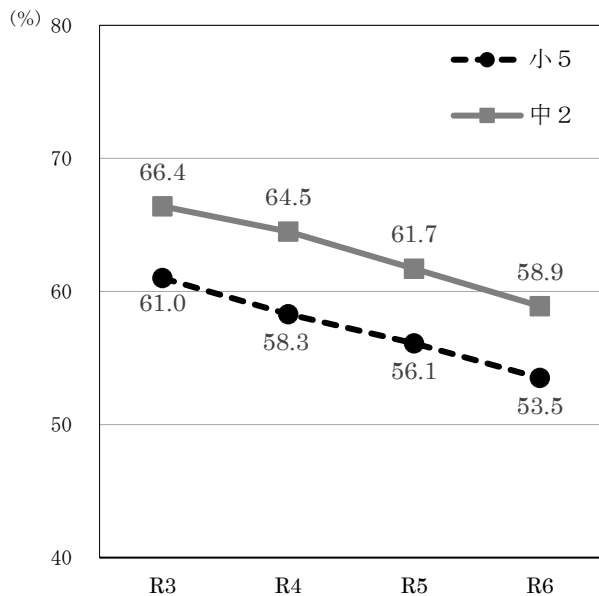
※「している」+「どちらかといえばしている」と回答



◇41/40 学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)

【児童生徒質問紙】

※「1時間以上」と回答



Column

～授業で身に付けた
学びに向かう力を生かして～

家庭学習において、授業で自己選択・自己決定をしながら学ぶことで身に付けた主体的に学習に取り組む態度を発揮して、自分の課題解決に取り組む児童生徒を育てていきたいものです。自走することができる児童生徒を育てる授業改善がここでも生かされるのではないのでしょうか。

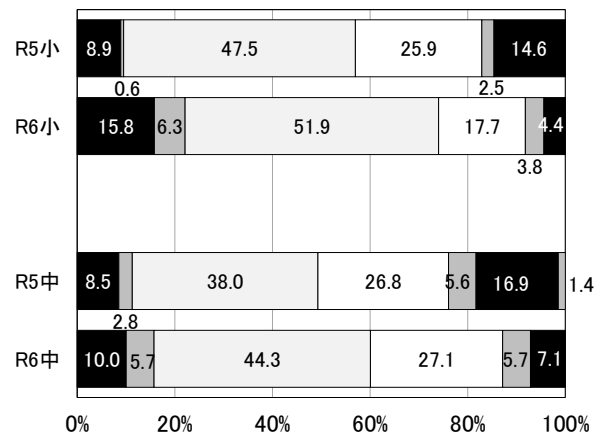
特に、一人一台端末の持ち帰りが進んでいることから、家庭での一人一台端末を使った学習方法等を、具体例を挙げながら教える必要が出てきています。



◆34 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。

【学校質問紙】

- 毎日持ち帰って、毎日利用させている
- 毎日持ち帰って、時々利用させている
- 時々持ち帰って、時々利用させている
- 持ち帰らせていない
- 持ち帰らせてはいけないうとして
- 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
- その他



Question
4
自己有用感
規範意識等

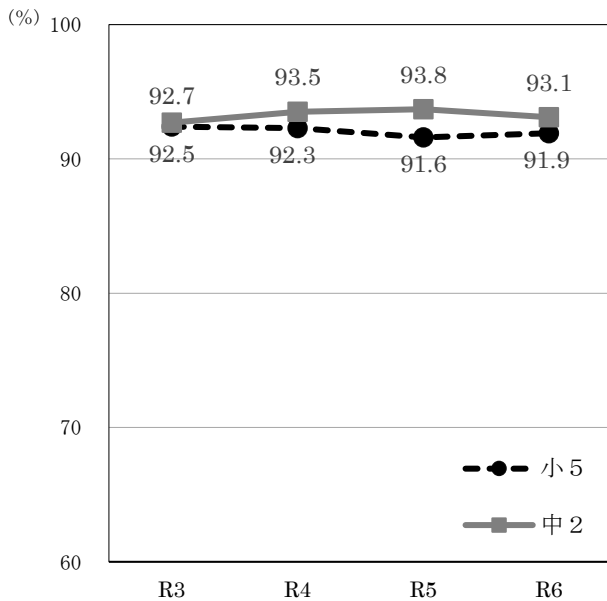
「自己有用感 規範意識等」に関わる質問紙調査結果については、
どのような傾向が見られましたか。

Answer 「◇6/6 自分には、よいところがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中
学校ともに増加傾向である。

◇4/4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

【児童生徒質問紙】

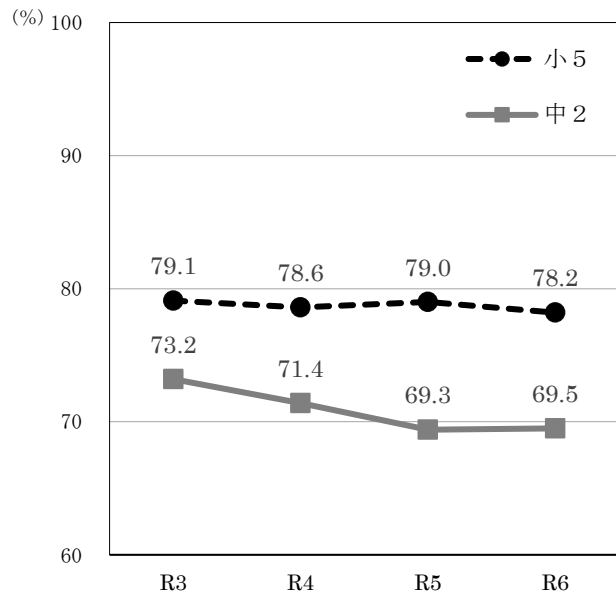
※「ある」+「どちらかといえばある」と回答



◇5/5 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。

【児童生徒質問紙】

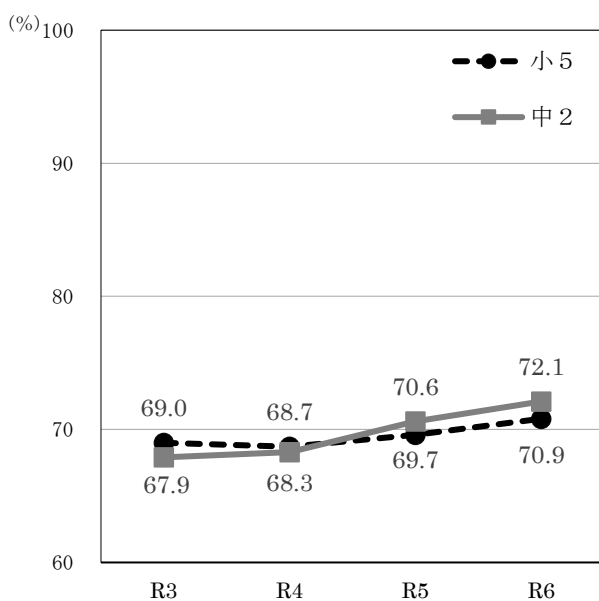
※「している」+「どちらかといえばしている」と回答



◇6/6 自分には、よいところがあると思いますか。

【児童生徒質問紙】

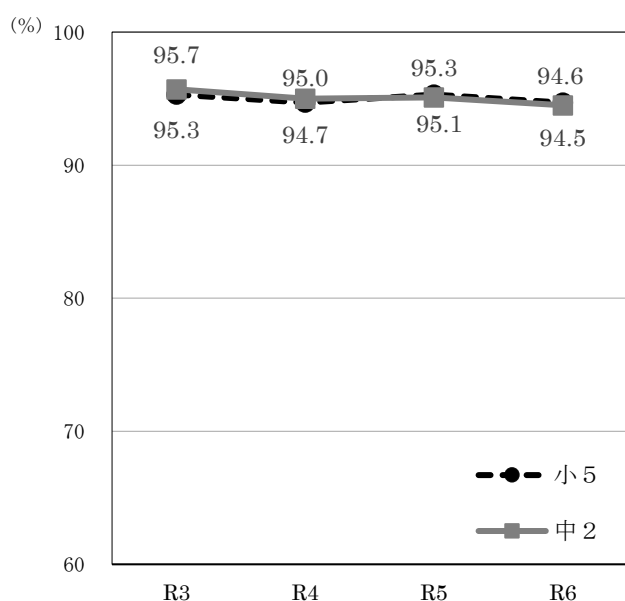
※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答



◇13/13 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

【児童生徒質問紙】

※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答



Question
5
学校生活

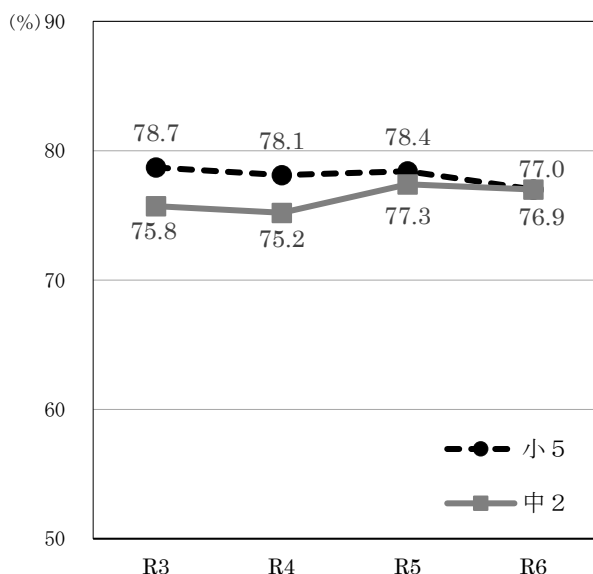
「学校生活」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

- Answer 1 「◇50/49 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は増加傾向である。
- 2 「◇51/50 学級では、安心して自分の意見を言うことができる」と肯定的に回答した児童生徒の割合が、小学校は横ばいであるが、中学校では増加している。

◇49/48 学校に行くのは楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】

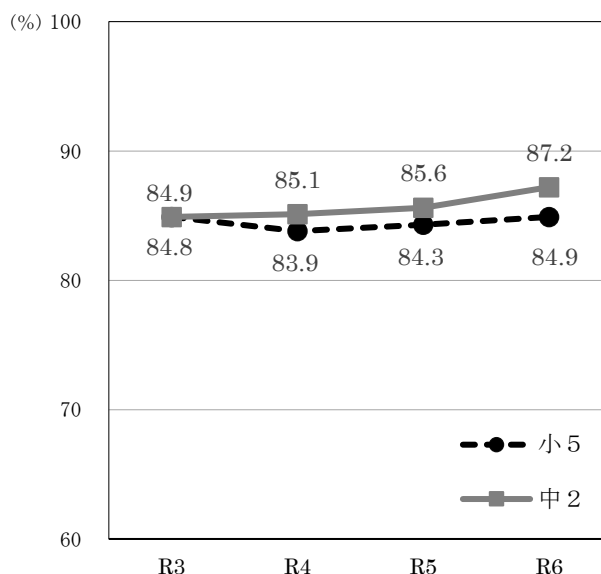
※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答



◇50/49 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。

【児童生徒質問紙】

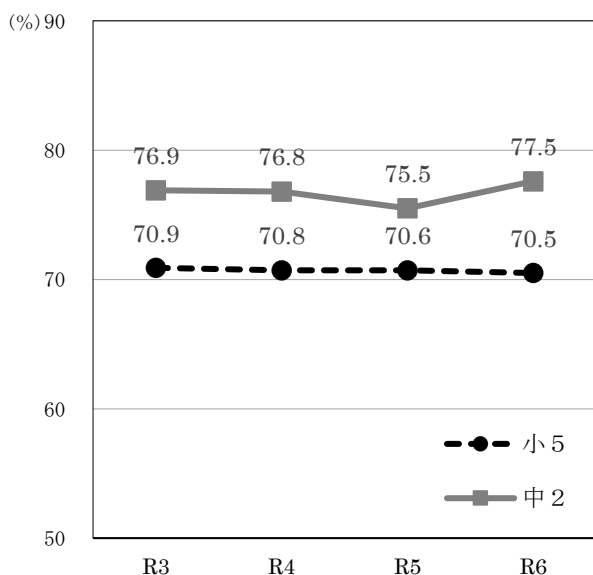
※「ある」+「どちらかといえばある」と回答



◇51/50 学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。

【児童生徒質問紙】

※「できる」+「どちらかといえばできる」と回答

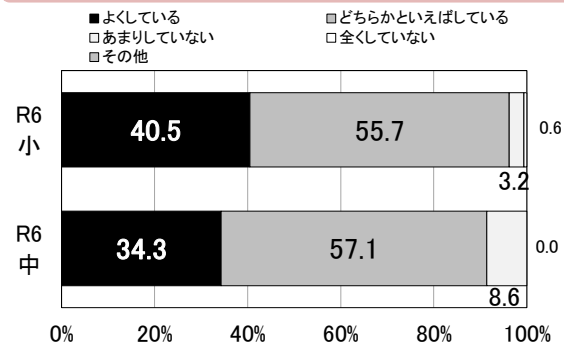


Column

～誰もが参加しやすい学び合い～

「◆26 誰もが参加しやすい学び合いになるように工夫している」と約9割の小・中学校が肯定的に回答しています。多様な児童生徒が共に学ぶ授業の中で、それぞれの意見を大切することから始めて、だんだんと児童生徒が安心して自分の意見を言えるようになるのでしょう。

◆26 普段の授業で、児童生徒の自由な発想や多様な考えを受け入れるなど誰もが参加しやすい学び合いになるように工夫していますか。【学校質問紙】



Question
6
メディアの利用

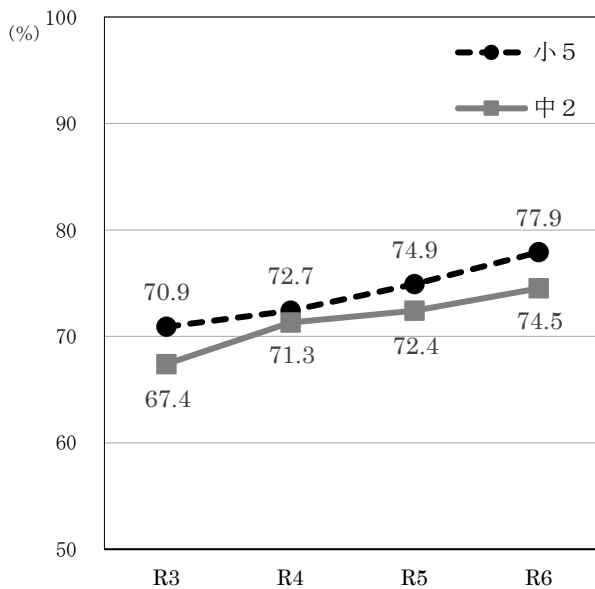
「メディアの利用」に関する質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

- 1 「◇16/16 平日に 1 時間以上ゲームをする」、「◇17/17 平日に 1 時間以上通話やメール、インターネットをする」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに増加傾向である。
- 2 「◇19/19 使用ルールを守っている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、減少している。

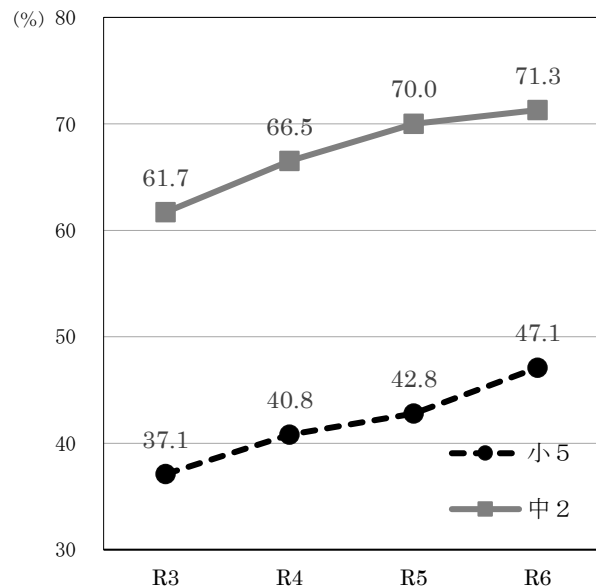
◇16/16 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。【児童生徒質問紙】

※「1時間以上」と回答



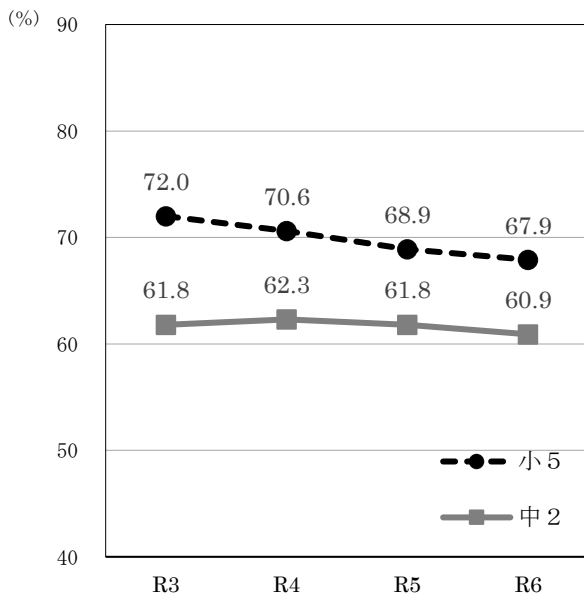
◇17/17 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)【児童生徒質問紙】

※「1時間以上」と回答



◇18/18 携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。【児童生徒質問紙】

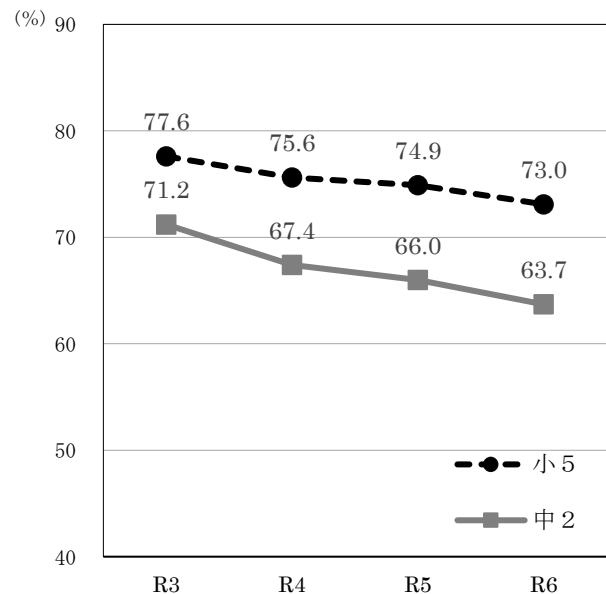
※「守っている」+「どちらかといえば守っている」と回答



◇46/45 読書は好きですか。【児童生徒質問紙】

【児童生徒質問紙】

※「好き」+「どちらかといえば好き」と回答

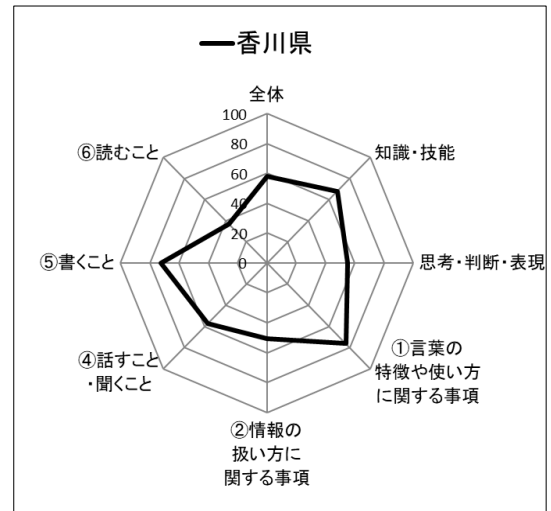


Ⅱ 教科に関する調査結果及び分析

小学校国語

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		57.9
内 容 1	①知識・技能	67.9
	②思考・判断・表現	55.2
内 容 2	①言葉の特徴や使い方に関する事項	76.5
	②情報の扱い方に関する事項	50.6
	③我が国の言語文化に関する事項	
	④話すこと・聞くこと	57.1
	⑤書くこと	72.2
	⑥読むこと	36.6



問題番号			問題の内容	内容1		内容2						正答率 (%)	無解答率 (%)
				①	②	①	②	③	④	⑤	⑥		
一	(一)		目的に応じてメモが必要か否かを判断し、取材して得た情報と情報、自分の考えとを関係付けながら、要点を整理してメモを取ることができているかどうかをみる。		●				●			46.0	0.8
	(二)		必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる。		●				●			42.5	1.1
	(三)		目的や意図に応じて、材料を集めることができているかどうかをみる。		●				●			82.8	1.3
二	(一)		理由や事例など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。	●			●					50.6	1.4
	(二)	内容	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考え、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる。		●					●		68.8	4.9
		表現	文末表現を敬体にそろえて書くことができるかをみる。		●					●		68.3	4.9
		字数	整理して条件にある字数で書くことができるかをみる。		●					●		83.8	4.9
	(三)		文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見つけることができるかどうかをみる。		●					●		68.0	3.8
三	(一)		文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかをみる。		●						●	56.6	2.3
	(二)	ア	学習した漢字を文の中で正しく読むことができるかをみる。	●		●						78.6	3.6
		イ	第4学年までに学習した漢字を文の中で正しく書くことができるかをみる。	●		●						74.4	5.6
	(三)		目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けることができるかをみる。		●						●	31.2	4.1
	(四)		目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかをみる。		●						●	16.1	19.9
	(五)		文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができるかをみる。		●						●	42.6	12.8

「情報の扱い方に関する事項」については、理由や事例など情報と情報との関係について捉えることに課題が見られる。

「話すこと・聞くこと」については、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることに課題が見られる。

「読むこと」については、目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約することに課題が見られる。

2 調査結果から授業改善へ

文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

学習指導要領における内容〔第3学年及び第4学年〕
2〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと (1)オ

小学校第5学年 三(五)

問題番号	反応率(%)
三 (五)	①正答 42.6
	②誤答1 28.8
	③誤答2 1.0
	④誤答3 14.7
	⑤無答 12.8

【正答例】

(賛成・反対)

あいさつの言葉に本来の意味があることを知らない人は、学級にたくさんいると思うから。

【解答類型】

- ①正答
- ②文章中の言葉を取り上げていない。
- ③立場と理由がずれている。
- ④その他
- ⑤無答

【資料】
あいさつについての文章

三
生活委員の香川さんは、気持ちのよいあいさつを広げるために、図書室で見つけた次の【資料】を学級の友達にしようかいいしようと考えました【資料】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(五) 香川さんは、この【資料】の内容について、生活委員のメンバーと話し合っています。生活委員として、この【資料】からあなたが考えたこととを、次の条件に合わせてまとめましょう。左のわくは下書きに使って

もかまいません。答えは回答用紙に書きましょう。

条件1 この資料の内容を学級でしようかいいすることに賛成か反対か、立場を明確にしましょう(どちらかに○をつけましょう)

条件2 賛成または反対の理由を、文章中の言葉を取り上げながら書きましょう。

【話し合っている様子の一部】

香川さん 気持ちのよいあいさつが広がるように、この【資料】の内容を学級の友達にしようかいいしてはどうだろう。
この【資料】を読んで、生活委員のみんなが考えたことを聞かせてくれないかな。

●理由
●「あなたの考え」
資料の内容をしようかいいすることに(賛成・反対)

【分析と具体的な指導】

三(五)の正答率は42.6%である。解答類型②の反応率は28.8%で、賛成か反対か立場を明確にすることはできるが、条件2の「賛成または反対の理由を、文章中の言葉を取り上げながら書くこと」ができていない。理由を述べるに当たって、その根拠となる【資料】を読んで理解したことを基にして書くことができなかったと考えられる。また、三(三)の目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けることを問う問題の正答率も31.2%と低いことから「気持ちのよいあいさつを広げるために【資料】を紹介する」という目的を意識して文章を読めていないと考えられる。

読む目的を意識させる

本設問を授業で扱う際には、「気持ちのよいあいさつを広げる」ために【資料】を読むという目的を意識しながら、筆者の主張が11段落に書かれてあることを理解し、この文章が気持ちよくあいさつをすることにつながるかどうかを考える必要がある。普段の授業の中で、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができるようにするために、各単元において読む目的を意識させることが重要である。何のために教科書教材や自分が選択した本、文章を読むのかを単元の導入や展開部分で何度も確認するなど意図的に意識づけるようにする。

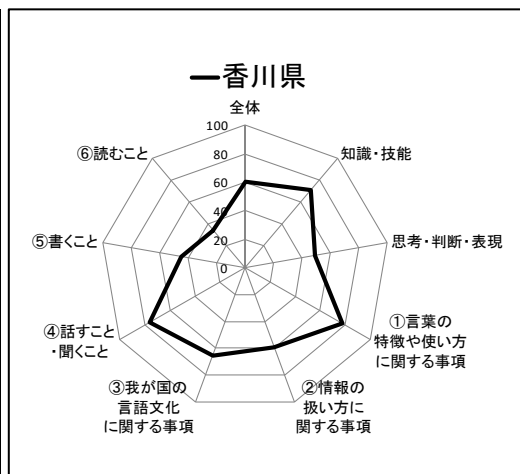
また、特に、自分の感想や考えをもてるようにするには、感想や考えをもつために、どのように考えたらいいかを明示することも重要である。例えば、読みながら自分が経験したこととよく似た叙述に赤で線を引く、疑問に思う叙述には波線を引くなどの自分の考えと結びつくような叙述に印をつけておき、その叙述を引用し、自分の考えを書くことが考えられる。その際には、第3学年及び第4学年〔知識及び技能〕の(2)イの比較や引用の仕方に関する指導も合わせて行いたい。

教科書に関する
調査結果及び分析

中学校国語

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		60.5
内 容 1	①知識・技能	71.0
	②思考・判断・表現	49.0
内 容 2	①言葉の特徴や使い方に関する事項	77.8
	②情報の扱い方に関する事項	59.0
	③我が国の言語文化に関する事項	65.4
	④話すこと・聞くこと	76.1
	⑤書くこと	44.8
	⑥読むこと	34.5



問題番号			問題の内容	内容1		内容2						正答率 (%)	無解答率 (%)
				①	②	①	②	③	④	⑤	⑥		
一	(一)		必要に応じて記録しながら話の内容を捉えることができるかをみる。		●				●			70.9	0.4
	(二)		必要に応じて質問しながら、話の内容を捉えることができるかをみる。		●				●			73.8	0.4
	(三)		伝えたい内容を適切に伝えるために、必要な資料を検討することができるかをみる。		●				●			83.7	0.5
二	(一)	ア	学習している漢字を適切に読めるかをみる。	●		●						88.5	2.7
		イ	学年別漢字配当表の小学校第6学年までに配当されている漢字を書くことができるかをみる。	●		●						62.4	21.9
		ウ	学年別漢字配当表の小学校第6学年までに配当されている漢字を書くことができるかをみる。	●		●						73.1	10.1
		エ	学習している漢字を適切に読めるかをみる。	●		●						92.2	3.2
	(二)		事実と意見との関係について叙述を基に、内容を捉えているかをみる。		●						●	25.5	25.0
	(三)		言葉の単位(文節)について理解しているかをみる。	●		●						68.3	0.6
	(四)		段落相互の関係を押さえて、内容を捉えているかをみる。		●						●	26.0	23.1
	(五)		事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる。	●		●						82.2	0.9
	(六)		文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる。		●						●	42.7	0.0
	(七)		文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っているかをみる。		●						●	38.6	29.6
三	(一)		歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。	●				●				78.2	4.5
	(二)		古典の原文と現代語訳を対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。	●				●				26.9	6.3
	(三)		古典の原文と現代語訳を対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。	●				●				91.2	5.4
	(四)		文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っているかをみる。		●						●	39.7	12.4
四	(一)	A	情報と情報との関係について理解しているかをみる。	●			●					55.9	2.8
		B	情報と情報との関係について理解しているかをみる。	●			●					62.0	3.2
	(二)		書き手がどのような表現の工夫をし、どのように効果があるのかを検討することができるかをみる。		●						●	57.2	5.7
	(三)		段落の役割を明確にするとともに、意識しながら文章を書くことができるかをみる。		●						●	32.2	29.4

「情報の扱い方に関する事項」については、情報と情報との関係について理解することに課題が見られる。

「書くこと」については、段落の役割を明確にするとともに、意識しながら文章を書くことに課題が見られる。その要因として、文章全体の中で段落の役割を具体的に考えた上で、前段の内容を踏まえて書く内容を考えなければならなかったことなどが考えられる。

「読むこと」については、事実と意見との関係について叙述を基に内容を捉えること、段落相互の関係を押さえて内容を捉えることや文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っていることに課題が見られる。

2 調査結果から授業改善へ

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにできるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】
中学校第2学年 二(七)

学習指導要領における内容〔第1学年〕
2〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと (1)オ

さらに調べたい内容	それを選んだ理由
--	---

※ 左の枠は下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

問題番号		反応率(%)		解答類型
二	(七)	①正答	38.6	①完答 ②条件1を満たしていないもの ③条件2を満たしていないもの ⑧その他 ⑨無答
		②誤答1	3.4	
		③誤答2	18.1	
		⑧誤答3	10.3	
		⑨無答	29.6	

二 西岡さんは、外来生物について考えるために【A】と【B】の文章を読んでいます。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

(七) 西岡さんは、総合的な学習の時間で「生物多様性について」調べたことをまとめています。そこで、【A】と【B】の文章を読み、外来生物に関する自分の考えを深めようとしています。あなたなら、外来生物についてさらにどのような内容を調べたいですか。次の条件1と条件2の指示にしたがって、自分の考えを解答用紙に書きなさい。

条件1 さらに調べたい内容とその理由を書くこと。

条件2 理由は、【A】もしくは【B】、またはその両方の文章から、

自分が着目したところを交えて書きなさい。自分が着目したところは文章から抜き出し、その部分には、「」を付けること。

【分析と具体的な指導】

正答率は38.6%である。解答類型③、⑧の反応率の合計は、28.4%であり、文章を読んで理解したことを基に「さらに調べたい内容」と「その理由」、「文章からの引用」の三つの条件を整理して自分の考えを表現することに課題がある。また、無答率が29.6%であったことから、複数の文章を読んで得られた情報を、自分がさらに調べたい内容につなげることができなかったと考えられる。

授業では、観点を明確にして複数の文章を比較しながら読んだり、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付けたりすることで、物事に対する新たな視点をもてるようにすることが大切である。また、複数の文章を読む際には、〔知識及び技能〕(2)情報の扱い方に関する事項 イ「比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと」の指導事項と関連を図ることが効果的である。

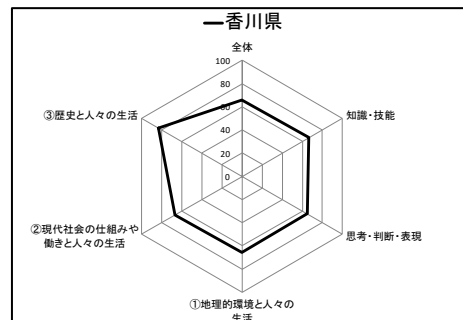
本設問のような授業を行う際には、まず、複数の文章から多様な情報を得て、そこから自分の考えを形成する言語活動を設定し、情報を比較することでどのように読みが深まるか生徒と確認するとともに、比較の観点(文章構成や表現の仕方、書き手の主張等)を明確にして比較読みすることで、書き手の意図やねらいを捉えやすくなることを指導することが重要である。

さらに、比較読みにおいて、共通性と差異性を見いだしながら読みを深め、具体的な事例と生徒自身の生活体験をつないで考えたり、書き手の考えと自分の考えを対比したりすることで、「文章を読んで理解したり考えたりすること」から「自分の知識や経験と結び付けながら」自分の考えを形成することへと高めたい。

小学校社会

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		65.8
内 容 1	①知識・技能	66.4
	②思考・判断・表現	65.0
内 容 2	①地理的環境と人々の生活	65.4
	②現代社会の仕組みや働きと人々の生活	66.7
	③歴史と人々の生活	83.2



問題番号			問題の内容					正答率 (%)		無解答率 (%)	
			内容1		内容2			香川県	香川県	香川県	香川県
			①	②	①	②	③				
1	(1)		地図記号と方位を正しく理解しているかをみる。	●	●			76.2	0.2		
	(2)		等高線から地図上の場所の高さを読み取れるかをみる。	●	●			55.4	0.3		
	(3)		等高線と地形の関係を読み取れるかをみる。	●	●			36.2	0.5		
	(4)		地図から土地利用の様子、地図記号や位置関係を正しく読み取れるかをみる。	●	●			84.0	0.5		
	(5)		地図から土地利用の様子、地図記号や位置関係を正しく読み取れるかをみる。	●	●			89.3	0.7		
2	(1)	①	世界の大陸名とその位置を理解しているかをみる。	●	●			58.7	3.8		
		②	地球儀上で、世界の主な海洋名とその位置を理解しているかをみる。	●	●			57.8	0.5		
		③	世界地図や地球儀を用いて、北緯や南緯に位置する国の位置関係を正しく考えられるかをみる。		●	●		57.7	1.3		
	(2)	①	わが国の領土である北方領土にある島々について理解しているかをみる。	●	●			71.3	0.4		
		②	わが国の領土の端に位置する島について理解しているかをみる。	●	●			73.3	0.4		
		③	わが国周辺の海洋名とその位置を理解しているかをみる。	●	●			45.1	0.5		
3	(1)		雨温図を読み取り、高い土地の様子とつなげて考えられるかをみる。	●	●			60.5	0.5		
	(2)		あたたかい土地の人々が我が国の気候に適応して住居の工夫をしていることを理解しているかをみる。	●	●		●	83.2	0.4		
	(3)		あたたかい土地の人々の生活や文化について地理的・歴史的な視点で捉えられているかをみる。		●	●		66.3	0.7		
	(4)		人々が地形条件や気候条件を生かして生活していることを2つの事例地の共通項から捉えられているかをみる。		●	●		79.6	0.5		
4	(1)		複数の資料から、作業時間の短縮と農業機械の導入の関係性を考えられているかをみる。		●	●		77.0	0.5		
	(2)		品種改良について理解をしているかをみる。	●		●		90.5	0.7		
	(3)		複数の資料から、生産者の願いや工夫が捉えられているかをみる。		●	●		65.1	1.9		
	(4)		複数の資料から米の生産量・消費量の変化と農家の人々の願いを関連させて考えられているかをみる。		●	●		63.3	3.9		
5	(1)	①	資料から漁師が魚の動きに合わせて工夫して漁を行っていることを正しく読み取れているかをみる。	●	●			55.0	1.1		
		②	複数の資料を関連付けて、自然条件の変化により起きている問題について考えられているかをみる。		●	●		56.9	1.6		
	(2)	①	地図から日本の近海の様子を読み取り、暖流、寒流それぞれの名称を理解しているかをみる。	●	●			60.4	2.0		
		②	資料に示された日本近海の海流の影響を正しく理解しているかをみる。	●	●			43.0	2.4		
6	(1)	ア	複数の資料の中から文章の根拠となる資料を選択することができるかをみる。		●	●		74.3	2.8		
		イ	複数の資料の中から文章の根拠となる資料を選択することができるかをみる。		●	●		72.0	3.3		
		ウ	複数の資料の中から文章の根拠となる資料を選択することができるかをみる。		●	●		76.8	3.7		
	(2)		資料に基づいて、情報の妥当性を正しく判断しているかをみる。		●	●		34.0	3.6		
	(3)		資料に示された情報の効果について、正しく判断しているかをみる。		●	●		56.9	4.4		
7	(1)		近隣の都道府県名を理解しているかをみる。	●	●			72.8	4.6		
	(2)		地図帳での位置の表し方を理解しているかをみる。	●	●			71.8	5.7		
	(3)		自分の学校がある市町名と地図上の位置を理解しているかをみる。	●	●			76.5	7.3		

「知識・技能」については、等高線と地形の関係を読み取ったり、地図上で、わが国周辺の海洋名を答えたりする問題での正答率が低く、課題が見られる。また、自分の学校がある市町名とその位置を答える問題では、正答率が高いものの無解答率も 7.3% と高かった。「思考・判断・表現」については、資料に基づいて、情報の妥当性を正しく判断する問題での正答率が低く、課題が見られる。

2 調査結果から授業改善へ

地図帳や地球儀などを用いて、方位や位置関係、範囲などを読み取ることができるようにする

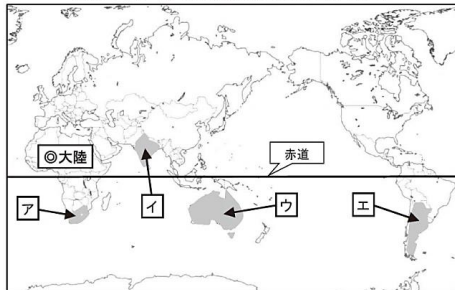
【授業改善のヒントとなる問題の概要】

小学校第5学年 ②(1)

学習指導要領における内容〔第5学年〕
(1) 我が国の国土の様子と国民生活

- ③ 【資料1】の【ア】～【エ】は、国を表しています。【資料2】の中に見えている国を、【資料1】の【ア】～【エ】の中から一つ選びましょう。

【資料1】主な大陸を示した世界地図



【資料2】北極の真上から見た地球儀



問題番号	反応率(%)	解答類型
② (1)	①正答 57.7	①イ 正答 ⑧その他 ⑨無答
	⑧誤答 41.0	
	⑨無答 1.3	

小学校第5学年 ⑤(1)

学習指導要領における内容〔第5学年〕
(2) 我が国の農業や水産業における食料生産

- (1) 下の【資料1】～【資料3】をもとに、東北地方の漁業について考えています。【資料1】の中の()に当てはまる言葉の組み合わせとして正しいものを、①、②の【ア】～【エ】の中からそれぞれ一つずつ選びましょう。

【資料3】

漁師が漁をする主な漁場



あきら「【資料3】を見ると、漁師が漁をする主な漁場は、(A)の沿岸に広がっていることが分かるよ。(略)」
なおこ「漁師は、時期によって漁場を変えながら漁をすることで、マイワシやサバを(B)とすることができそうだね。」

- ① ア A: 青森県から宮城県
B: 夏から秋にかけて
イ A: 青森県から福島県
B: 一年中
ウ A: 青森県から千葉県
B: 一年中
エ A: 青森県から千葉県
B: 夏から秋にかけて

問題番号	反応率(%)	解答類型
⑤ (1)	①正答 55.0	①ウ 正答 ⑧その他 ⑨無答
	⑧誤答 43.9	
	⑨無答 1.1	

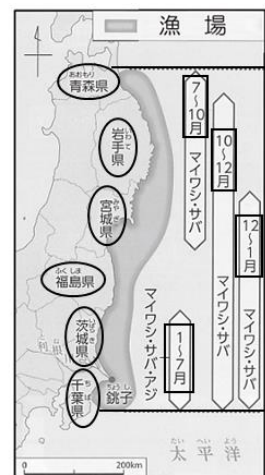
【分析と具体的な指導】

2つの設問は、どちらも正答率が60%以下であり、地球儀や地図資料を調べてその位置や範囲を把握する技能に課題がある。社会科では、児童の発達の段階に照らして、各種の具体的資料や基礎的資料を取り上げるが、その中でそれぞれの資料に親しみ、適切に活用する技能を育むことが大切である。そのため、本設問を授業で扱う際には、次のような活動を重視したい。

地球儀や地図帳を活用し、各種資料に親しむ活動の充実

設問②においては、第5学年の始めの地球儀に触れる活動の中で、地球儀を用いて、方位や位置関係、範囲などを確かめたり、主な国の位置を緯度や経度を用いて言い表したりして親しんだ経験が、例えば、「赤道は地球儀上では北極と南極のちょうど真ん中に引かれている」や「北極点を真上から見ると北半分しか見えない」という実感を育むと考える。

また、設問⑤では、右の図のように、地図上で「漁場」として示されている範囲が接岸している県名や水揚げの期間をそれぞれ囲む作業を行い、漁師が6つの県に広がる範囲で漁場と時期を工夫しながら、1年間を通じてマイワシやサバを獲っていることに気付かせたい。「どこで、どのような魚を、どのように獲っているのだろう」という位置や分布等を問う視点から具体的な作業を行う中で、児童は地図資料に親しみ「社会的事象の見方・考え方」の基礎が培われていくと考える。

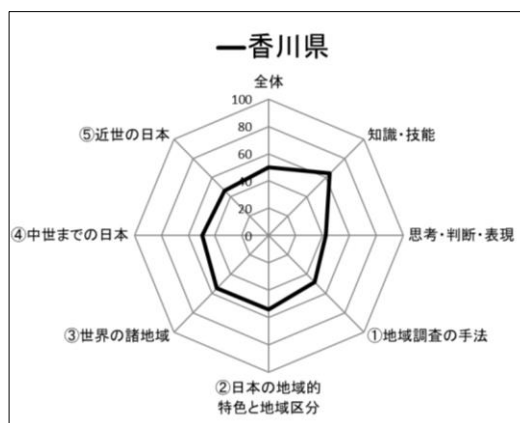


教科に関する
調査結果及び分析

中学校社会

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		50.2
内 容 1	①知識・技能	64.2
	②思考・判断・表現	42.4
内 容 2	①地域調査の手法	48.2
	②日本の地域的特色と地域区分	54.3
	③世界の諸地域	54.7
	④中世までの日本	49.7
	⑤近世の日本	46.4



問題番号			問題の内容	内容1		内容2					正答率 (%)	無解答率 (%)
				①	②	①	②	③	④	⑤	香川県	香川県
1	(1)		地形図の読み取りについての基本的な技能を身に付けているか。	●		●					66.0	2.0
	(2)	①	地形についての基本的な知識を身に付けているか。	●		●					76.9	0.3
		②	まとめに関連する資料を適切に判断することができるか。		●	●					48.4	0.5
	(3)	①	複数の資料を比較して、地形の変化について読み取ることができるか。	●		●					16.7	1.0
		②	複数の資料と既習事項を関連付けて、社会的事象の背景について考察することができるか。		●	●					32.9	17.8
2	(1)		扇状地の場所について、資料から思考・判断できるか。		●		●				75.0	0.7
	(2)		複数の資料を関連付けて、身近な地域の気候の特色について考察できるか。		●		●				31.3	7.3
	(3)		主な日本のエネルギーについて、思考・判断できるか。		●		●				33.0	0.8
	(4)		南海トラフについて、資料から思考・判断できるか。		●		●				77.7	0.9
3	(1)		多くのEU加盟国で使用されている共通通貨についての知識を身に付けているか。	●				●			74.9	9.1
	(2)		ヨーロッパにおける特徴的な地形について知識を身に付けているか。	●				●			62.0	0.7
	(3)		複数の資料を関連付けてヨーロッパ州の宗教や言語の分布について読み取ることができるか。	●				●			65.0	0.9
	(4)		資料から読み取った情報と知識とを結びつけて農業の分布について判断できるか。		●			●			39.5	1.7
	(5)		統合を進めてきたEUの課題である経済格差について説明する資料を適切に表現できるか。		●			●			32.1	1.0
4	(1)	①	16世紀の外国との貿易について、基本的な知識を身に付けているか。	●						●	72.9	11.4
		②	日本の出来事と結び付けて世界の出来事を把握し、判断できるか。		●					●	57.2	1.3
	(2)	①	織田信長が行った政策についての基本的な知識を身に付けているか。	●						●	77.8	13.5
		②	知識と複数の資料から読み取った情報とを結びつけて理由を説明できるか。		●					●	25.6	27.9
	(3)		社会の変化を述べたもののうち近世につながらない内容を判断できるか。		●					●	47.5	1.3
	(4)		江戸期の米の収穫量の増加理由を複数の資料を関連付けて考察できるか。		●					●	15.4	30.2
	(5)		十七条の憲法についての基本的な知識を身に付けているか。	●					●		65.5	1.2
5	(1)		鎌倉時代の知識と資料から読み取れる情報とを結びつけて考察できるか。		●				●		47.4	2.0
	(2)		分国法と御成敗式目の共通点を時代の特色から考察できるか。		●				●		39.5	2.5
	(3)		資料から読み取った情報を活用し、行われた政策について考察できるか。		●					●	28.4	20.6
	(4)		各時代の特色をもとに考察し、大宝律令があてはまる時代を判断できるか。		●				●		46.4	2.0
	(5)											

新・旧地形図の比較やグラフ・関係図の読み取りを基に考察し、文章で表現する設問において、誤答率が正答率を上回るとともに、無解答率も高くなっている。設問の難易度も背景にあるが、資料から読み取った情報を基にして、社会的事象の特色や意味などについて考察し、表現する力や態度の育成に課題がうかがえる。

2 調査結果から授業改善へ

社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目してとらえ、考察することができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

中学校第2学年 ③(4)

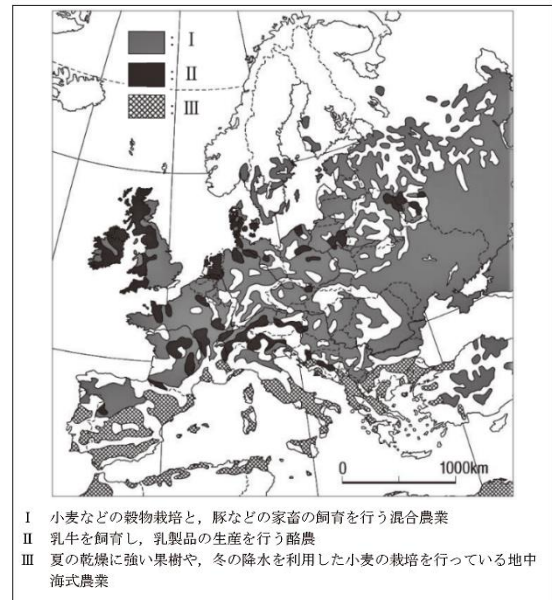
学習指導要領における内容〔地理的分野〕
B 世界の様々な地域 (2) 世界の諸地域

- (4) 資料1中の下線部bについて、生徒たちは、オランダ、ドイツ、フランス、イタリアの4か国で生産されているおもな農産物の生産量を調べ、その結果を資料6にまとめました。また、ヨーロッパ州全体の農業の傾向を確かめるために、さらに資料を探していると、資料7の分布図を見つけました。資料7を参考に、資料6中ア～エのうち、ドイツにあたるものを一つ選びなさい。

資料6 調べた4か国のおもな農産物生産量 (2022年)

	小麦 (千t)	豚肉 (千t)	ぶどう (千t)	牛乳 (千t)
ア	22,587	4,492	1,223	32,399
イ	1,163	1,684	2	14,534
ウ	34,632	2,152	6,200	23,968
エ	6,610	1,255	8,438	13,182

資料7 ヨーロッパ州の農業地域



問題番号	反応率(%)	解答類型
③ (4)	①正答	39.5
	②誤答1	20.2
	③誤答2	28.4
	④誤答3	10.2
	⑧誤答4	0.1
	⑨無答	1.7
		①ア：ドイツ 正答 ②イ：オランダ ③ウ：フランス ④エ：イタリア ⑧その他 ⑨無答

【分析と具体的な指導】

本設問は、ヨーロッパ州の農業地域を示した分布図と国別の農産物生産量に基づき、それぞれの国の地域的特色を考察するものである。

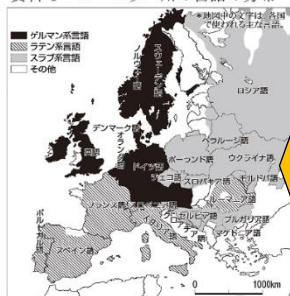
3つの農業地域の広がりや「ぶどう」及び「牛乳」の生産量から、イタリアとオランダの判別は容易であり、4種類の農作物すべてが一定量生産されているドイツとフランスは、生産量の大きさと割合から考察することとなる。解答類型別の解答率もそのような傾向を示しており、生徒が分布図の広がりや生産量に着目して考察したと考えられる。

・位置や分布を具体的に整理する活動の充実

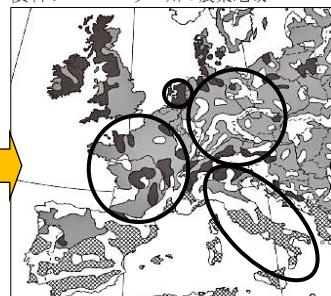
どこに、どのようなものが、どのように広がっているのか、諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりどとらえ、地理的事象として見いだす「地理的な見方」を育むことが大切である。

本設問を例とすれば、言語の分布を示す資料4を使うなどして、4か国の位置や広がりや資料7の上に示すとともに、資料6と資料7の「凡例」との関連を整理することで、それぞれの国における凡例（農業地域）の広がりから、農業における地域的特色を把握することが容易となる。

資料4 ヨーロッパ州の言語の分布



資料7 ヨーロッパ州の農業地域



資料6 調べた4か国のおもな農産物生産量 (2022年)

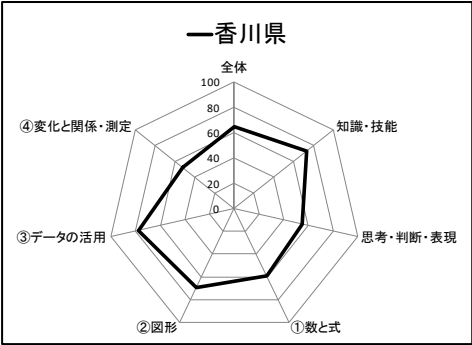
	小麦 (千t)	豚肉 (千t)	ぶどう (千t)	牛乳 (千t)
ア	22,587	4,492	1,223	32,399
イ	1,163	1,684	2	14,534
ウ	34,632	2,152	6,200	23,968
エ	6,610	1,255	8,438	13,182
凡例	I	III	I	III

このような具体的な活動を、授業において積み上げていくことが大切である。

小学校算数

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		64.8
内 容 1	①知識・技能	72.9
	②思考・判断・表現	54.9
内 容 2	①数と式	59.3
	②図形	69.7
	③データの活用	77.7
	④変化と関係・測定	52.5



問題番号			問題の内容	内容1		内容2				正答率 (%)	無解答率 (%)
				①	②	①	②	③	④	香川県	香川県
1	(1)	①	減法と除法が混在した整数の計算ができるかをみる。	●		●				56.9	0.8
		②	末尾の位のそろっていない小数の加法ができるかをみる。	●		●				66.4	0.9
		③	小数の除法の計算ができるかをみる。	●		●				62.5	1.7
		④	小数の乗法の計算ができるかをみる。	●		●				60.5	1.0
	(2)		四捨五入をすると、問題場面にあう数になる数字の並びを考えることができるかをみる。		●	●				18.0	4.1
	(3)	①	式をみて、適切な状況を選ぶことができるかをみる。		●	●				71.6	0.6
		②	式をみて、適切な状況を選ぶことができるかをみる。		●	●				89.2	0.9
		③	式をみて、適切な状況を選ぶことができるかをみる。		●	●				70.7	0.8
	(4)		商や積が、わられる数やかけられる数より大きくなる場合について、理解しているかをみる。	●		●				38.1	1.5
	2	(1)	①	二等辺三角形の内角を求めることができるかをみる。	●			●			61.3
②ア			平行四辺形の性質を使って角を求めることができるかをみる。	●			●			54.1	2.1
②イ			平行四辺形の性質を使って辺の長さを求めることができるかをみる。	●			●			95.0	1.6
(2)		①	長方形の性質を使って構成された四角形について、判断することができるかをみる。	●			●			88.0	0.6
		②	台形の性質を理解しているかをみる。	●			●			73.6	1.0
(3)		式	長方形の面積を求める式を使って、四角形の面積の求め方が分かるかをみる。		●		●			57.1	3.4
		答え	長方形の面積の求める式を使って、四角形の面積を求めることができるかをみる。		●		●			58.7	3.6
3	(1)		二次元の表の、それぞれの欄の意味を理解しているかをみる。	●				●		83.7	1.6
	(2)	説明	示された式の中の数の意味を、二次元の表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できるかをみる。		●			●		42.5	8.9
		表の場所	二次元の表の、それぞれの欄の意味を理解しているかをみる。		●			●		79.5	1.9
	(3)	けがの種	複数の棒グラフを組み合わせたグラフから、情報を適切に読み取ることができるかをみる。	●				●		93.8	1.2
		グラフ	複数の棒グラフを組み合わせた2つのグラフについて、それぞれの特徴を理解しているかをみる。	●				●		80.5	1.5
	(4)	けがの種	複数の棒グラフを組み合わせたグラフから、情報を適切に読み取ることができるかをみる。	●				●		80.5	1.1
		グラフ	複数の棒グラフを組み合わせた2つのグラフについて、それぞれの特徴を理解しているかをみる。	●				●		83.3	1.6
4	(1)		伴って変わる二つの数量の関係について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかをみる。	●				●		88.3	6.7
	(2)	比例の判	伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、比例しているかどうかを判断することができるかをみる。		●			●		39.5	2.7
		イ	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係でないことを説明することができるかをみる。		●			●		40.1	5.0
		ウ	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係でないことを説明することができるかをみる。		●			●		24.4	5.1
			式の中の数値の意味について、表をもとに正しく解釈し、図のどの部分にあたるかを読み取ることができるかをみる。		●			●		61.1	2.6
	(4)		伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、知りたい数量の大きさを求めることができるかをみる。	●				●		61.3	4.7

「数と式」については、四捨五入すると、問題場面にあう数になる数字の並び方を考えることや、商や積がわられる数やかけられる数より大きくなる小数の計算の理解に課題が見られる。また、「変化と関係」については、表の数値をもとに伴って変わる2つの数量の関係が比例しているかどうかを判断し、その理由を説明することに課題が見られる。

2 調査結果から授業改善へ

比例の関係にあるかどうかを判断し、具体的な数値を示しながら説明できるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

小学校第5学年 4(2)

まなみさんたちは、植木ばちの数と高さの関係について考えています。



表を見ると、植木ばちの数が、1個から2個になったとき、
高さは、24cmから28cmになっているね。

植木ばちの数が、1個から3個になったとき、
高さは、24cmから32cmになっているね。
高さは植木ばちの数に比例しているのかな？



ひでき

- (2) 高さは植木ばちの数に比例しているでしょうか。解答用紙のあてはまる方を○で囲みましょう。
また、①、⑦にあてはまる数や言葉を入れ、その理由を説明しましょう。

高さは植木ばちの数に、

比例している ・ 比例していない

その理由は

植木ばちの数が、 ① になったとき、

高さは、 ⑦ からです。

学習指導要領における内容〔第5学年〕
C(1) 伴って変わる二つの数量の関係

問題番号	反応率 (%)
4 (2)	比例の判断
	① 正答 39.5
	⑧ 誤答 57.8
	⑨ 無答 2.7
	イ
	① 正答 40.1
	⑧ 誤答 54.9
	⑨ 無答 5.0
	ウ
	① 正答 24.4
	② 誤答 1 16.1
	⑧ 誤答 2 54.5
	⑨ 無答 5.1

4 (2) ウの【解答類型】

2倍した場合だけを述べていても正答とする

① 正答

② 誤答 1 : 「…になっている」等比例する条件を述べている

⑧ 誤答 2 : その他

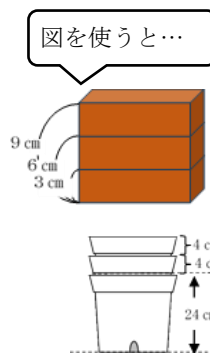
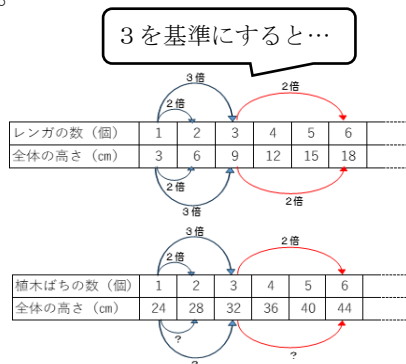
⑨ 無答

【分析と具体的な指導】

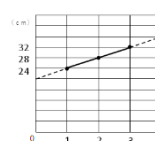
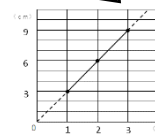
本設問は、伴って変わる二つの数量の関係が比例の関係でないことを読み取り、その根拠を比例の性質を基に説明できるかどうかをみる問題である。反応率を見ると、比例の関係でないことを判断できた児童の割合は39.5%と低く、その原因として、授業において「一方が2倍、3倍、4倍、…になると、それに伴って他方も2倍、3倍、4倍、…になる」といった特徴を見つけ、比例の関係であると判断する活動が十分でなかったことが考えられる。また、「4cmずつ規則的に増えている」ことを「比例の関係にある」と誤って判断してしまった可能性も考えられる。このような誤った理解を防ぎ、比例の関係にあるかどうかを正しく判断できるようにするためには、次のような数学的活動を大切にしたい。

身の回りの伴って変わる二つの数量について、具体的な数値を示しながら比例の関係を見いだす活動

比例の関係にあるかどうかを判断するためには、前提として、比例についてしっかりと理解できている必要がある。そのため、その関係を捉える際には、形式的に「一方が2倍、3倍、4倍、…になると、それに伴って他方も2倍、3倍、4倍、…になる」と説明するだけでは不十分である。表の具体的な数値を示し、その関係を説明できるようにすることが大切である。例えば、下の図のように、矢印で伴って変わる二つの量の関係を可視化し、どのような関係になっているのか説明する活動を設ける。そして、表の中の1以外を基準にしてどのようなことが言えるか確かめさせたり、図等と関連させて変化の様子を捉えさせたりと多様な見方を促すことで、比例の関係についての理解を深めたい。



グラフに表すと…



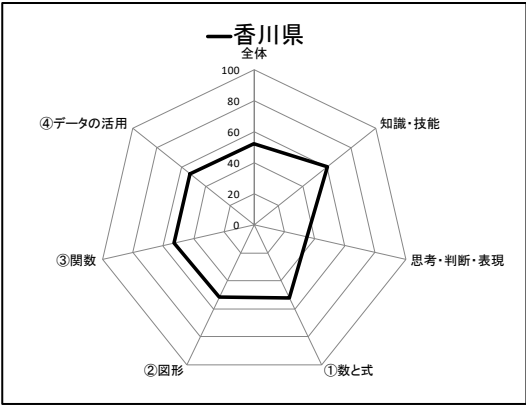
単元の見通し場面において、児童から伴って変わる2量の関係を捉える手段としてグラフが提案された際には、取り扱うことも考えられる。変わり方の様子を視覚的に捉え、比例関係についての理解を深めることができるだろう。

その上で、比例していない場合も含めた様々な場合について比例かどうかを判断する活動が必要である。表や図、児童の実態によってはグラフ等を用いてその関係を表し、比較することで、比例についての理解を深めることができるだろう。

中学校数学

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		52.3
内 容 1	①知識・技能	60.0
	②思考・判断・表現	34.7
内 容 2	①数と式	52.3
	②図形	51.4
	③関数	52.9
	④データの活用	52.7



問題番号			問題の内容		内容1		内容2				正答率 (%)	無解答率 (%)
					①	②	①	②	③	④	香川県	香川県
1	(1)		数量の関係を文字式に表すことができるかをみる。		●		●				65.2	0.4
	(2)		連立二元一次方程式を解くことができるかをみる。		●		●				77.8	8.5
	(3)	①	おうぎ形の中心角と弧の長さの関係を理解しているかをみる。		●			●			67.6	0.5
		②	おうぎ形の弧の長さを求めることができるかをみる。		●			●			29.8	0.9
	(4)	①	一次関数の関係を表す表の特徴をとらえて、xの値に対するyの値を求めることができるかをみる。		●				●		95.8	1.9
		②	一次関数の関係を表す表から変化の割合を求めることができるかをみる。		●				●		42.2	12.8
	(5)	①	範囲の意味を理解しているかをみる。		●					●	62.7	1.1
		②	中央値の意味を理解しているかをみる。		●					●	59.6	0.9
2	(1)		問題場面における考察の対象を、明確に捉えることができるかをみる。		●		●				75.9	6.5
	(2)	①	与えられた説明を基にして、式変形の目的を捉えることができるかをみる。			●	●				50.0	1.9
		②	与えられた説明を基にして、式変形の目的を捉えることができるかをみる。			●	●				44.9	1.9
		③	与えられた説明を基にして、式変形の目的を捉えることができるかをみる。			●	●				29.2	2.7
	(3)		問題解決の過程を振り返って考え、具体的な場面で活用することができるかをみる。			●	●				22.8	39.5
3	(1)		ねじれの位置を理解しているかをみる。		●			●			60.4	1.4
	(2)		立体を底面が一定方向に平行に移動してできたものと捉えて考えることができるかをみる。		●			●			58.2	1.2
	(3)		立体を図形が回転してできたものと捉えて考えることができるかをみる。		●			●			66.4	1.9
	(4)		立体が図形が回転してできたものと捉えて説明できるかをみる。			●		●			25.9	35.3
4	(1)		事象を理想化・単純化してとらえ、言葉で表現された事柄の数学的な意味を考えることができる。		●				●		42.0	1.9
	(2)	①	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかをみる。		●				●		61.9	11.8
		②	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できるかをみる。			●			●		22.6	43.6
5	(1)		最頻値の意味を理解しているかをみる。		●					●	56.8	2.3
	(3)		データをもとに根拠のある主張を述べることができるかをみる。			●				●	47.5	27.7
	(4)		相対度数の意味を理解しているかをみる。		●					●	37.0	33.3

※5(2)は解答選択肢の不備により削除。

数学的な表現を用いて説明することに課題がある。筋道を立てて説明することを求める問題のほとんどで正答率は30%を下回り、無解答率は30%を超えている。具体的には、「数と式」では、問題解決の過程を振り返って、具体的な場面での活用を説明することに、「図形」では、立体が図形が回転したものと捉えて説明することに、「関数」では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに、「データの活用」では、データを比較する上で、相対度数を用いる理由を説明することに課題が見られる。

2 調査結果から授業改善へ

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明できるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

中学校第2学年 4 (2) ②

優太さんは、来年の夏に、富士山に登ろうと計画しており、そのことについて、結衣さんと話をしています。2人の対話文を読んで、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

<中略>

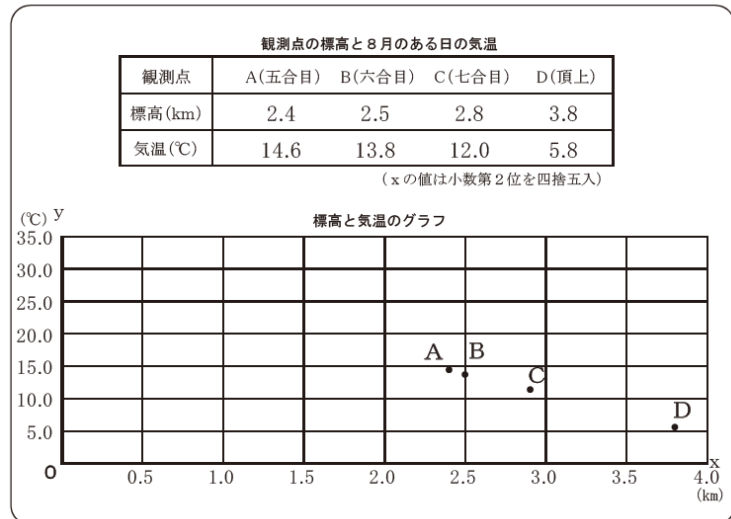
(2) 優太さんは「8月のある日の同じ時刻の富士山の気温」

を下の表のようにまとめ、標高 x km の時の気温を y °C として、グラフにしました。このことについて、あとの①、②の問いに答えなさい。

<中略>

② 優太さんは、「地上から1万mぐらいまでは、高さが高くなるのにもなって、気温が一定の割合で下がる」ことをもとに、上記の表やグラフを用いて、八合目のおよその気温を求めることにしました。このとき、八合目(標高3.3 km)のおよその気温を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に気温を求める必要はありません。

優太さんがまとめた表とグラフ



【分析と具体的な指導】

4 (2) ②は事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明できるかをみる問題であり、正答率は22.6%である。同一の趣旨の問題が出題された令和4年度全国学力・学習状況調査 8 (2) の本県の本県正答率は40.8%であり、課題がある。

・日常生活や社会の事象における問題の解決に数学を活用できるようにする

本単元では、与えられた事象が一次関数であることを示した上で学習が進められることが多い。本設問でも「地上から1万mぐらいまでは、高さが高くなるのにもなって、気温が一定の割合で下がる」と記述されており、一次関数であると捉えて考えることが示されている。

しかし、数学のよさを感じ、数学を活用する力を身に付けるには、具体的な場面において、事象を理想化したり単純化したりして、日常生活や社会の事象における問題を数学の問題として捉え、数学を活用して解決できるような課題を単元末等で設定することが必要である。

・「用いるもの」「用い方」といった視点を明確にして、説明できるようにする

本設問を使って授業を行う際には、標高と気温のグラフにおける各点がグラフでほぼ一直線上に並んでいることを基に、生徒自らが気温は標高の一次関数であるとみなして解決させたい。その際、問題解決の構想を立てて取り組み、解決の後で、問題解決の過程を振り返る活動を取り入れることが大切である。例えば、表、式、グラフ等の「用いるもの」と、それらを問題解決のためにどう用いたかといった「用い方」について振り返って説明する活動を設定する。ただし、実際に行った解決の過程を振り返り、その解決方法について、「用いるもの」や「用い方」のいずれか一方の説明にとどまらず、両方を指摘し、的確に説明できるように指導することが大切である。

そして、グラフを用いて問題を解決する場面を取り上げ、その方法について、4点を概ね通る直線をかいて得られたグラフ(用いるもの)と、x座標が3.3のときのy座標を読むこと(用い方)の両方を明確にし、問題解決の方法を的確に説明する活動を取り入れることが考えられる。

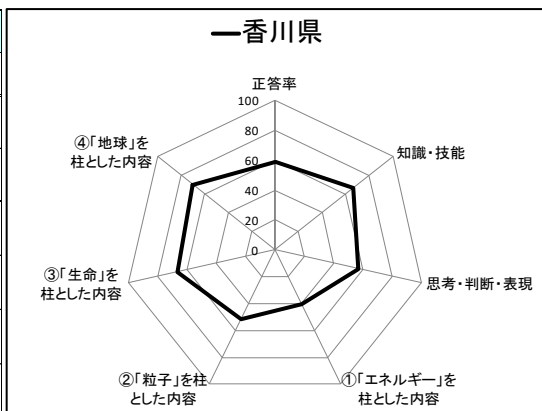
また、問題解決の過程を振り返る場面において、解決の見通しをもつ場面で出された「グラフを使って求める。」や「 $x=3.3$ を代入する。」などに対して、教師が数学的な表現を用いて説明することができるよう求めていくことも必要である。

教科に関する
調査結果及び分析

小学校理科

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		59.0
内 容 1	①知識・技能	66.4
	②思考・判断・表現	56.8
内 容 2	①「エネルギー」を柱とした内容	40.2
	②「粒子」を柱とした内容	51.7
	③「生命」を柱とした内容	66.6
	④「地球」を柱とした内容	69.9



問題番号	問題の内容		内容1		内容2						正答率 (%)	無解答率 (%)
			①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	香川県	香川県
1	(1)	複数の資料を比較、関係付けながら、1日の気温の変化に関わる要因を見出すことができているか		●				●			49.8	0.1
	(2)	実験結果をもとに考察し、結果につながる要因を見出すことができているか		●				●			74.1	0.1
	(3)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているか		●				●			67.4	0.1
	(4)	学習したことがらを、日常の事物・現象と結びつけて捉えられているか		●				●			93.1	0.2
	(5)	複数の結果をもとに考察し、分かったことを見出すことができているか		●				●			65.3	0.2
2	(1)	条件に着目しながら、問題を解決するための実験方法を考えることができていますか		●		●					27.0	0.2
	(2)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているか		●		●					62.3	0.3
	(3)	条件に着目しながら、問題を解決するための実験方法を考えることができていますか		●		●					60.3	0.4
3	(1)	水の温度を変化させたときの体積変化について理解しているか	●			●					71.1	0.1
	(2)	予想や仮説をもとに、実験結果の見通しをもつことができているか		●		●					40.0	0.2
	(3)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているか		●		●					38.3	0.3
	(4)	学習したことがらを、日常の事物・現象と結びつけて捉えられているか		●		●					62.7	0.4
4	(1)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているか		●				●			53.1	0.3
	(2)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているか		●				●			75.9	0.3
	(3)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているか		●				●			71.7	0.4
	(4)	学習したことがらを、日常の事物・現象と結びつけて捉えられているか		●				●			46.2	0.7
5	(1)	実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができているか		●	●						35.9	0.7
	(2)	回路について理解しているか	●		●						41.6	11.0
	(3)	条件に着目して、適切な回路図を見出すことができるか		●	●						43.1	1.1
6	(1)	昆虫のからだの3つ部分について理解しているか	●					●			53.2	1.1
	(2)	昆虫のからだのつくりについて理解しているか	●					●			82.1	1.5
	(3)	昆虫と節足動物のからだの違いについて注目する部分を理解しているか	●					●			83.8	1.5

「知識・技能」については、正答率が 66.4%で、特に、回路のつなぎ方と性質の理解の正答率が 41.6%で課題がある。「思考・判断・表現」については、正答率が 56.8%で、特に、予想や仮説をもとに、条件に着目しながら実験方法を立案したり、結果の見通しをもったりすること、また、結果をもとに考察・整理することに課題がある。

2 調査結果から授業改善へ

実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

小学校第5学年 3(3)

学習指導要領における内容〔第4学年〕

A 物質・エネルギー (2) 金属、水、空気と温度

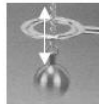
はるみさんは「金属も水と同じように、温度が変わると体積が変わるのだろうか。」について調べています。

【はるみさんの予想】金属はかたいから、温度が変わっても体積は変わらないと思うよ。

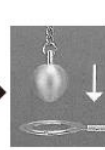
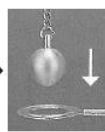
【はるみさんが行った実験】とじっさいの【結果】

【実験】

①金ぞくの球が、輪を通ることをたしかめる。



②金ぞくの球を湯につけて温めたり、ほのおで熱したりして、輪を通るか調べる。



湯 (60～70℃ぐらい)

じっさいの【結果】

球を湯につける	球をほのおで熱する
金ぞくの輪を通る	金ぞくの輪を通らない

問題番号	反応率 (%)
3 (3)	①正答 38.3
	⑧誤答 61.5
	⑨無答 0.3

(3) じっさいの【結果】 からいえることについて、次の (①), (②) にあてはまる言葉の組み合わせとして正しいものを、次の ア～エの中から 1つ 選びましょう。

正答 エ

金ぞくは熱せられると体積が (①)。温度による体積の変化は (②)。

- | | | | | | |
|---|---------|-------|---|---------|-------|
| ア | ① 小さくなる | ② 大きい | イ | ① 小さくなる | ② 小さい |
| ウ | ① 大きくなる | ② 大きい | エ | ① 大きくなる | ② 小さい |

【分析と具体的な指導】

正答率は 38.3% である。本設問は、基本的な事項である「金属は熱せられると体積が大きくなること。温度による体積の変化は小さいこと。」を、実験結果から考察できるかどうかをみる問題である。球をほのおで熱し、球が輪を通らなくなる実験結果のみを取り上げ、空気や水と比べて体積変化を問えば、高い正答率であっただろう。球を湯につけて温める実験を挿入し、お湯で温めた球が輪を通った結果を「体積は大きくなっているが、ほのおで熱した球に比べ温度が低いので、輪を通れなくなるまで大きくなっていない。」と、異なる複数の結果から適切に考察し、整理する力を身に付けられるように導きたい。

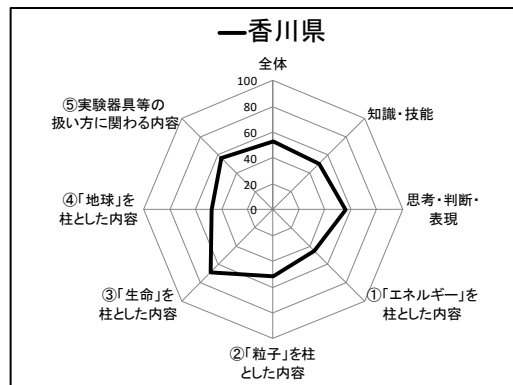
本設問を実際の授業で扱う際には、単元導入時に「大きくなるかな？小さくなるかな？空気・水・金属ではどのようなちがいがあのか？」などと、単元を貫く目的意識をもたせる。そして、量的・関係的な見方である「温度の変化に伴って変わる空気・水・金属の体積量」つまり、「連続して変わる温度と体積の量」に着目するように導き、予想→実験方法の検討→実験→結果・考察という流れで主体的な学びを進めたい。空気と水の実験は、膨張が目に見えるため、連続的に変化が続いていることやその量を容易に捉えられる。その、考察時に「始め、途中、終わり」などといった変化の連続性を表す言葉を学級で共有し説明時に使うようにする。このような学びを経て、変化は連続的に起こるものと捉え、実験の途中を大切にするようにしたい。「きっと、金属も～」と考えた児童は、金属球の目では確認できない体積変化を、熱する途中で何度も輪を通るかどうかで確かめるであろう。また、熱したり冷やしたりして変化の可逆性も発見するだろう。

今後、各学校に求められる取組としては、理科学習全般を通して、共に見出した事実(結果)や資料、既存の知識を拠り所にしながら、根拠をもとに語り合う過程を習慣化していきたい。そして、協働によってより妥当な考えが見出されるよさを感じられるように価値付けていきたい。また、自然を愛する豊かな心情、畏敬の念、科学の有用性について、教師自らが児童と同じ目線で共感する場も大切にしていきたい。

中学校理科

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		52.6
内 容 1	①知識・技能	50.1
	②思考・判断・表現	55.9
内 容 2	①「エネルギー」を柱とした内容	45.0
	②「粒子」を柱とした内容	51.4
	③「生命」を柱とした内容	68.5
	④「地球」を柱とした内容	47.9
	⑤実験器具等の扱い方に関わる内容	56.1



問題番号			問題の内容		内容1		内容2					正答率 (%)	無解答率 (%)
					①	②	①	②	③	④	⑤		
1	1		二酸化炭素を化学式で正しく書けるかをみる。		●				●			77.8	5.3
	2		二酸化炭素の性質を正しく理解しているかをみる。		●				●			44.7	0.3
	3		加熱時間と質量の変化をまとめた表から温度による反応の違いについて正しく考察することができるかをみる。			●		●				69.7	0.4
	4		課題を解決するための実験を条件制御しながら立案できるかをみる。			●		●				30.5	0.8
2	1		銅を加熱した回数と熱した後の物質の質量の関係についてグラフに表すことができるかをみる。		●			●				51.0	3.4
	2		銅を加熱しても質量が増えなくなった理由を説明できるかをみる。		●			●				39.4	16.1
	3		結果を分析解釈して銅と結びつく酸素の質量比を読み取ることができるかをみる。			●		●				65.9	0.6
	4		銅固有の性質を正しく理解しているかをみる。		●			●				32.7	0.6
3	1	①	変えた条件から、実験の目的を推測することができるかをみる。			●	●					74.1	0.5
		②	変えた条件から、実験の目的を推測することができるかをみる。			●	●					75.0	0.7
	2	①	オシロスコープの結果から1回の振動に係る時間を読み取り、振動数を正しく求めることができるかをみる。		●		●					36.6	1.2
		②	弦を短くした時の音の変化とオシロスコープの波形の変化について推測することができるかをみる。			●	●					54.3	0.8
4	1		結果をもとに物体の位置と像の関係を考察することができるかをみる。			●	●					34.7	0.9
	2		物体が焦点距離よりも遠い位置にあるときの実像の見え方を正しく理解できているかをみる。		●		●					52.1	0.7
	3		物体と凸レンズの距離による実像の向きについて説明できるかをみる。			●	●					13.0	1.3
	4		焦点距離より内側に物体がある時にできる像の名称を正しく理解できているかをみる。		●		●					58.0	20.4
	5		凸レンズによる光の進み方の変化と虚像の向きについて正しく作図することができるかをみる。		●		●					6.9	18.6
5	1		ヨウ素溶液の反応を見やすくするために、エタノールで葉を脱色することを理解しているかをみる。		●				●			75.1	1.0
	2	AとB	共通する条件と変えた条件をもとに、結果を通して考察できるかをみる。			●			●			73.2	1.2
		AとC	共通する条件と変えた条件をもとに、結果を通して考察できるかをみる。			●			●			77.2	1.6
	3		葉の細胞の中の葉緑体でデンプンが作られていることを理解しているかをみる。		●				●			72.7	10.9
6	1		横隔膜の動きや空気の入出力など、肺のしくみについて説明できるかをみる。			●			●			76.4	1.2
	2		肺から取り入れた酸素が体を循環するしくみを理解しているかをみる。		●				●			36.5	1.4
	3	①	顕微鏡の正しい使い方を理解しているかをみる。		●						●	56.1	1.4
		②	赤血球は血液中の酸素を運ぶ役割であることを理解しているかをみる。		●				●			68.5	12.9
7	1		マグニチュード(M)について理解しているかをみる。		●					●		35.1	1.7
	2		初期微動継続時間と震源からの距離の関係から、初期微動継続時間を求めることができるかをみる。			●			●			78.0	1.5
	3		地形の変動の一つ「隆起」について理解しているかをみる。		●				●			30.7	26.2
	4		地震のゆれに初期微動と主要動がみられる原因を理解しているかをみる。		●				●			55.9	1.9
8	1		石灰岩を見分ける方法について理解しているかをみる。		●				●			61.0	1.7
	2		地層ができた当時の環境を推測することができる化石の名称を理解しているかをみる。		●				●			61.7	1.6
	3		火山灰からできた堆積岩について理解するとともに、地層の重なりから、火山活動が起こった回数を推測することができるかをみる。			●			●			43.6	1.9
	4		地層の重なりから、地層の傾きを推察することができるかをみる。			●			●			17.4	1.9

『地球』を柱とした内容については正答率が 47.9%で、特に、地層の重なりから、火山活動が起こった回数を推測したり、地層の傾きを推察したりする問題において課題が見られた。『エネルギー』を柱とした内容については、凸レンズによる光の進み方に関する作図や実像の向きについての説明などの問題の正答率が低かった。全体を通して、実験結果や資料、既存の知識を活用し、関連付けながら解釈する力に課題が見られる。

2 調査結果から授業改善へ

地層の重なりから、地層の傾きを推察できるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

学習指導要領における内容〔第1学年〕
〔第2分野〕(2)大地の成り立ちと変化

中学校第2学年 〔8〕(4)

A, B, C, 各地点のボーリング調査による柱状図をもとに話し合っています。

【会話文(抜粋)】

生徒D：海面からの高さをそろえて、比較してみるとよいのではないのでしょうか。

先生：いい考えですね。では、図3を使って考えてみましょう。

生徒E：なるほど。図3のように海面からの高さにそろえると、この地域の地層は(②)に向かって低くなるように傾いていることが分かりました。

図1

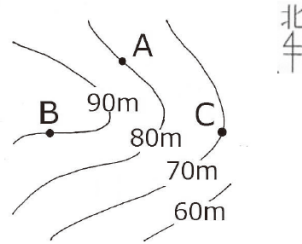


図2

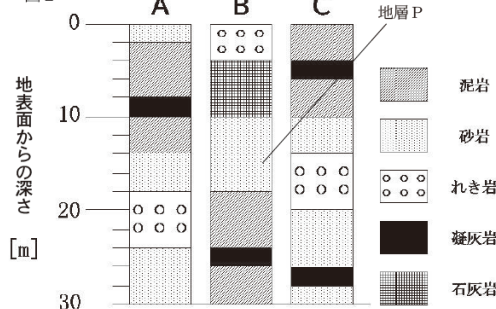
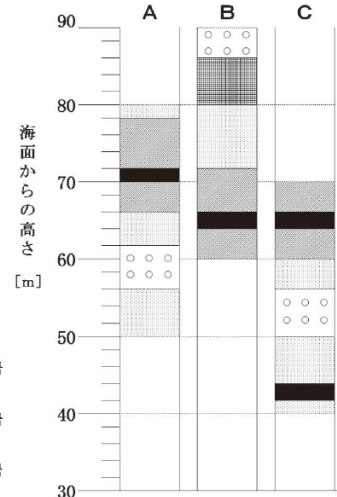


図3 海面からの高さを基準にした各地点の柱状図



(4)【会話文】の(②)にあてはまる言葉として、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

ア 東 イ 西 ウ 南 エ 北

【分析と具体的な指導】

問題番号	反応率(%)	解答類型
8	①正答	17.4
	②誤答1	54.3
	③誤答2	14.8
	④誤答3	11.6
	⑤無答	1.9

①ウ 正答
②ア
③イ
④エ

正答率は17.4%である。解答類型②「ア 東」の反応率が54.3%である。アと解答した生徒は、実際の山の斜面が東に傾いていること、もしくは、図3のAとCを比較し、砂岩とれき岩の層の組がAよりCの方が低い位置にあることから、東方向に傾いていると判断したと考えられる。ここでは、図3のBとCを比較し、B、Cは東西ライン上にあり、かつ、2地点の凝灰岩、泥岩の層が同じ高さにあることから、東西方向には傾いていないと判断できるのである。

本単元は、地球規模のスケールの大きさから、時間的・空間的な見方と全体的・部分的な見方を育てる絶好の単元と捉えたい。小学校6年「土地のつくりと変化(土地の構成物と地層のでき方と広がり)」について写真資料等を示しながら想起しつつ、空間的な見方を支援する地層の模型を活用したい。色つき紙粘土などを使えば、形を変えたり断面を切ったりすることができる。また、透明なストローを使い1点に差し込めばボーリング調査と柱状図の概念がわかり、さらに観測点を増やすことで部分と全体をつなげて考えられる。

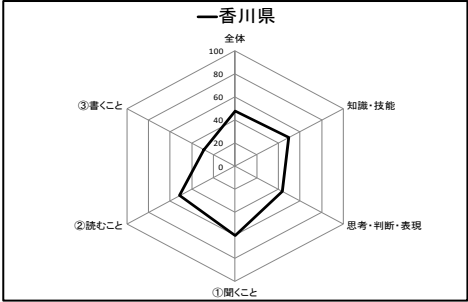
本設問のような3地点の柱状図から全体形状を空間的に推察することは念頭では難しい。具体物の操作を体験し、納得感をもつことが有効な支援となる。そうすることで、同様な問題に出合ったとき操作体験と結びつき平面上でもイメージしやすくなるのである。

今後、各学校に求められる取組として、共に見出した事実(結果)や資料、既存の知識を振り所にしながら、根拠をもとに語り合う過程を習慣化することが必要である。そして、協働によってより妥当な考えが見出されるよさを価値付けていきたい。また、自然を愛する豊かな心情、畏敬の念、科学の有用性について、教師自らが生徒と同じ目線で共感する場も大切にしていきたい。

中学校英語

1 調査結果

項 目		正答率 (%)
全 体		47.8
内 容 1	①知識・技能	49.9
	②思考・判断・表現	43.4
内 容 2	①聞くこと	60.2
	②読むこと	51.0
	③書くこと	28.8



問題番号	問題の内容		内容1			内容2			正答率 (%)	無解答率 (%)
			①	②	③	①	②	③	香川県	香川県
1	(1)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●			●			61.4	0.5
	(2)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●			●			83.0	0.4
	(3)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●			●			49.4	0.9
	(4)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●			●			41.5	1.2
	(5)	英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●			●			78.5	0.5
2	(1)	英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●		●			43.0	0.5
	(2)	英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●		●			69.4	0.4
	(3)	英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●		●			77.1	0.3
	(4)	英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●		●			52.7	0.4
3		まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができるかをみる。		●		●			46.0	0.8
4	(1)	文脈に応じて主に特定の言語材料を使って正しく文の一部を書くことができるかをみる。	●					●	42.5	14.5
	(2)	文脈に応じて主に特定の言語材料を使って正しく文の一部を書くことができるかをみる。	●					●	24.4	15.8
5	(1)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●			●			60.0	0.3
	(2)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●			●			37.9	0.6
	(3)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●			●			48.6	0.5
	(4)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●			●			21.2	0.7
	(5)	文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●			●			59.9	0.9
6	(1)	対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●			●			38.9	1.0
	(2)	対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●			●			65.9	1.2
	(3)	対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●			●			69.6	1.3
7	(1)	場面にに応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●					●	39.2	6.9
	(2)	場面にに応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●					●	40.6	6.6
	(3)	場面にに応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●					●	18.0	7.5
8	(1)	まとまりのある英文を読み、必要な情報を読み取ることができるかをみる。	●			●			42.4	1.4
	(2)	英文の要点を捉え、目的や場面、状況に応じて、自分の考えを相手に正しく伝える文を書くことができるかをみる。		●				●	26.8	35.0
9	(1)	初歩的な英語を用いて、対話の流れに沿った文を書くことができるかをみる。		●				●	22.6	32.0
	(2)	初歩的な英語を用いて、対話の流れに沿った文を書くことができるかをみる。		●				●	23.8	32.6
10		言語の働きを理解し、事実や情報と考えや意図を区別して読むことができるかをみる。	●			●			46.6	1.8
11		まとまりのある英文を読み、文章の概要を捉えることができるかをみる。	●			●			83.7	1.4
12	(1)	文と文との関係を正確に読み取ることができるかをみる。	●			●			45.1	2.2
	(2)	まとまりのある英文を読み、読んだことについて、自分の考えとその理由を書くことができるかをみる。		●				●	21.3	41.7
13	(1)	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかをみる。		●		●			46.5	2.9
	(2)	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかをみる。		●		●			48.0	3.3

「知識・技能」については、英語を聞いて、自分の置かれた状況などから判断し、必要な情報を聞き取ることや、場面にに応じて特定の言語材料を正しく並べかえることに課題が見られる。

「思考・判断・表現」については、まとまりのある英文を読み、自分に必要な情報を読み取ることや、目的や場面、状況に応じて、自分の考えなどを相手に正しく伝える文を書くことに課題が見られる。

2 調査結果から授業改善へ

まとまりのある英文を読み、読んだことについて、自分の考えとその理由を書くことができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

中学校第2学年 12(2)

英語の授業で、ブラウン先生が作成した「週末の思い出」に関する文章がタブレット端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

学習指導要領における内容

〔思考力、判断力、表現力等〕

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項
力 書くこと

I visited Sanuki Museum with my friend last Saturday. There are a lot of old books, *tools, and clothes. We can learn Japanese history there. The museum has interesting events, too. (), people can enjoy playing old Japanese games. We tried playing with *kendama*. It was difficult, but a lot of fun. People can try *wearing old Japanese clothes. My friend and I took pictures with cool *hakama*. We had *tempura udon* at the museum restaurant. I like Japanese food, so I really liked it. We had a great time at the museum. I want to visit many places in Kagawa. Where should I visit?

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えとその理由を英語で簡潔に書きなさい。

問題番号		反応率(%)		【解答類型】
12	(2)	①正答	21.3	①正答 ⑧その他 ⑨無答
		⑧誤答	37.0	
		⑨無答	41.7	

【分析と具体的な指導】

正答率は21.3%である。無解答率は41.7%で、全問題の中で最も高い。まとまりのある英文を読み、読んだことについて自分の考えとその理由を整理して相手に伝わるように文を書くこと、また基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題が見られる。

今後、各学校には、書き手の意図や自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を取り出すことができるように指導することが求められる。例えば、教科書やまとまりのある英文を読む際、段落ごとに主な内容を表す英文と、その具体的な情報を表す英文を区別しながら読み、必要な情報を整理するよう指導することが考えられる。読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を設定することも考えられる。聞く、読む、話す活動を通して、基本的な語彙や表現に親しむ機会を多く与え、書く活動につなげていきたい。

また、「書くこと」に苦手意識を持っている生徒が積極的に書く活動に取り組めるようにするためには、題材やトピックの選定も重要である。ALTからのメールや身近な話題を取り上げた新聞記事など、生徒が意欲的に読むことのできる題材を与え、返事のメールを書いたり、新聞記事の感想を書いたりするなど、目的や場面、状況などを工夫して言語活動を行うことが効果的である。



場面に応じて、特定の言語材料を正しく並べかえることができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

中学校第2学年 7(3)

次の(1)～(3)のような場面では、英語でどのように言いますか。それぞれ()内の語を並べかえて適切な英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示しています。

(1) 相手の提案に対して、賛成ではない気持ちを伝えるとき

I (a, it's, idea, don't, think, good).

(2) 教室に生徒がいなかをたずねたいとき

(any, in, there, students, are) the classroom?

(3) この公園の木々はとても古いことを伝えたいとき

The (in, trees, are, park, this) very old.

学習指導要領における内容

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

エ 文、文構造及び文法事項

問題番号	反応率(%)	【解答類型】
7	①正答	18.0
	②誤答 1	12.9
	⑧誤答 2	61.6
	⑨無答	7.5
		①正答 ②in this park は正しい語順で書いているが、trees の直後に書かれていない。 ⑧その他 ⑨無答

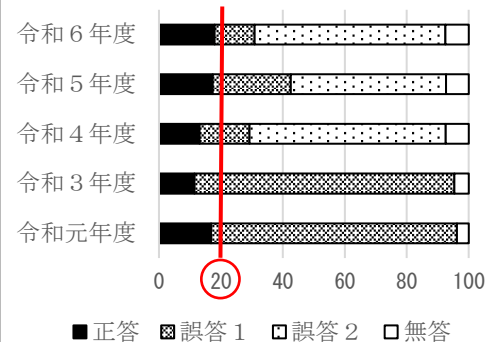
【分析と具体的な指導】

正答率は18.0%で、全問題の中で最も低い。類型問題を令和元年から出題しているが、正答率が20%以下の状態が続いている。解答類型②の反応率は12.9%で、in this park は正しい語順で書いているが、trees の直後に書かれていないことから、[前置詞+名詞]の形は理解できているが、前置詞を用いた「後置修飾」の理解に課題がみられる。

設問文は、[主語+動詞]の最も単純な文構造に補語が加わった文であるが、このような前置詞を用いた「後置修飾」は、この後学習する to 不定詞、現在分詞や過去分詞、関係代名詞等にも用いられる重要な学習内容である。「後置修飾」が「2語以上の英語のかたまりで、直前の名詞を説明する働きをすること」をしっかりと押さえておく必要がある。

今後、各学校に求められる取組としては、読む活動時に、日常的に意味のまとまりを捉えながら読むように指導することが有効である。インプットの機会を十分に確保した上で、文構造を意識したアウトプットの活動を継続的に実施し、定着を図ることが求められる。

R6 7(3) 類型問題の正答率



Ⅲ 質問紙調査結果(児童生徒質問紙・学校質問紙)

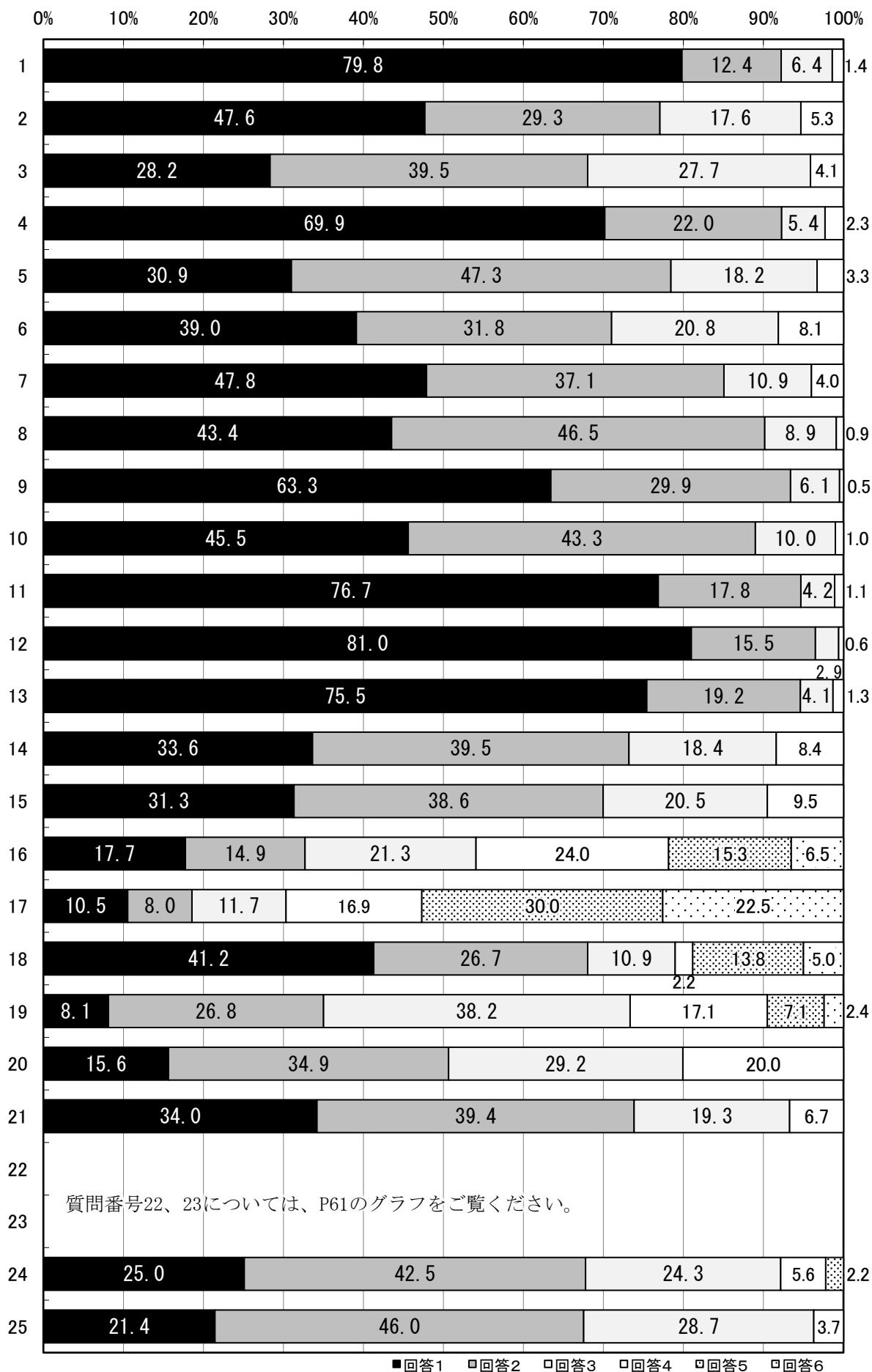
児童生徒質問紙調査結果一覧

小学校調査結果①

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答 1	回答 2	回答 3	回答 4	回答 5	回答 6
1	1	◆	1 生活	朝食を毎日食べていますか。	毎日食べている	食べる日の方が多い	食べない日の方が多い	まったく食べていない		
2				家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
3				家の手伝いをしていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
4			2 自己有用感・規範意識等	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
5				むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばない	していない		
6	9	◆		自分には、よいところがあると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
7	11	◆		将来の夢や目標をもっていますか。	はっきりもっている	はっきりではないがもっている	あまりもっていない	まったくもっていない		
8				学校のきまりを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない		
9				係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	果たしている	どちらかといえば果たしている	あまり果たしていない	果たしていない		
10	12			人が困っているときは、進んで助けていますか。	助けている	どちらかといえば助けている	あまり助けていない	まったく助けていない		
11		◆		人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
12	13	◆		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
13	15			人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
14			3 社会への関心	世の中のニュースなどに対して関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
15		◆		今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
16	5		4 メディアの利用	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
17	6			普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
18	7	◆		携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない	ルールを決めていない	携帯電話やスマートフォンなどを持っていない
19				普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。	10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない
20		◆	5 学習意欲・言語活動	勉強は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い		
21				授業は楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
22				5年生になって、楽しいと思っている授業はどの教科ですか。すべて選んでください。	国語	社会	算数	理科	この中にはない	
23				5年生になって、楽しいと思っている授業はどの教科ですか。すべて選んでください。	音楽	図工	家庭	体育	外国語	この中にはない
24		◆		授業の内容がどの程度分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分かることと分からないことが半分ずつある	分からないことが多い	ほとんど分からない	
25	30			授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができていますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	まったくできていない		

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



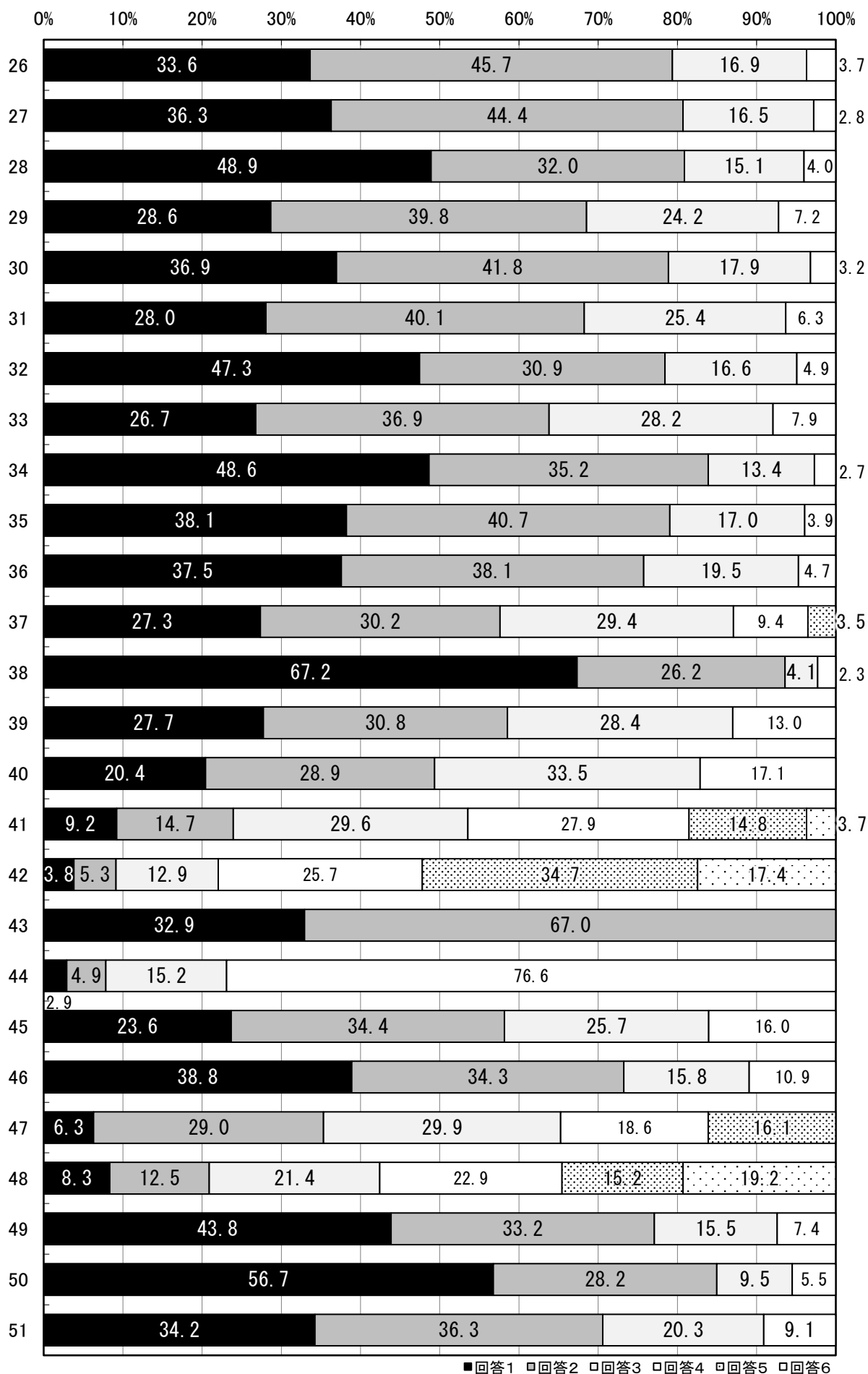
■回答1 □回答2 □回答3 □回答4 □回答5 □回答6

小学校調査結果②

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
26	32		5 学習意欲・言語活動・ICTの活用等	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない		
27	(55)			分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		
28				分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていません	まったくしていません		
29				授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない		
30				授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		
31	34			学習した内容について分かった点やよく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげるための振り返る活動を行っていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
32				普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
33	29			授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていません	まったくしていません		
34				普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
35				普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない		
36	(33)			学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	まったくできていない		
37	27			普段の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
38				学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	役に立つと思う	どちらかといえば、役に立つと思う	どちらかといえば、役に立たないと思う	役に立たないと思う		
39			6 学習習慣	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていません	まったくしていません		
40				テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていません	まったくしていません		
41	21			学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	まったくしていません
42	22			土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったくしていません
43			7 家庭環境	家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話を指します。）	いる	いない				
44				家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強や遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。	よくある	ある	あまりない	ない		
45				悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。	よくしている	している	あまりしていません	していません		
46	◆		8 読書	読書は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い		
47	◆			本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。	だいたい週に4回以上行く	週に1～3回程度行く	月に1～3回程度行く	年に数回程度行く	まったく行かない	
48				学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。（電子書籍をふくみます）	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	まったくしていません
49	16	◆	9 学校生活	学校に行くのは楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
50				学級みんなで協力して何かをやリ遂げ、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
51				学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない		

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



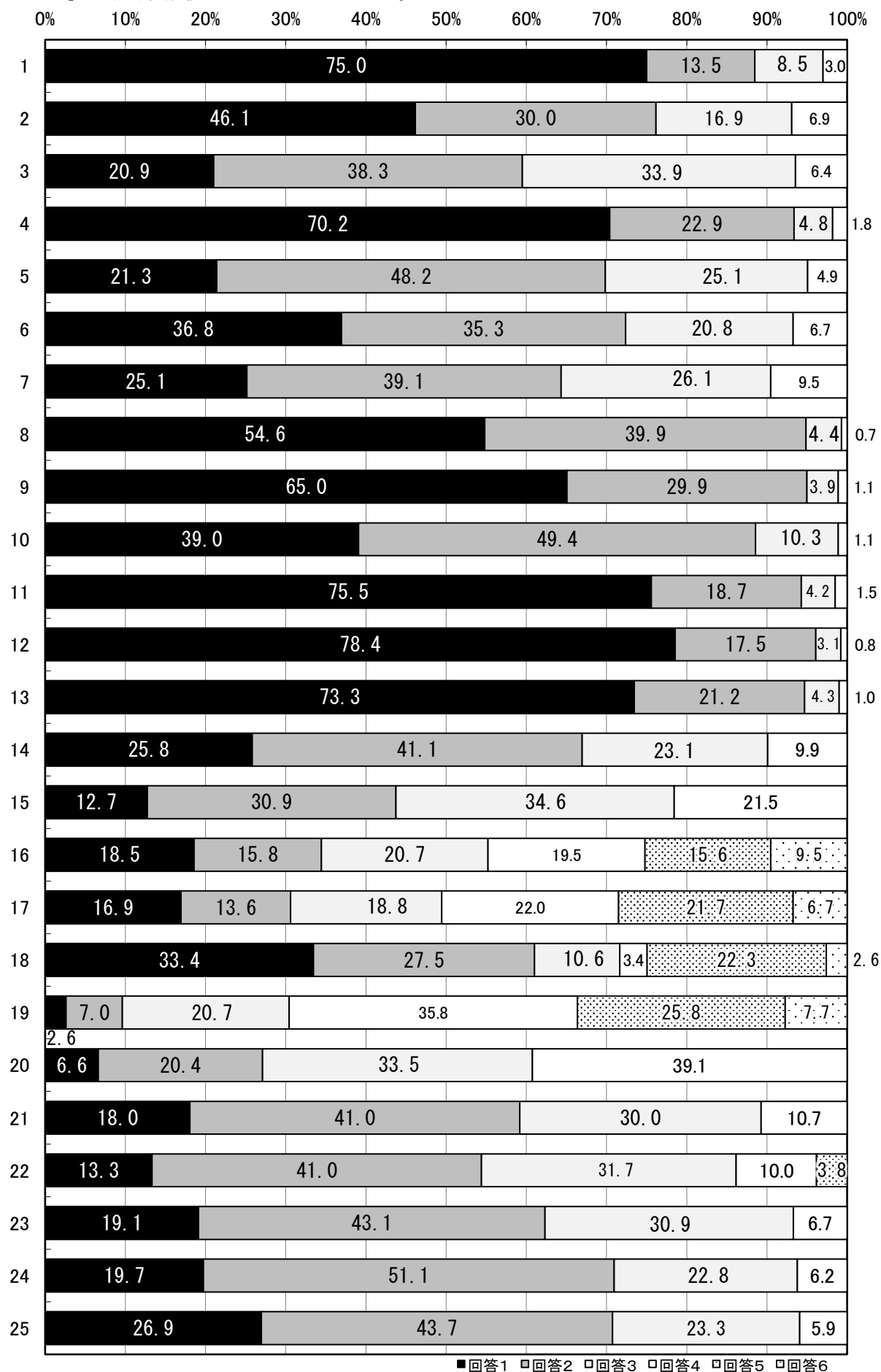
■回答1 □回答2 □回答3 □回答4 □回答5 □回答6

中学校調査結果①

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
1	1	◆	1 生活	朝食を毎日食べていますか。	毎日食べている	食べる日の方が多い	食べない日の方が多い	まったく食べていない		
2				家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
3				家の手伝いをしていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
4			2 自己有用感・規範意識等	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
5				むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない		
6	9	◆		自分には、よいところがあると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
7	11	◆		将来の夢や目標をもっていますか。	はっきりもっている	はっきりではないがもっている	あまりもっていない	まったくもっていない		
8				学校のきまりを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない		
9				係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	果たしている	どちらかといえば果たしている	あまり果たしていない	果たしていない		
10	12			人が困っているときは、進んで助けていますか。	助けている	どちらかといえば助けている	あまり助けていない	まったく助けていない		
11		◆		人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
12	13	◆		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
13	15			人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
14			3 関心社会への	世の中のニュースなどに対して関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
15		◆		今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
16	5		4 メディアの利用	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンもふくむ）をしますか。	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
17	(6)			普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
18	7	◆		携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない	ルールを決めていない	携帯電話やスマートフォンなどを持っていない
19				普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。	10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない
20		◆	5 学習意欲・言語活動等	勉強は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い		
21				授業は楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
22		◆		授業の内容がどの程度分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分かることと分からないことが半分ずつある	分からないことが多い	ほとんど分からない	
23	30			授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができていますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	まったくできていない		
24	32			授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない		
25	(55)			分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。

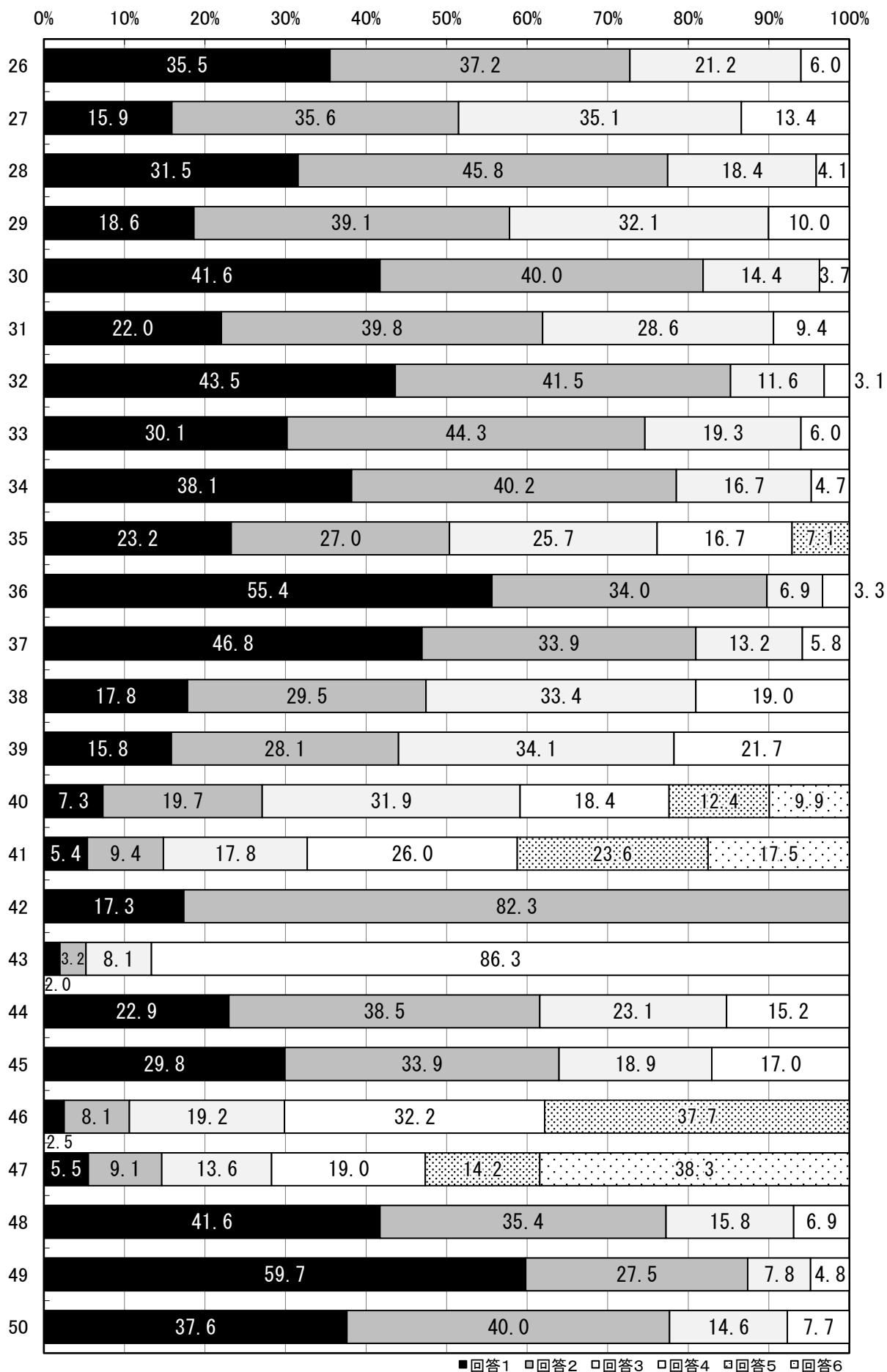


中学校調査結果②

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答 1	回答 2	回答 3	回答 4	回答 5	回答 6
26			5 学習意欲・ 言語活動・ ICTの活用等	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	している	どちらかといえはしている	あまりしていない	まったくしていない		
27				授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえは取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない		
28				授業では、学級やグループの中で、自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえは取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		
29	34			学習した内容について分かった点やよく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげるための振り返る活動を行っていると思いますか。	思う	どちらかといえは思う	あまり思わない	まったく思わない		
30				普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	思う	どちらかといえは思う	あまり思わない	まったく思わない		
31	29			授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	している	どちらかといえはしている	あまりしていない	まったくしていない		
32				普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえは思う	あまり思わない	まったく思わない		
33				普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえは取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない		
34	(33)			学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	できている	どちらかといえはできている	あまりできていない	まったくできていない		
35	27			普段の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
36			6 学習習慣	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	役に立つと思う	どちらかといえは役に立つと思う	どちらかといえは役に立たないと思う	役に立たないと思う		
37				英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか。	当てはまる	どちらかといえは当てはまる	どちらかといえは当てはまらない	当てはまらない		
38				家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している	どちらかといえはしている	あまりしていない	まったくしていない		
39				テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	している	どちらかといえはしている	あまりしていない	まったくしていない		
40	21			学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	まったくしていない
41	22			土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったくしていない
42			7 家庭環境	家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここでお世話とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話を指します。）	いる	いない				
43				家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強や部活、遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。	よくある	ある	あまりない	ない		
44				悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。	よくしている	している	あまりしていない	していない		
45	◆		8 読書	読書は好きですか。	好き	どちらかといえは好き	どちらかといえはきらい	きらい		
46	◆			本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。	だいたい週に4回以上行く	週に1～3回程度行く	月に1～3回程度行く	年に数回程度行く	まったく行かない	
47				学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書を行いますか。（電子書籍をふくみます）	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	まったくしていない
48	16	◆	9 学校生活	学校に行くのは楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえは思う	あまり思わない	まったく思わない		
49				学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえはある	どちらかといえはない	ない		
50				学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	できる	どちらかといえはできる	どちらかといえはできない	できない		

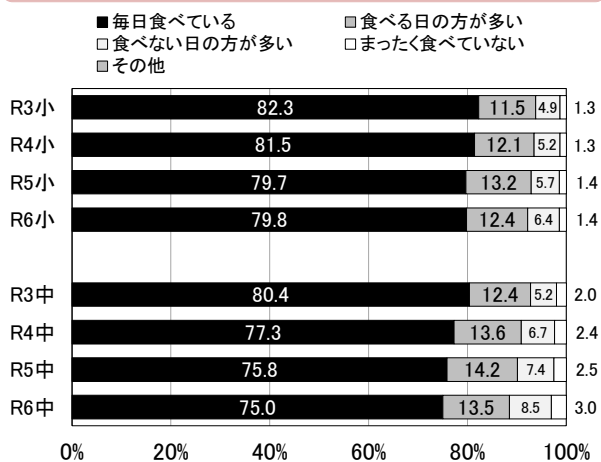
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。

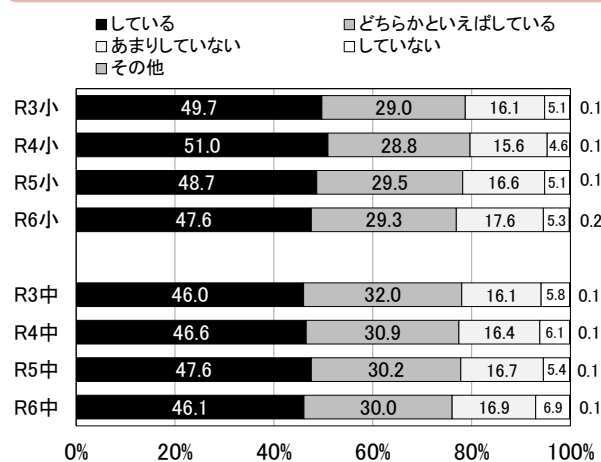


1 生活

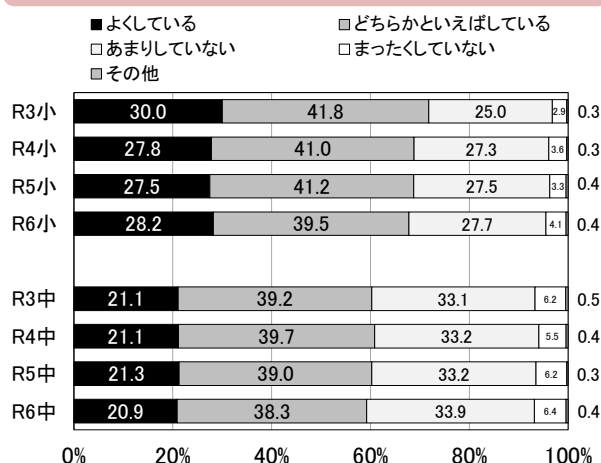
1/1 朝食を毎日食べていますか。



2/2 家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。

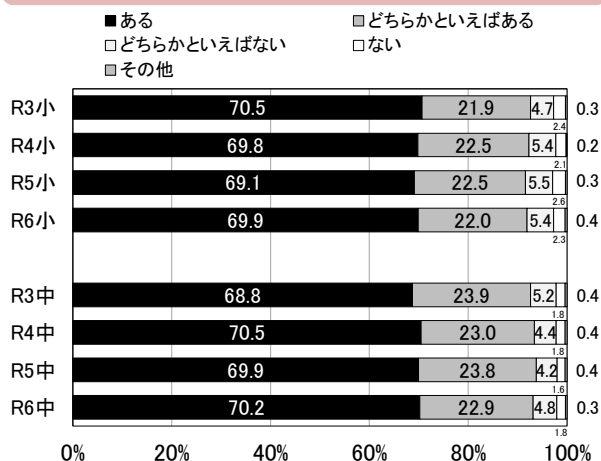


3/3 家の手伝いをしていますか。

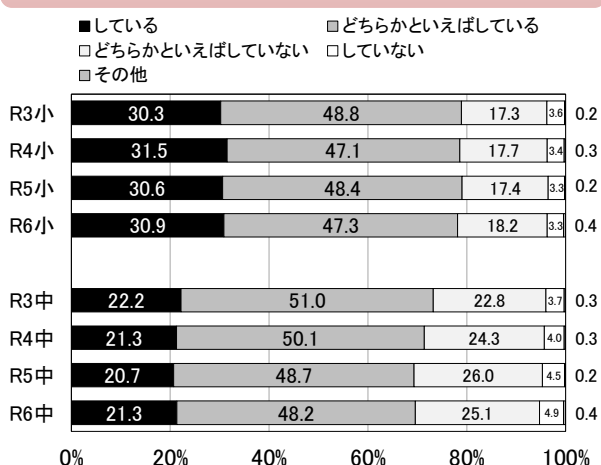


2 自己有用感・規範意識等

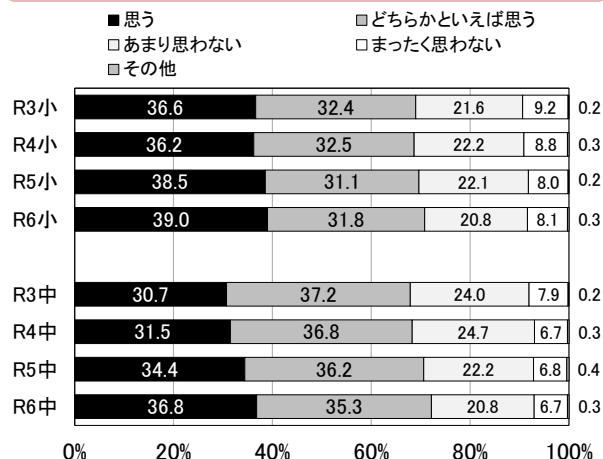
4/4 物ごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。



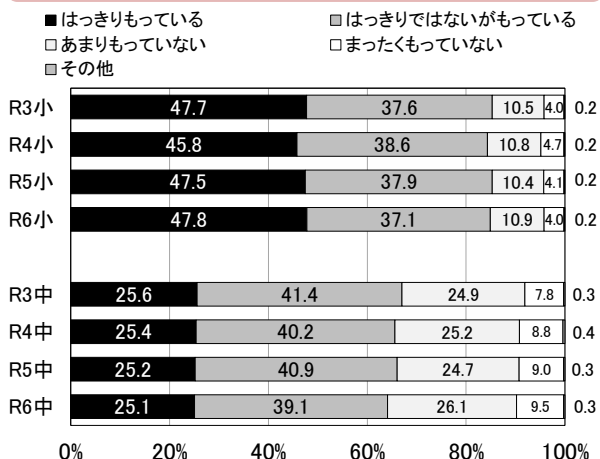
5/5 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。



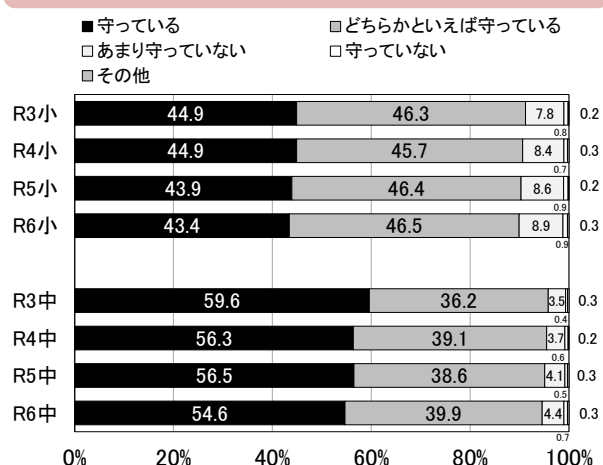
6/6 自分には、よいところがあると思いますか。



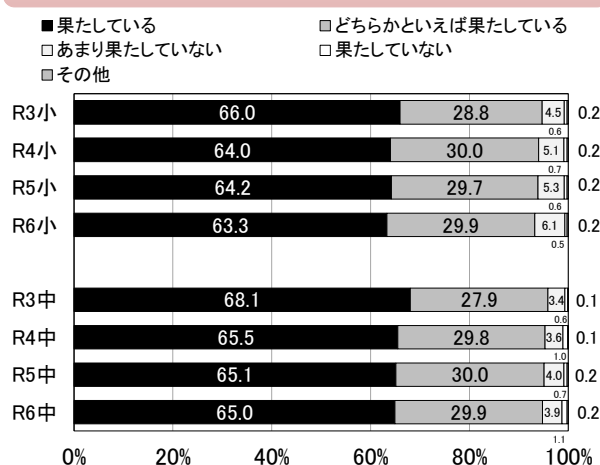
7/7 将来の夢や目標をもっていますか。



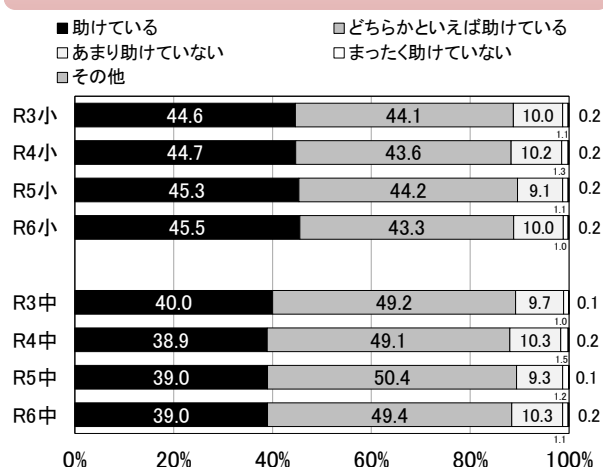
8/8 学校のきまりを守っていますか。



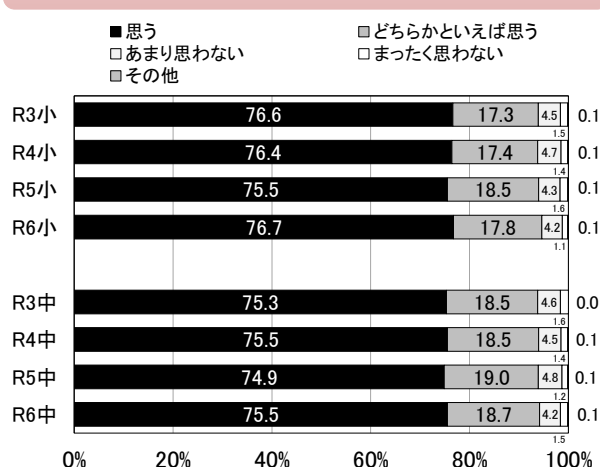
9/9 係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。



10/10 人が困っているときは、進んで助けていますか。

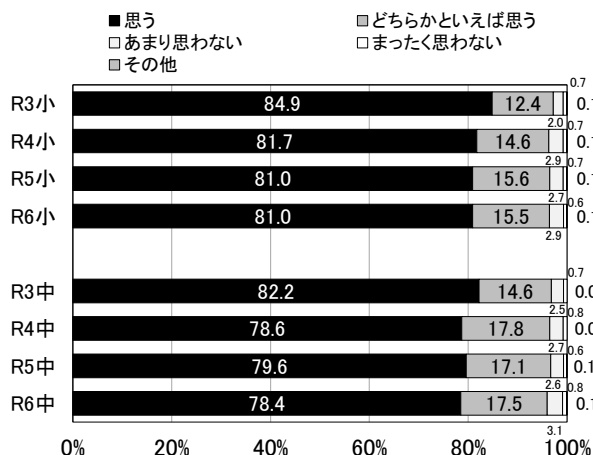


11/11 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

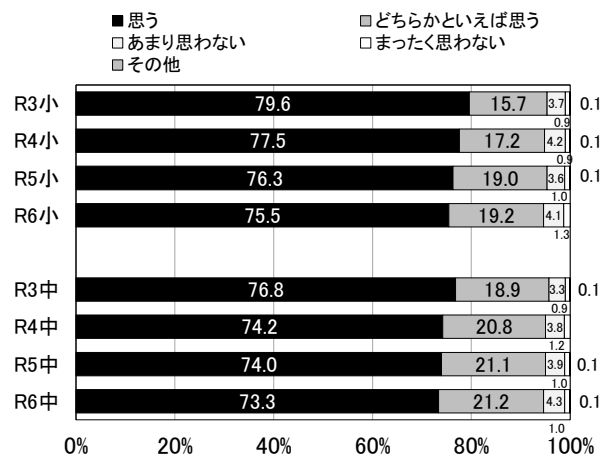


※「0.0」は省略しています。

12/12 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

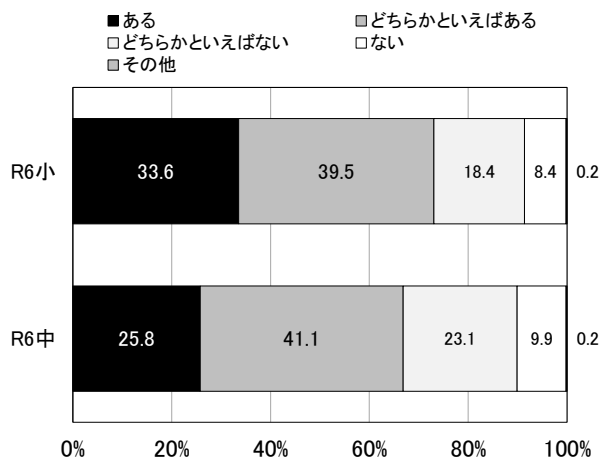


13/13 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

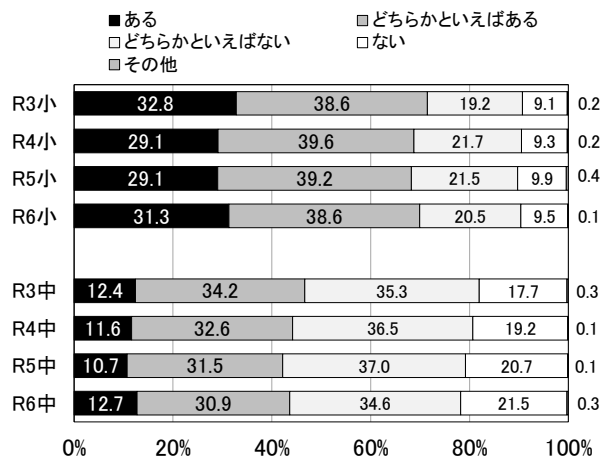


3 社会への関心

14/14 世の中のニュースなどに対して関心がありますか。

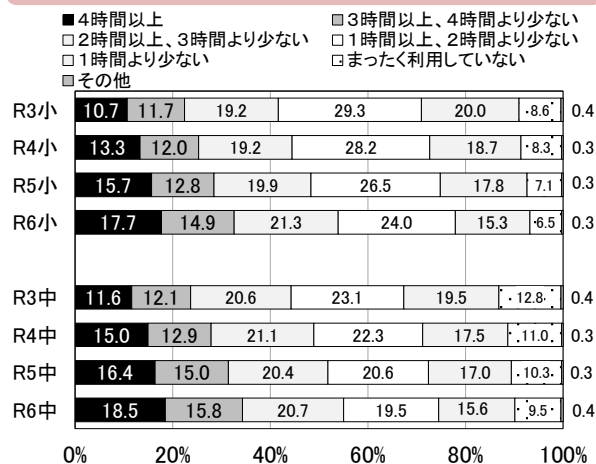


15/15 今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。



4 メディアの利用

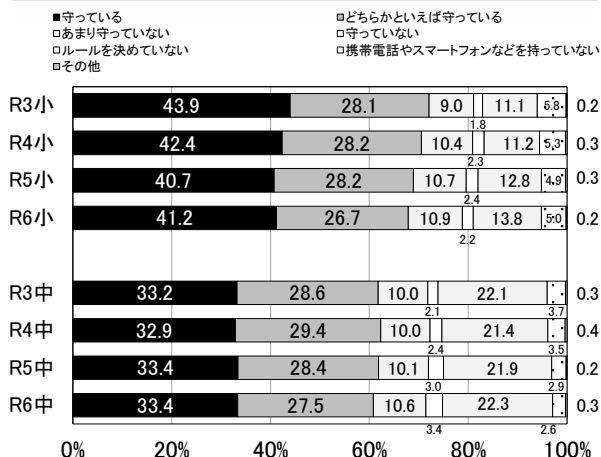
16/16 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームもふくむ）をしますか。



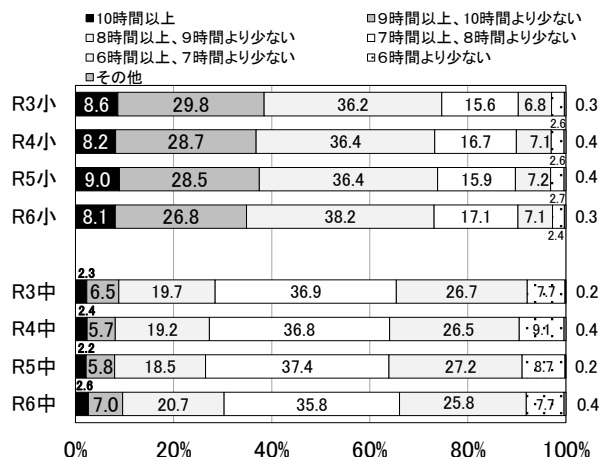
17/17 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）



18/18 携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。

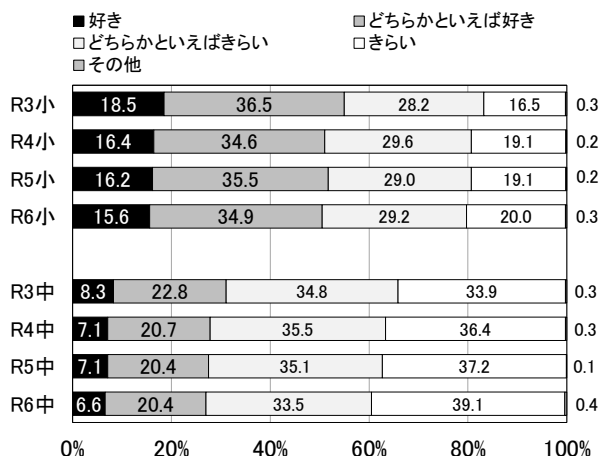


19/19 普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。

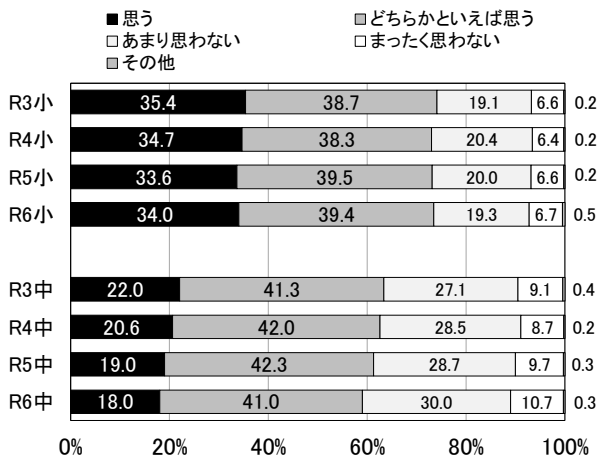


5 学習意欲・言語活動・ICTの活用等

20/20 勉強は好きですか。

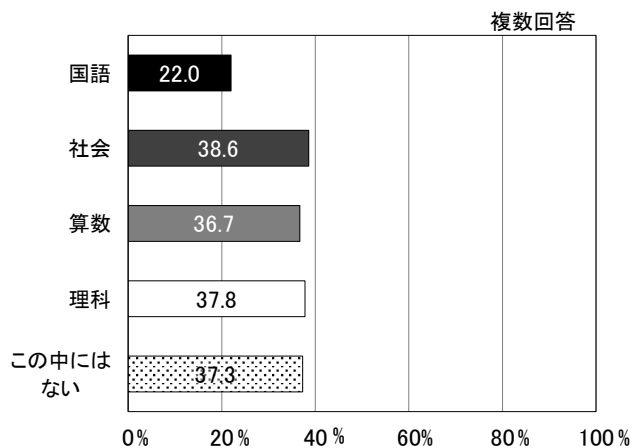


21/21 授業は楽しいと思いますか。



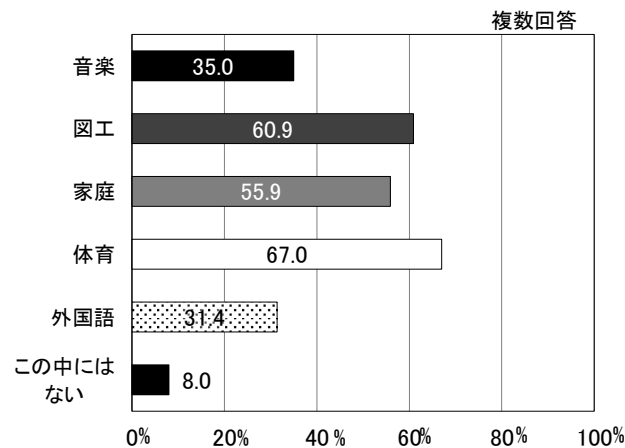
22/※ 5年生になって、楽しいと思っている授業はどの教科ですか。

(国語・社会・算数・理科)



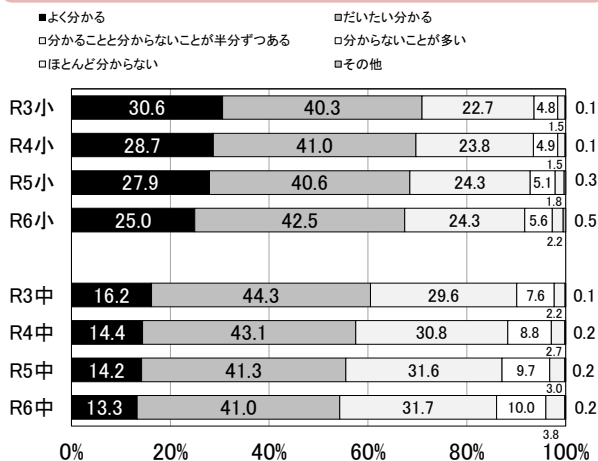
23/※ 5年生になって、楽しいと思っている授業はどの教科ですか。

(音楽・図工・家庭・体育・外国語)

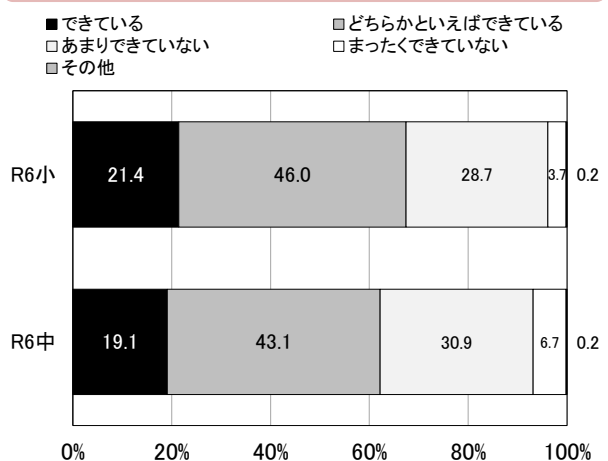


※「0.0」は省略しています。

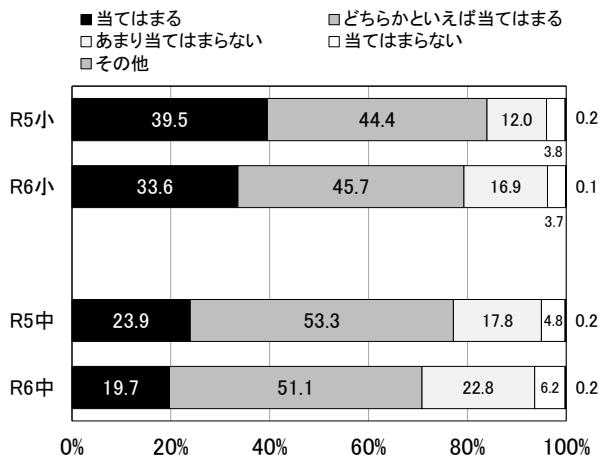
24/22 授業の内容がどの程度分かりますか。



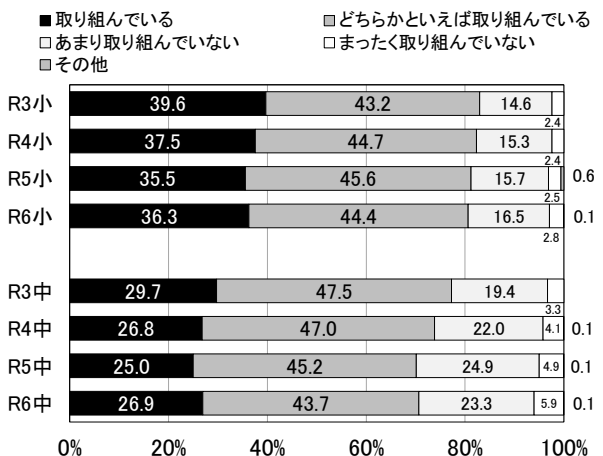
25/23 授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができますか。



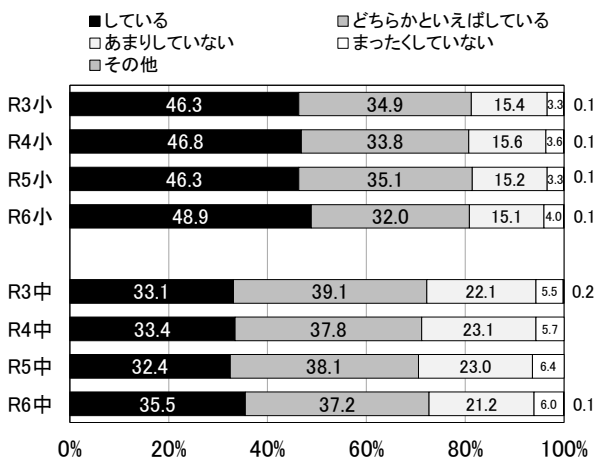
26/24 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。



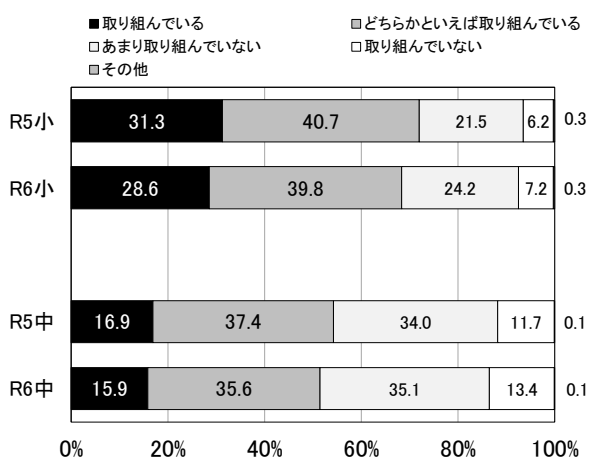
27/25 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。



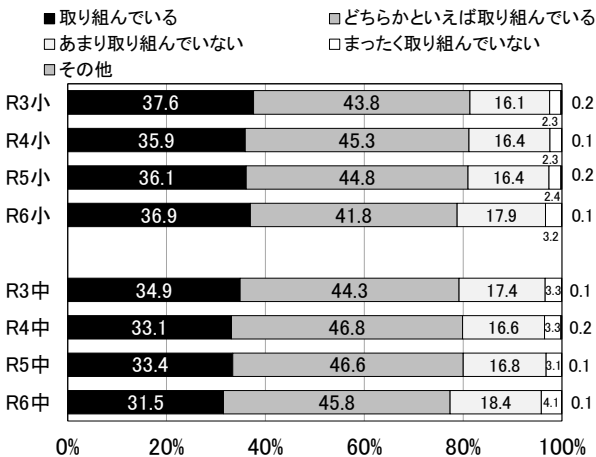
28/26 分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。



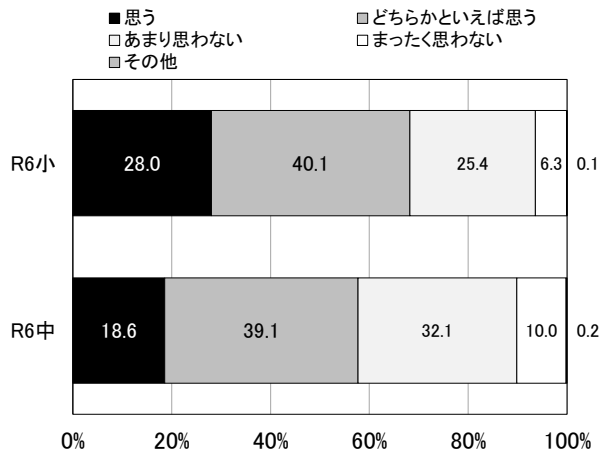
29/27 授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。



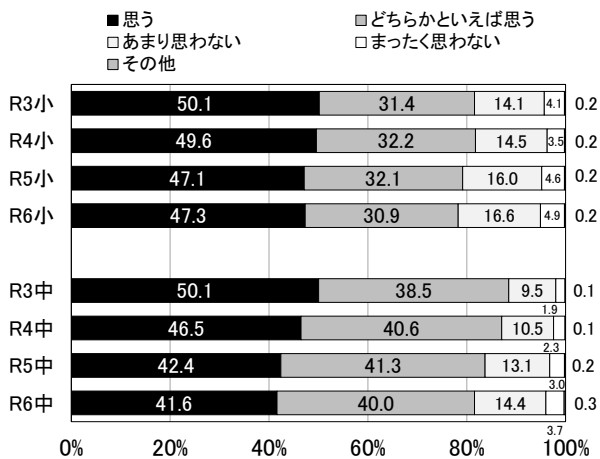
30/28 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。



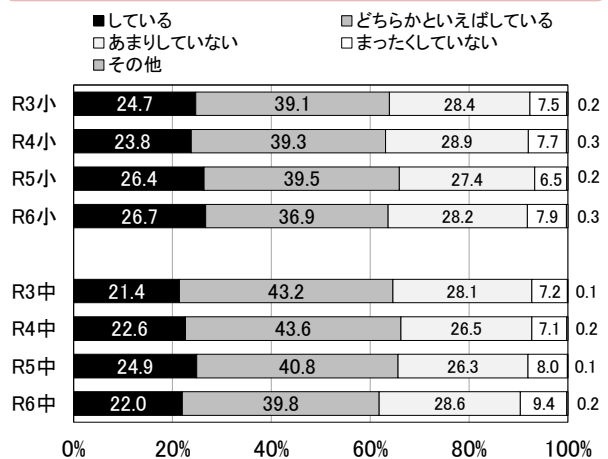
31/29 学習した内容について分かった点やよく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげるための振り返る活動を行っていると思いますか。



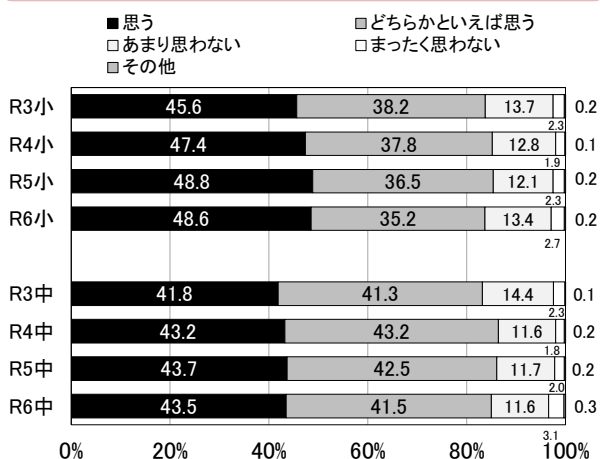
32/30 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。



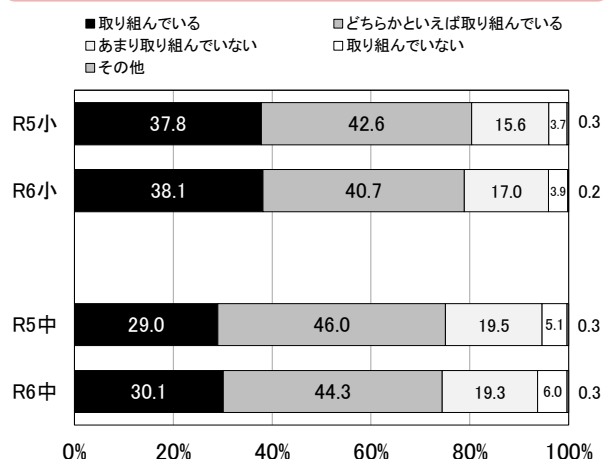
33/31 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。



34/32 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。



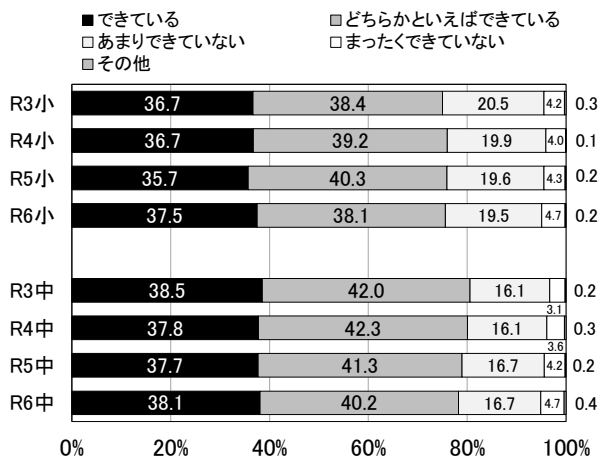
35/33 普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。



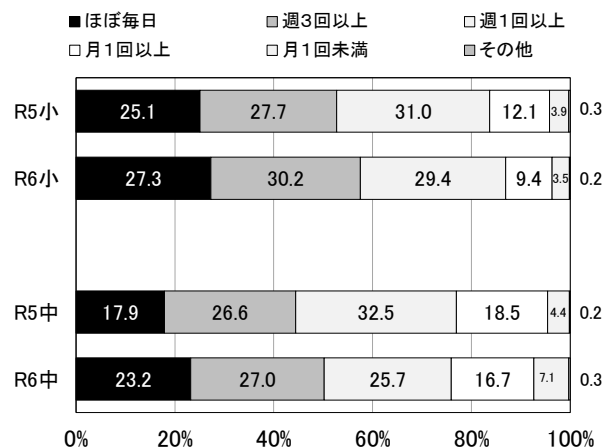
児童生徒質問紙
調査結果・経年比較

※「0.0」は省略しています。

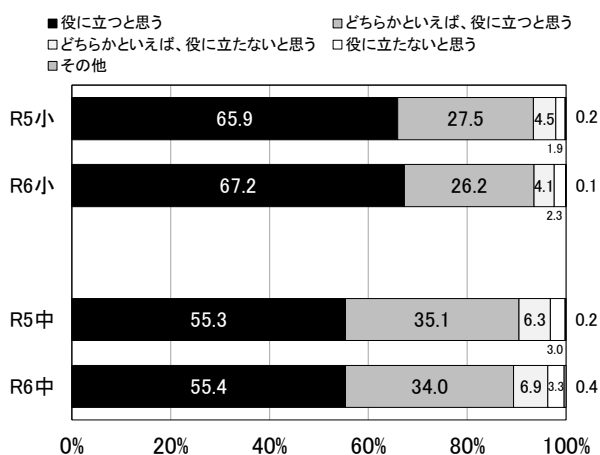
36/34 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。



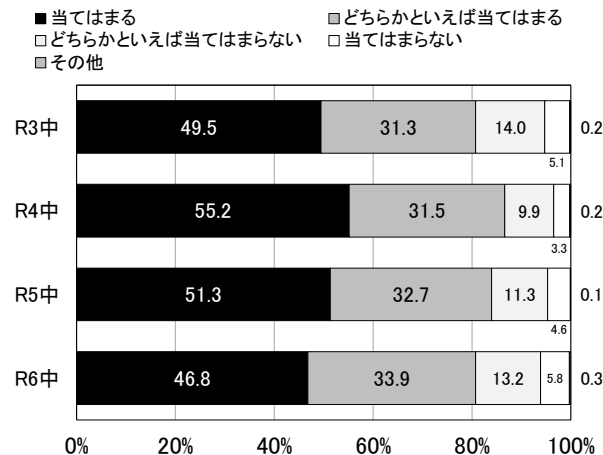
37/35 普段の授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用していますか。



38/36 学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

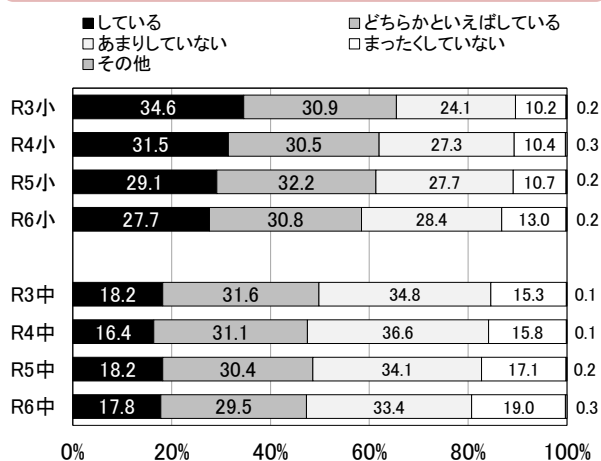


※/37 英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか。

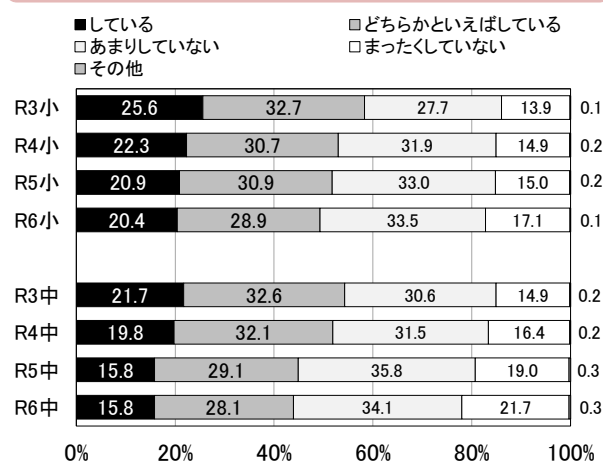


6 学習習慣

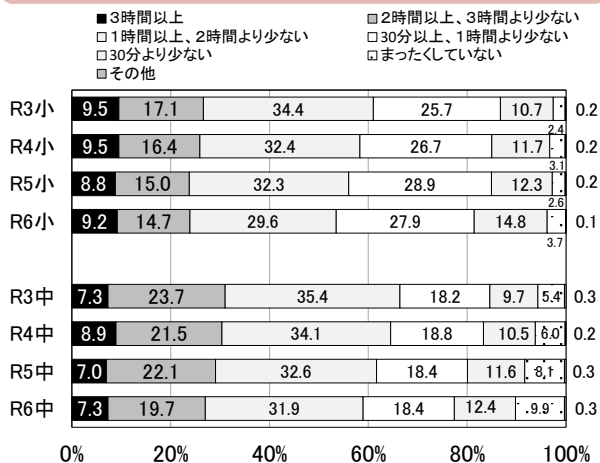
39/38 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



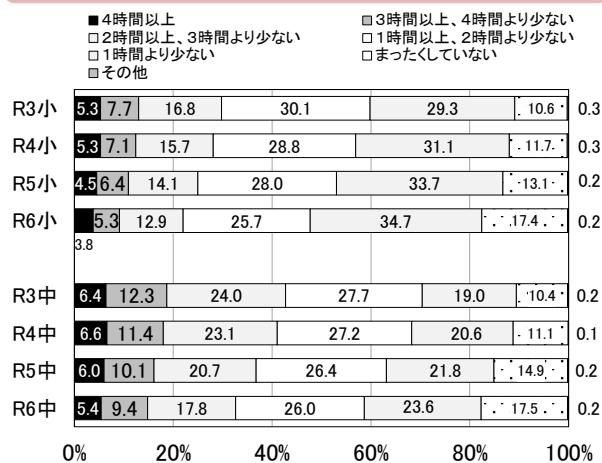
40/39 テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。



41/40 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）

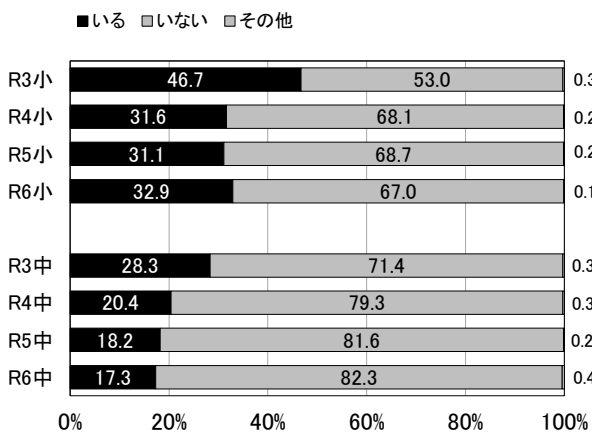


42/41 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）



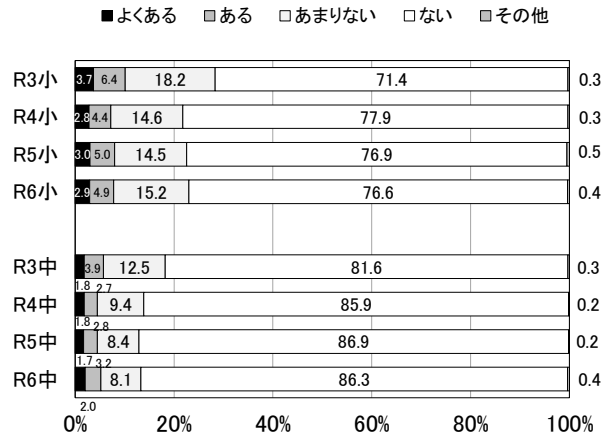
7 家庭環境

43/42 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話を指します。）

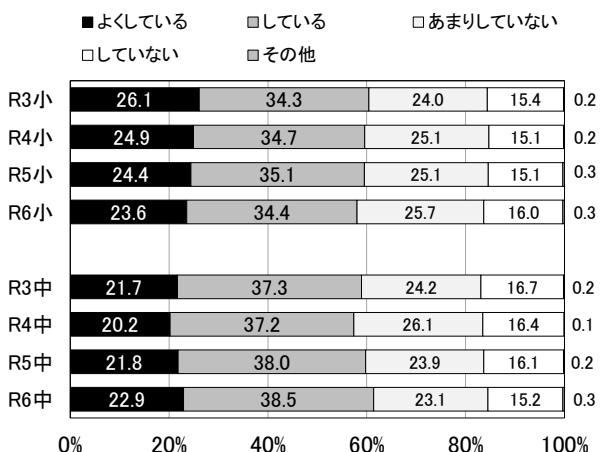


※R4から（ ）内の「お世話」の説明が加わる等質問内容に若干の変更があります。

44/43 家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強や遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。



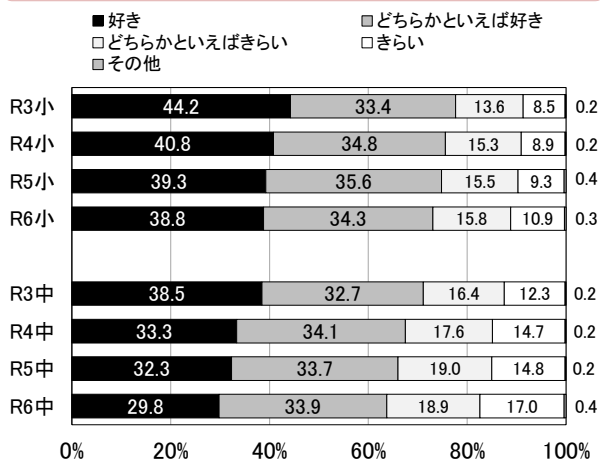
45/44 悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。



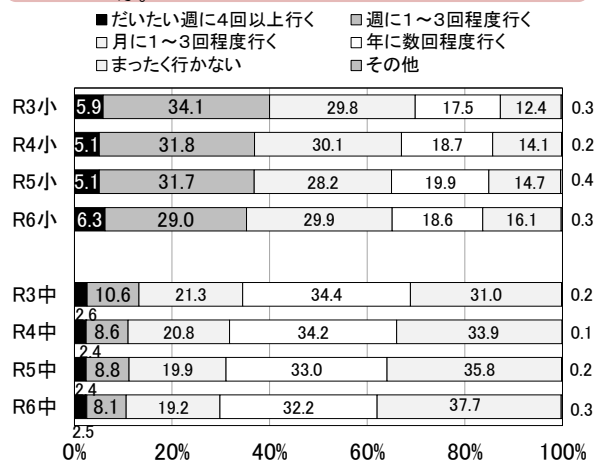
※「0.0」は省略しています。

8 読書

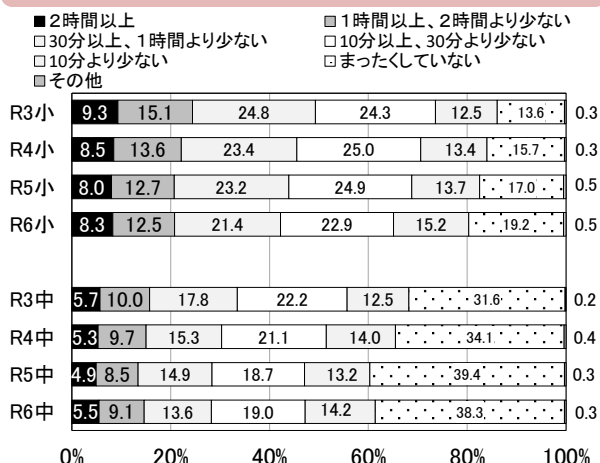
46/45 読書は好きですか。



47/46 本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

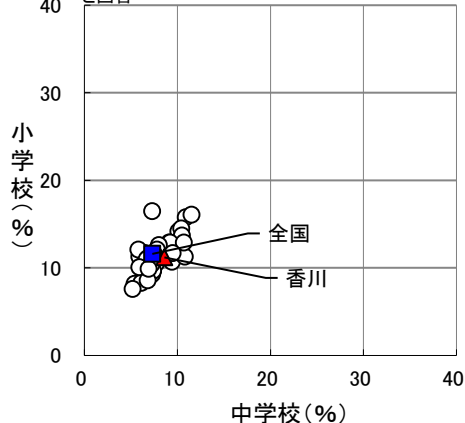


48/47 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書しますか。（電子書籍をふくみます）

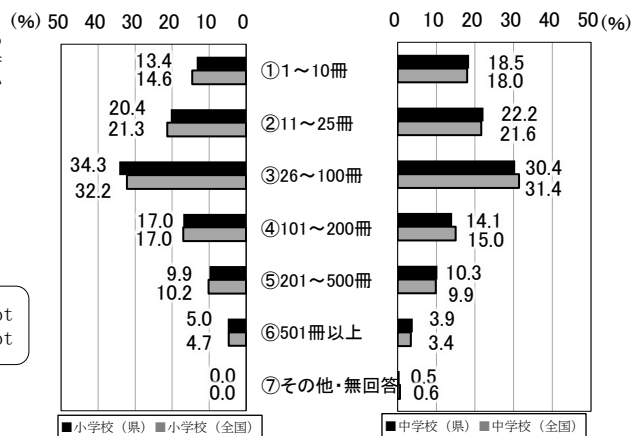


〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（R6）

□ 24/24 新聞を読んでいますか
「ほぼ毎日読んでいる」+「週に1～3回程度読んでいる」と回答

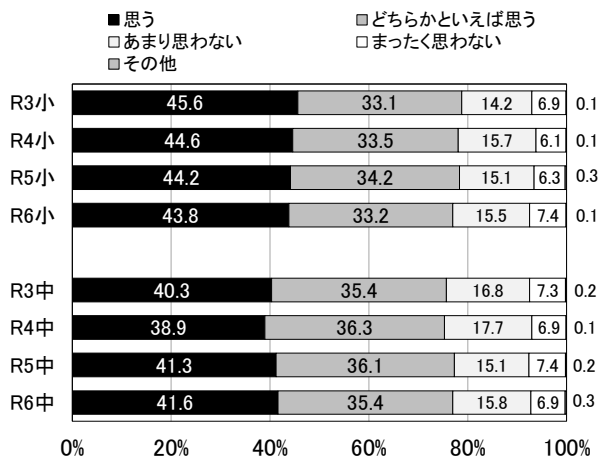


□ 23/23 あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く。）

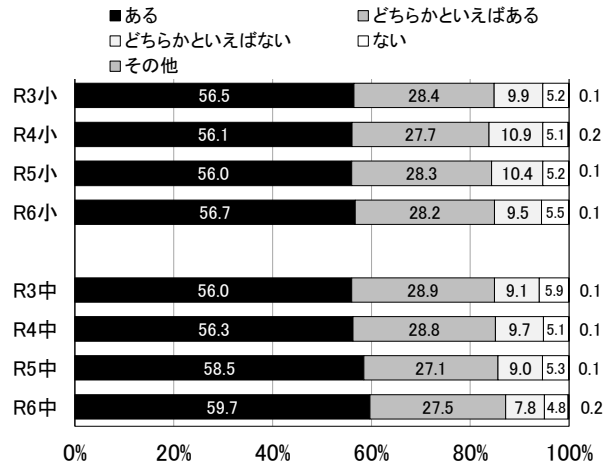


9 学校生活

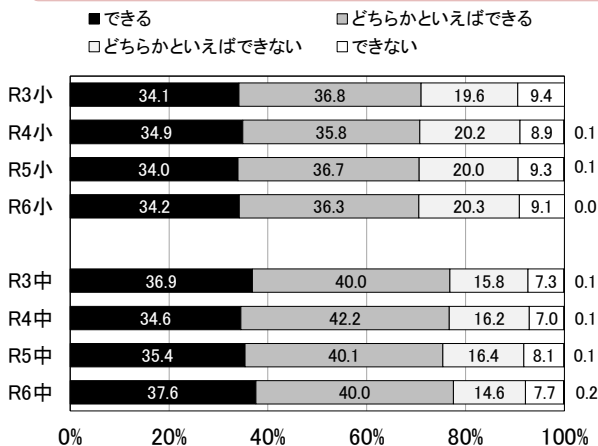
49/48 学校に行くのは楽しいと思いますか。



50/49 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。

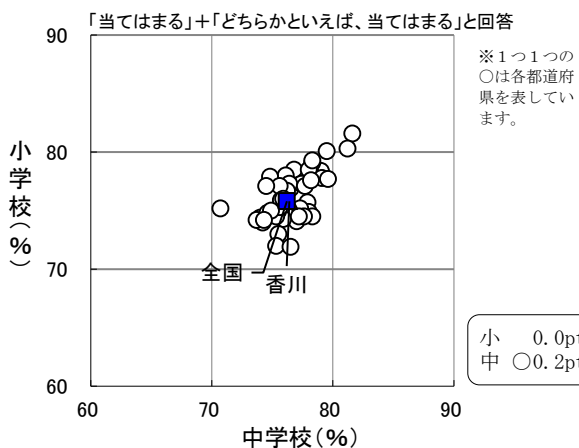


51/50 学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。

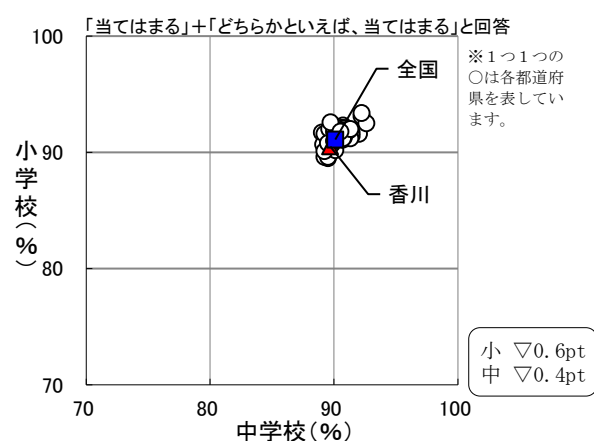


〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（R6）

□ 17/17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



□ 18/18 友達関係に満足していますか



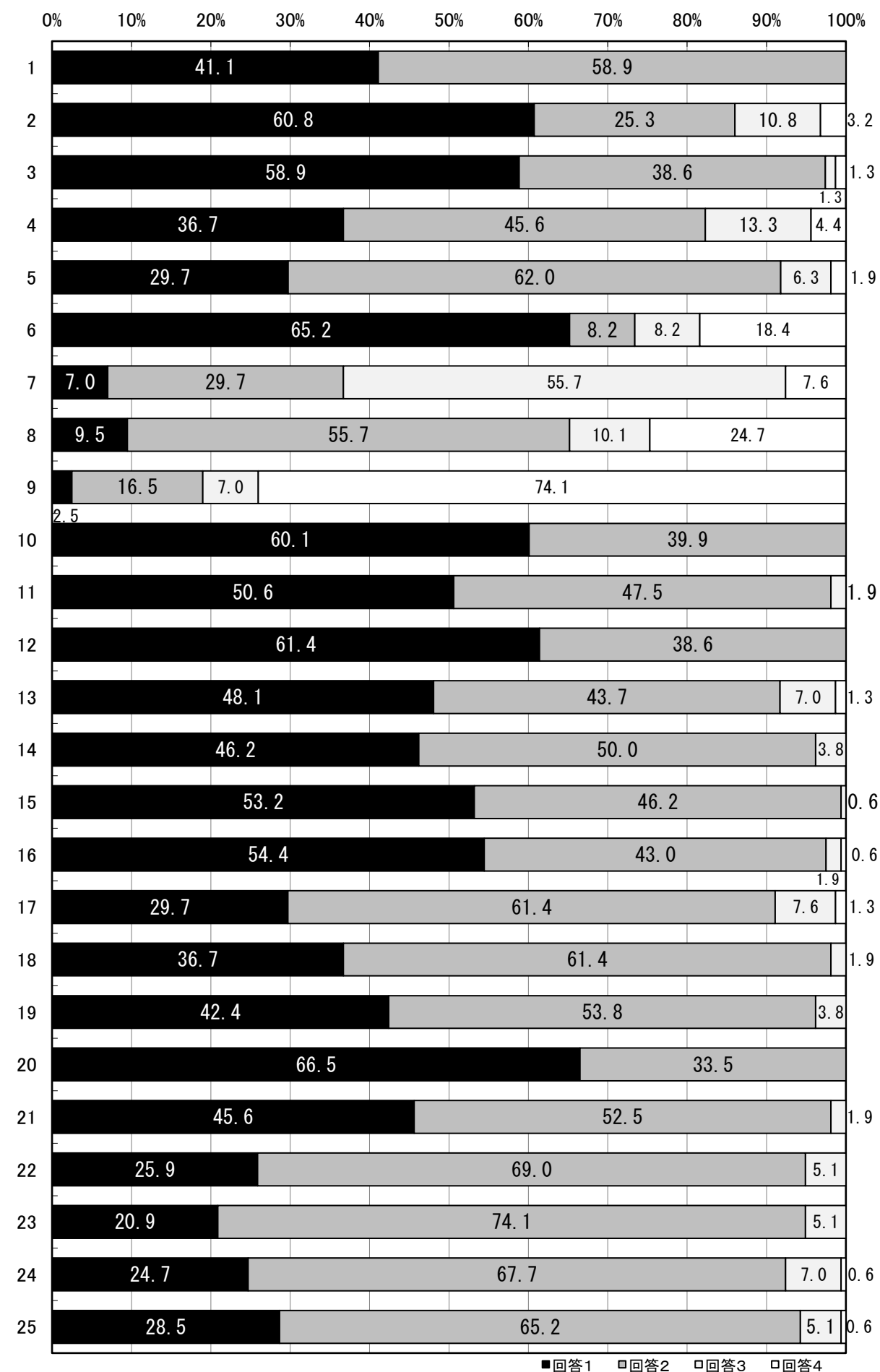
学校質問紙調査結果一覧

小学校調査結果①

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答 1	回答 2	回答 3	回答 4
1			1 家庭・ 地域との 連携	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	はい	いいえ		
2				ホームページ等を更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない、または開設していない
3				P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	よく参加してくれる	参加してくれる	あまり参加してくれない	全く参加してくれない
4	(70)	◆		地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない
5				「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、目指すべき教育の在り方を家庭や地域と共有できるよう取り組んでいますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
6				「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	学活等で指導した	1に加え懇談会で活用した	2に加え事後指導した	配布したが活用していない
7				いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
8				教室に入りにくい児童生徒に対してどのように支援を行っていますか。	別室を用意しているが、支援に当たる教員はいない	教員が交代しながら別室で過ごす児童生徒の支援に当たっている	専属の教員が別室で過ごす児童生徒の支援に当たっている	教室に入れない児童生徒はいない
9				ヤングケアラーと思われる児童生徒について、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。	要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある	要対協に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある	外部の支援につないでいない（学校で対応している）	ヤングケアラーと思われる児童生徒はいなかった
10			2 社会性・ 道徳性の 育成	児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
11				学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
12				学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
13				児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。（特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
14				保護者などに道徳の授業を公開しましたか。（本年度の予定を含む）	全学級で行った	一部の学級で行った	していない	
15			3 基礎的・ 基本的 内容	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
16				算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
17	30			学習指導において、児童（生徒）一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
18	32		4 指導方法等 について	児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
19				単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
20				授業の最初に、児童生徒が自分の目標（めあて・ねらい）をもてるように工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
21				学習した内容について分かった点やよく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげるための振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
22	25			授業で、児童生徒が課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組めるように授業を工夫していますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	全くできていない
23				授業で、児童生徒が課題解決に向けて試行錯誤する場を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
24	33			授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
25				授業で、児童生徒が必要感をもって話し合いができるよう工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。

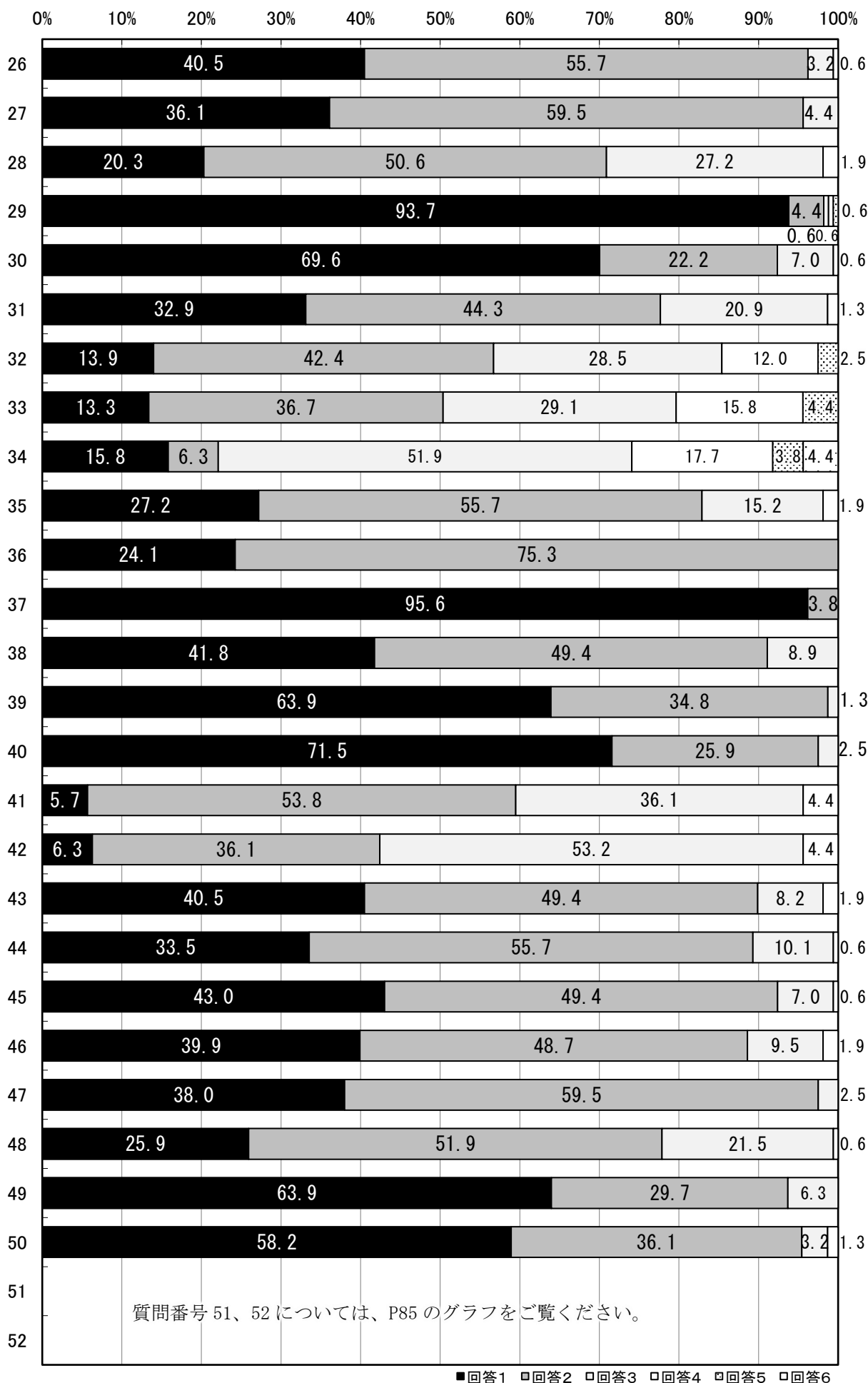


小学校調査結果②

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
26			4 指導 方法 等 に つ い て	普段の授業で、児童生徒の自由な発想や多様な考えを受け入れるなど誰もが参加しやすい学び合いになるように工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
27				普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
28				新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
29	53			普段の授業で、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を、1クラス当たりどの程度行っていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
30	56			児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、6年生（3年生）の授業で、どの程度活用していますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
31	57			6年生の児童（3年生の生徒）が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
32	58			6年生の児童（3年生の生徒）が自分の考えをまとめ、発表・表題する場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
33	59			6年生の児童（3年生の生徒）同士がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
34	64			児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。	毎日持ち帰って、毎日利用させている	毎日持ち帰って、時々利用させている	時々持ち帰って、時々利用させている	持ち帰らせていない	持ち帰らせてはいけな こととして	臨時休業等の非常 時のみ、持ち帰る こととしている
35		◆		「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしきを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
36			5 学 習 家 庭	外国語活動（小5・6年外国語を含む）の授業について、校内研修を実施しましたか。	はい	いいえ				
37				小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組みを行いましたか。（予定を含む）	はい	いいえ				
38	71			家庭学習の取組みとして、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
39	(20)			学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組みに当たっていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
40	16			模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
41				現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本（改訂版）」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
42				現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
43				前年度、県の学習状況調査の結果を分析し、具体的な授業や評価の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	よくした	どちらかといえばした	あまりしなかった	全くしなかった		
44				ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
45	54		6 学 校 経 営 他	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか。	ある	どちらかといえば、ある	どちらかといえば、ない	ない		
46	55			コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない		
47	(11)			ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）に取り組んでいますか。	よく取り組んでいる	どちらかといえば、取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない		
48				校務の改善や効率化等により、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	早くなっている	どちらかといえば早くなっている	あまり早くなっていない	早くなっていない		
49				教職員は、毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。	把握できている	どちらかといえば把握できている	あまり把握できていない	把握できていない		
50				幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の視点から、連携した取組みを行っていますか。（予定を含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
51				第5学年において、今年度専科教員による指導を行っている教科は何ですか。（すべて選んでください）	国語	社会	算数	理科	この中にはない	
52				第5学年において、今年度専科教員による指導を行っている教科は何ですか。（すべて選んでください）	音楽	図工	家庭	体育	外国語	この中にはない

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



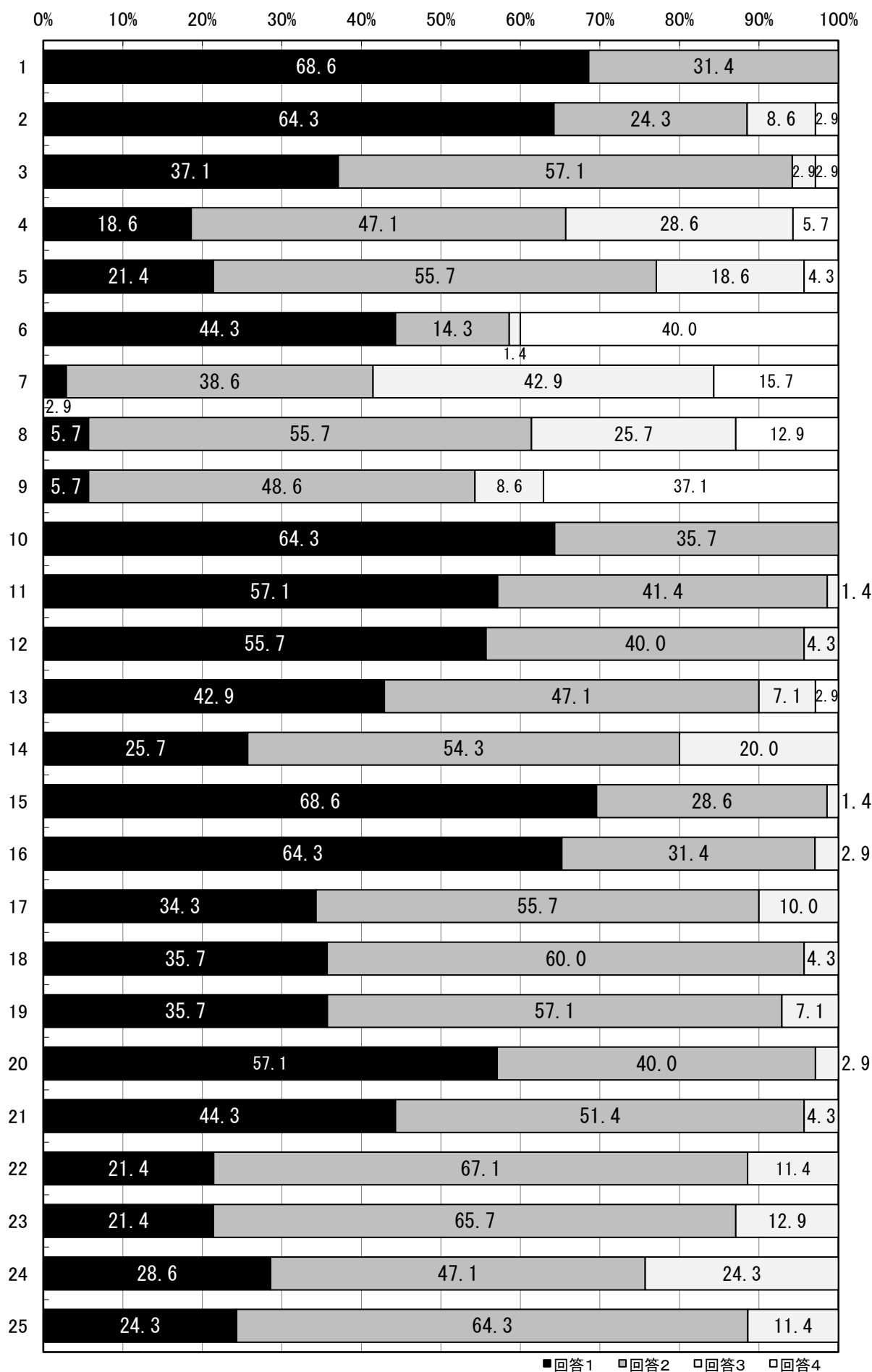
■回答1 □回答2 □回答3 □回答4 □回答5 □回答6

中学校調査結果①

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答 1	回答 2	回答 3	回答 4
1			1 家庭・ 地域との 連携	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	はい	いいえ		
2				ホームページ等を更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない、または開設していない
3				P T A や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	よく参加してくれる	参加してくれる	あまり参加してくれない	全く参加してくれない
4	(74)	◆		地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない
5				「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、目指すべき教育の在り方を家庭や地域と共有できるよう取り組んでいますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
6				「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	学活等で指導した	1 に加え懇談会で活用した	2 に加え事後指導した	配布したが活用していない
7				いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
8				教室に入りにくい児童生徒に対してどのように支援を行っていますか。	別室を用意しているが、支援に当たる教員はいない	教員が交代しながら別室で過ごす児童生徒の支援に当たっている	専属の教員が別室で過ごす児童生徒の支援に当たっている	教室に入れない児童生徒はいない
9				ヤングケアラーと思われる児童生徒について、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。	要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある	要対応に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある	外部の支援につないでいない（学校で対応している）	ヤングケアラーと思われる児童生徒はいなかった
10			2 社会性・ 道徳性の 育成	児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
11				学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取り組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
12				学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
13				児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。（特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
14				保護者などに道徳の授業を公開しましたか。（本年度の予定を含む）	全学級で行った	一部の学級で行った	していない	
15			3 基礎 的・基 本的 内 容	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
16				算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
17	30			学習指導において、児童（生徒）一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
18	32		4 指導 方法等 について	児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
19				単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
20				授業の最初に、児童生徒が自分の目標（めあて・ねらい）をもてるように工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
21				学習した内容について分かった点やよく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげるための振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
22	(25)			授業で、児童生徒が課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組み始めるように授業を工夫していますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	全くできていない
23				授業で、児童生徒が課題解決に向けて試行錯誤する場を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
24	33			授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
25				授業で、児童生徒が必要感をもって話し合いができるよう工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



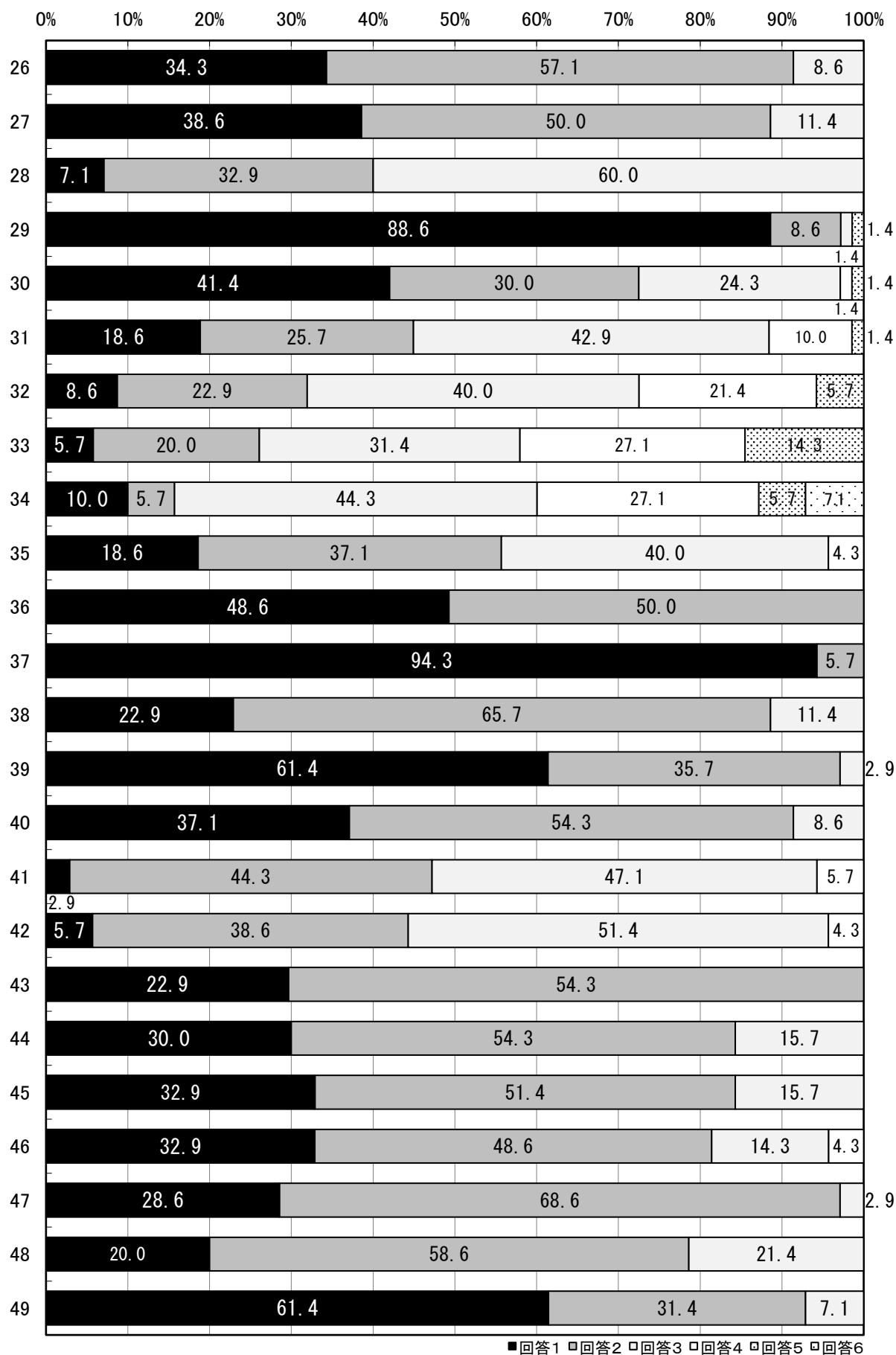
■回答1 □回答2 □回答3 □回答4

中学校調査結果②

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
26			4 指導方法等について	普段の授業で、児童生徒の自由な発想や多様な考えを受け入れるなど誰もが参加しやすい学び合いになるように工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
27				普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
28				新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
29	57			普段の授業で、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を、1クラス当たりどの程度行っていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
30	60			児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、6年生（3年生）の授業で、どの程度活用していますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
31	61			6年生の児童（3年生の生徒）が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
32	62			6年生の児童（3年生の生徒）が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
33	63			6年生の児童（3年生の生徒）同士がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
34	68			児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。	毎日持ち帰って、毎日利用させている	毎日持ち帰って、時々利用させている	時々持ち帰って、時々利用させている	持ち帰らせていない	持ち帰らせてはいけないうこととしている	臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
35		◆		「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
36			6 学校経営他	小学校外国語活動（小5・6年外国語を含む）の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。	はい	いいえ				
37				小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくするための取組みを行いましたか。（予定を含む）	はい	いいえ				
38	75			5 学習家庭 家庭学習の取組みとして、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
39	(20)			学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組みに当たっていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
40	16			模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
41				現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本（改訂版）」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
42				現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
43				前年度、県の学習状況調査の結果を分析し、具体的な授業や評価の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	よくした	どちらかといえばした				
44				ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
45	58			教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか。	ある	どちらかといえば、ある	どちらかといえば、ない	ない		
46	59			コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない		
47	(11)			ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）に取り組んでいますか。	よく取り組んでいる	どちらかといえば、取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない		
48				校務の改善や効率化等により、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	早くなっている	どちらかといえば早くなっている	あまり早くなっていない	早くなっていない		
49				教職員は、毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。	把握できている	どちらかといえば把握できている	あまり把握できていない	把握できていない		

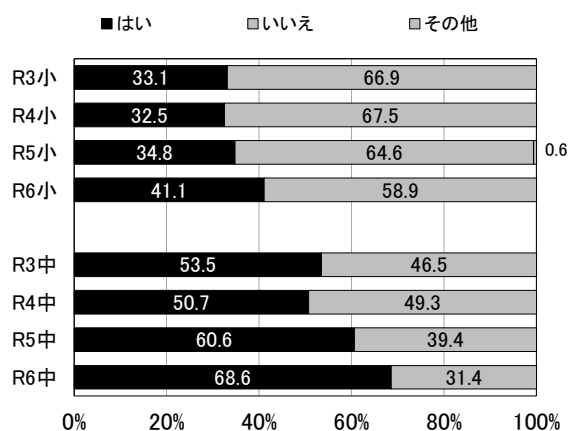
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。

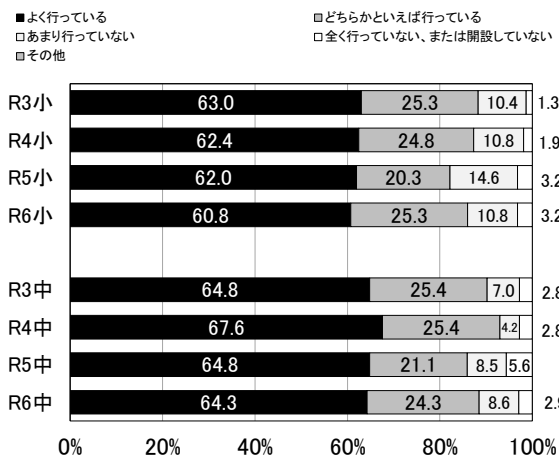


1 家庭・地域との連携

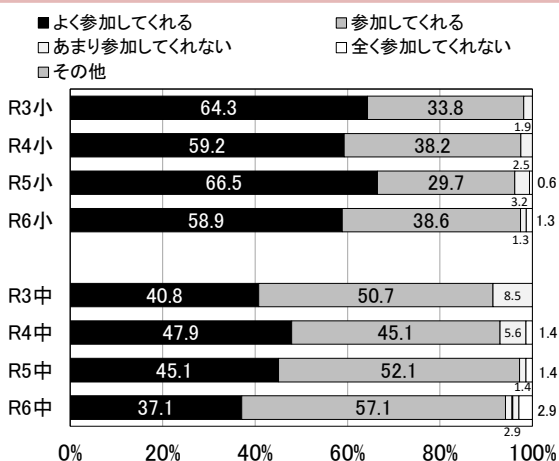
1 地域の人々が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。



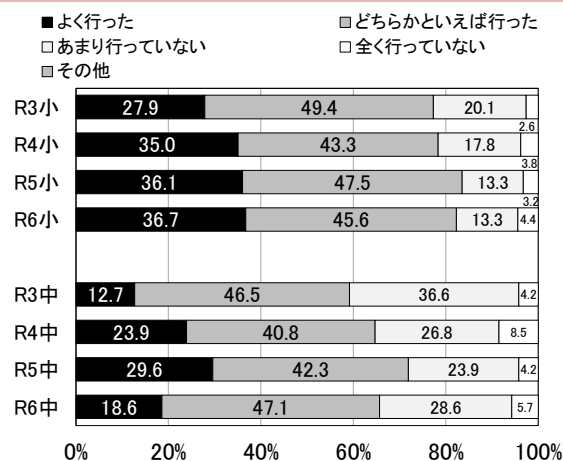
2 ホームページ等を更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。



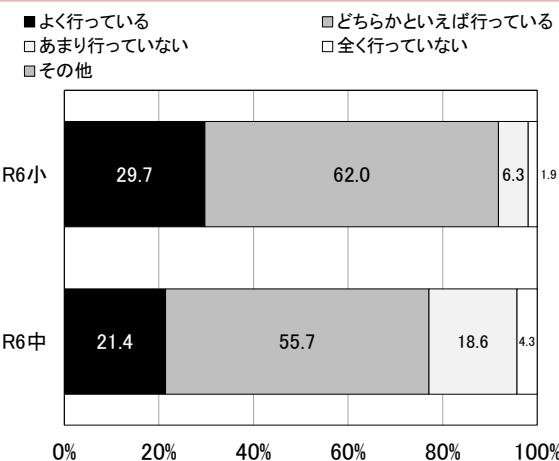
3 PTAや地域の人々が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。



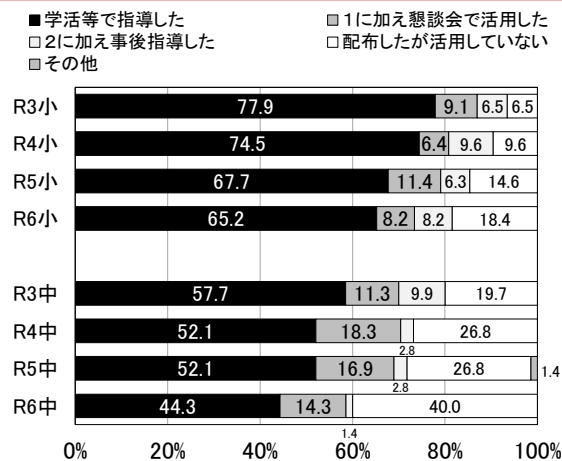
4 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。



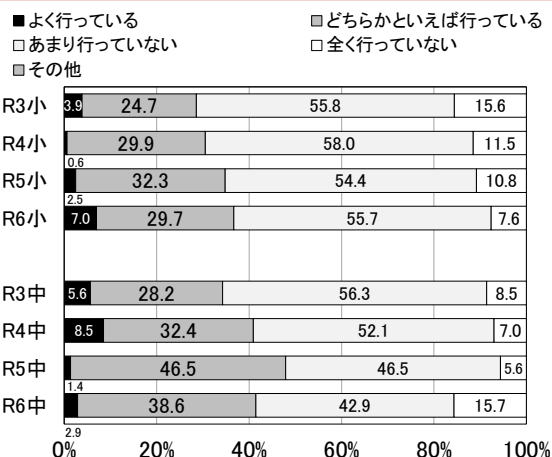
5 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、目指すべき教育の在り方を家庭や地域と共有できるよう取り組んでいますか。



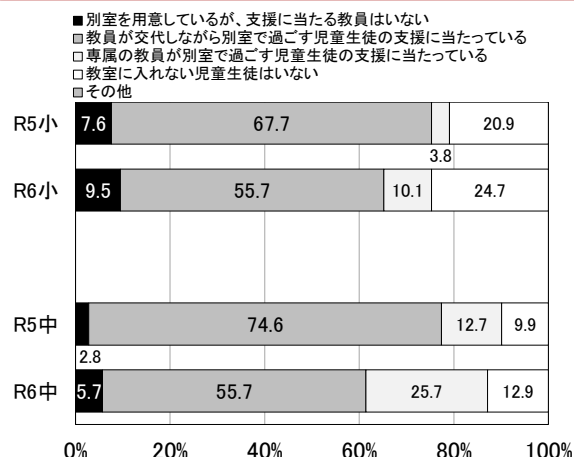
6 「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。



7 いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。

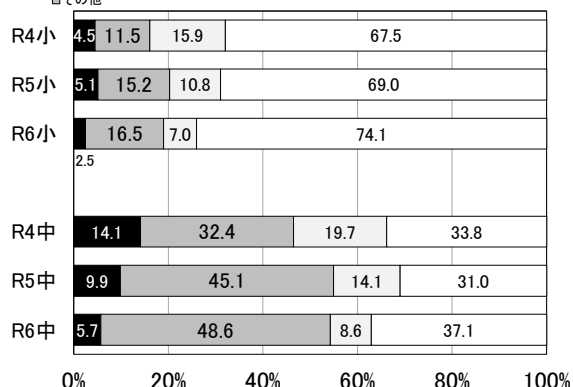


8 教室に入りにくい児童生徒に対してどのように支援を行っていますか。



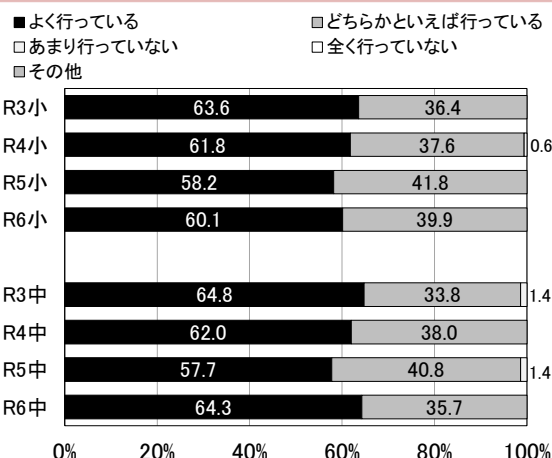
9 ヤングケアラーと思われる児童生徒について、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。

■要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある
□要対協に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある
□外部の支援につないでいない(学校で対応している)
□ヤングケアラーと思われる児童生徒はいなかった
□その他

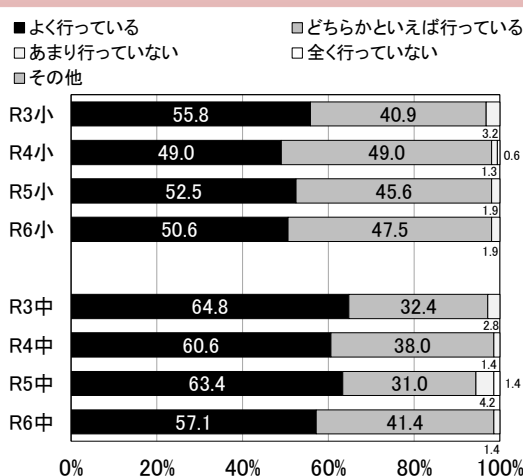


2 社会性・道徳性の育成

10 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。

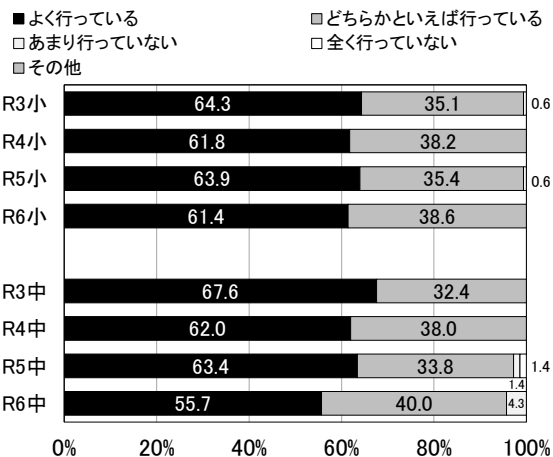


11 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。

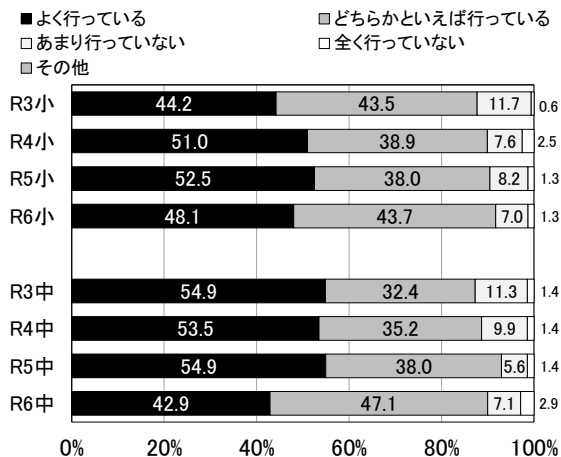


※「0.0」は省略しています。

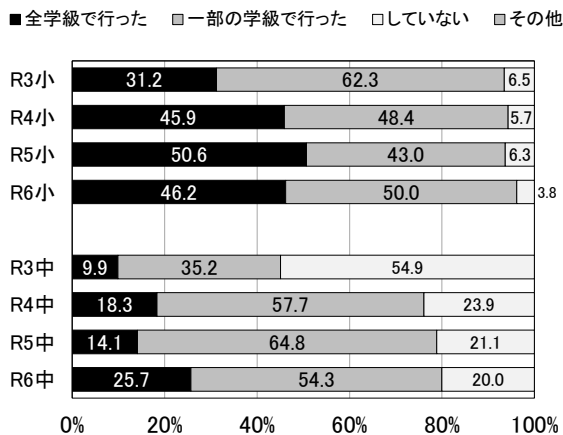
12 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。



13 児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。（特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む）。

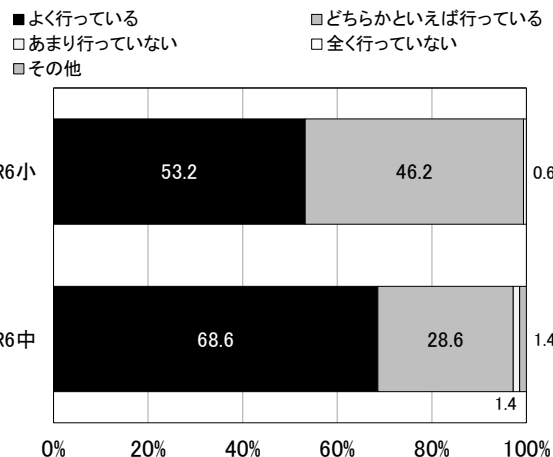


14 保護者などに道徳の授業を公開しましたか。（本年度の予定を含む）

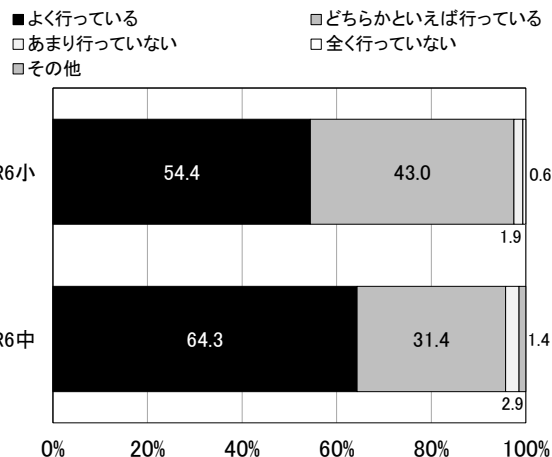


3 基礎的・基本的内容の定着

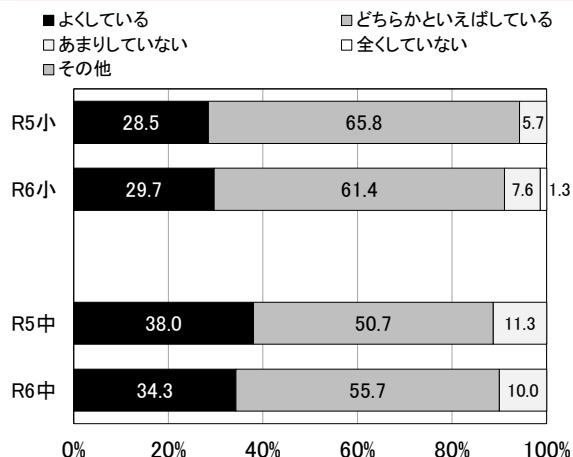
15 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる機会を設けていますか。



16 算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする機会を設けていますか。

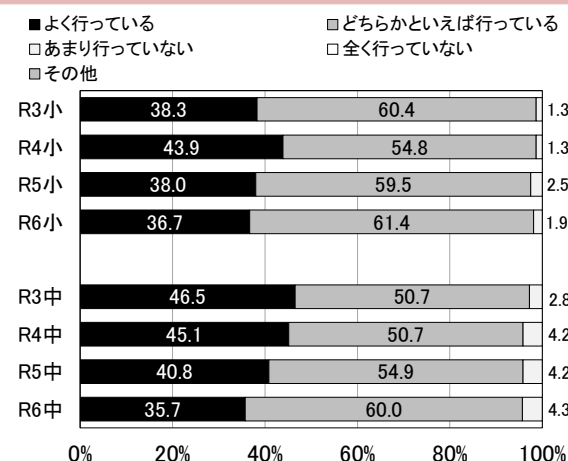


17 学習指導において、児童（生徒）一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫していますか。

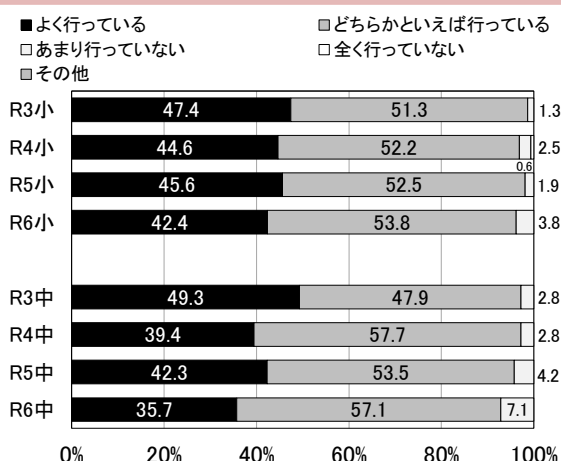


4 指導方法等について

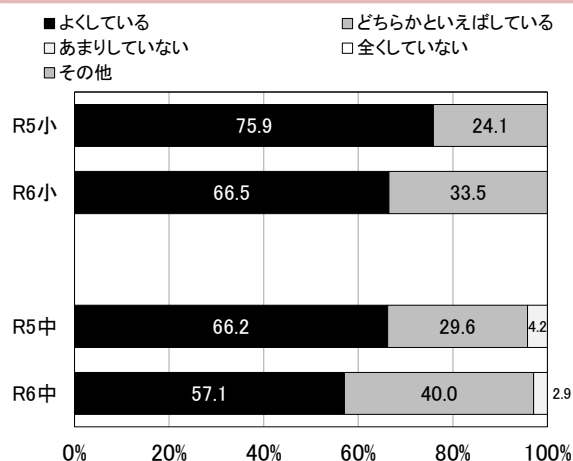
18 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。



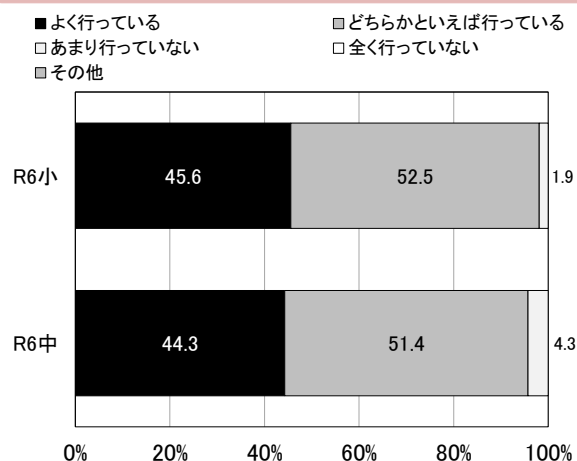
19 単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。



20 授業の最初に、児童生徒が自分の目標（めあて・ねらい）をもてるように工夫していますか。

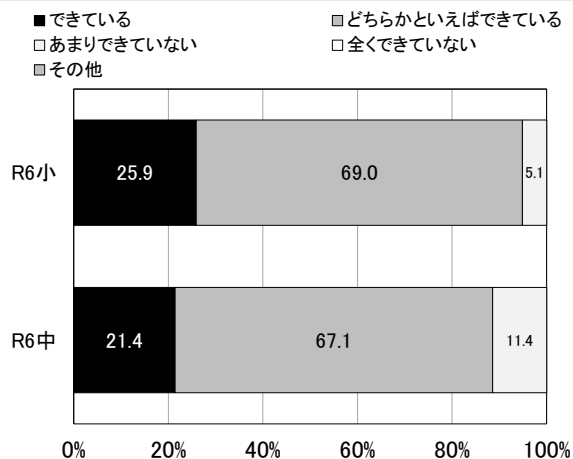


21 学習した内容について分かった点やよく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげるための振り返る活動を計画的に取り入れていますか。

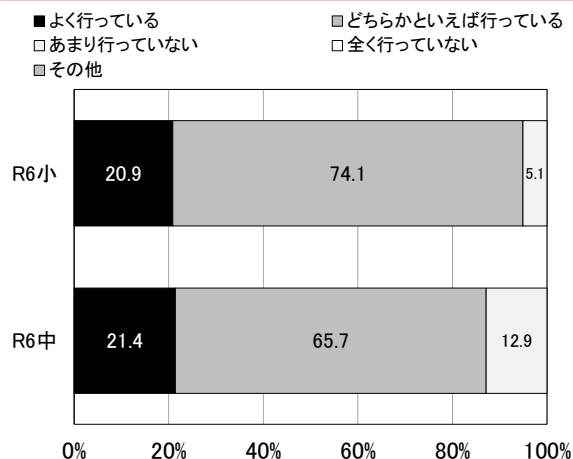


※「0.0」は省略しています。

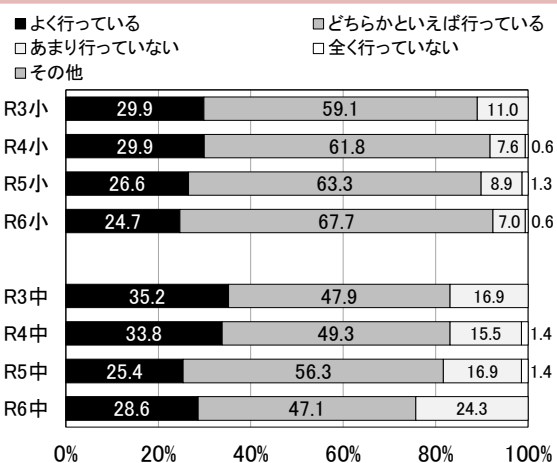
22 授業で、児童生徒が課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組めるように授業を工夫していますか。



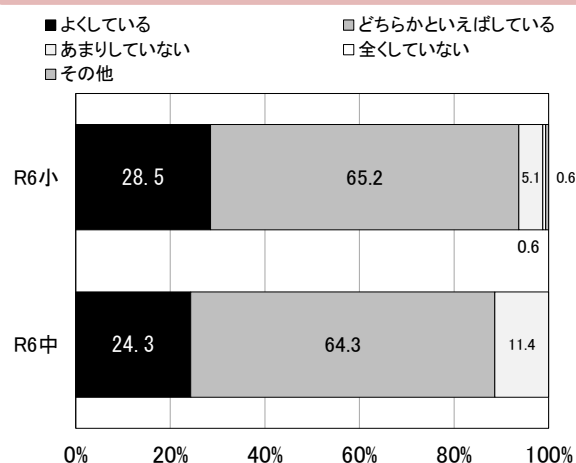
23 授業で、児童生徒が課題解決に向けて試行錯誤する場を設けていますか。



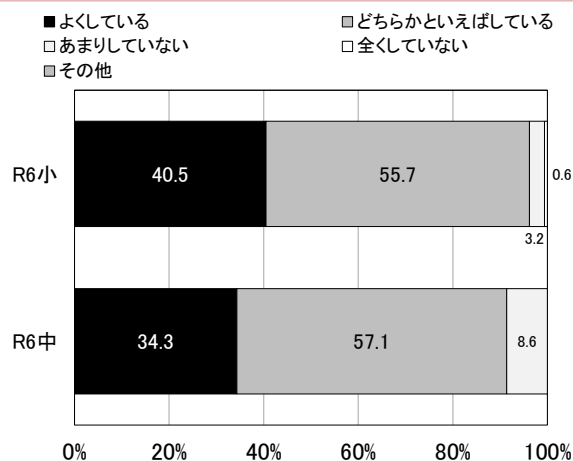
24 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。



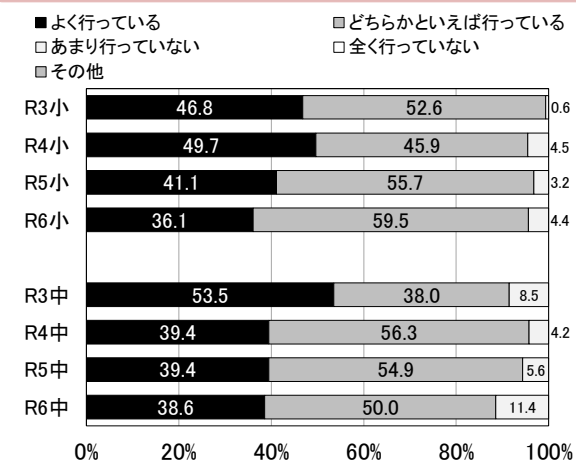
25 授業で、児童生徒が必要感をもって話し合いができるよう工夫していますか。



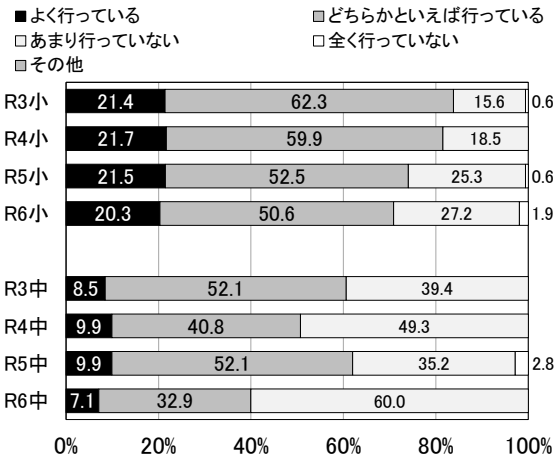
26 普通の授業で、児童生徒の自由な発想や多様な考えを受け入れるなど誰もが参加しやすい学び合いになるように工夫していますか。



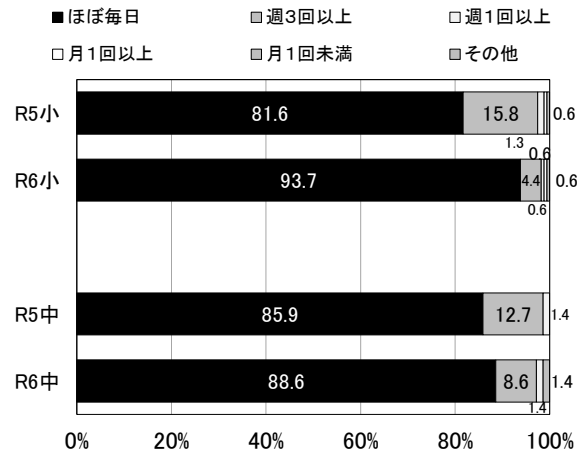
27 普通の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。



28 新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。

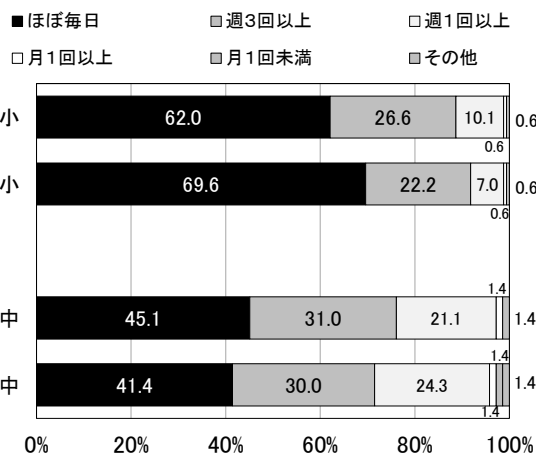


29 普段の授業で、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を、1クラス当たりどの程度行っていますか。

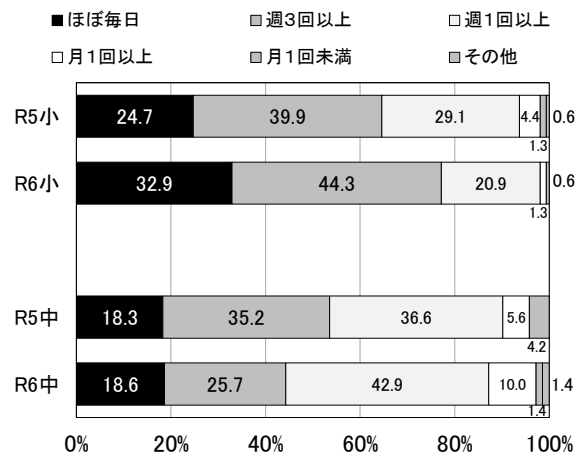


※R5から「1クラス当たり」の文言が追加されています。

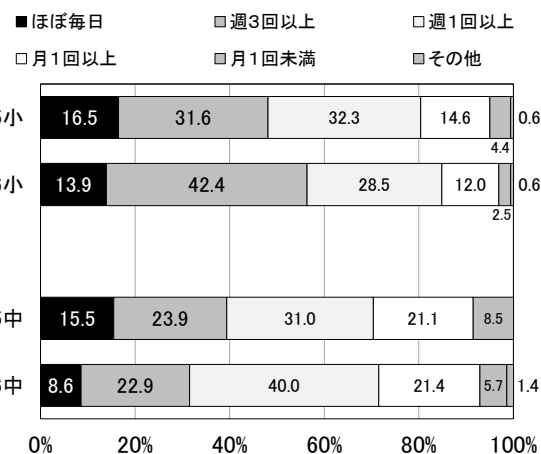
30 児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、6年生（3年生）の授業で、どの程度活用していますか。



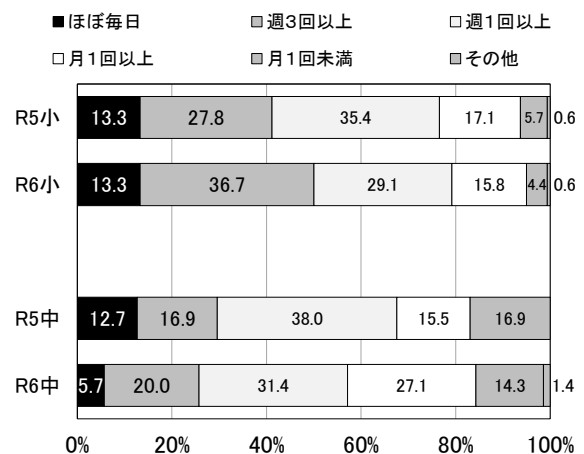
31 6年生の児童（3年生の生徒）が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。



32 6年生の児童（3年生の生徒）が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。

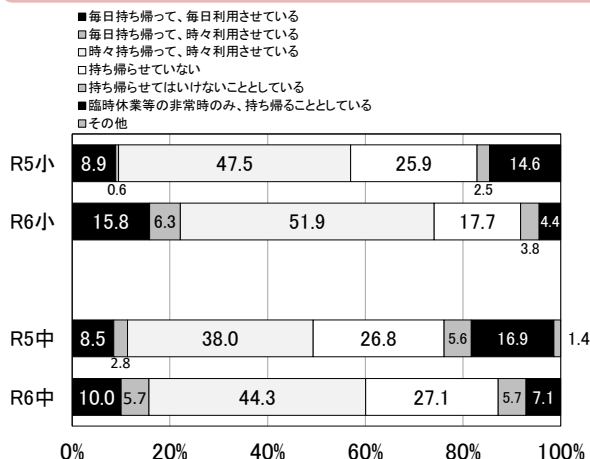


33 6年生の児童（3年生の生徒）同士がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。

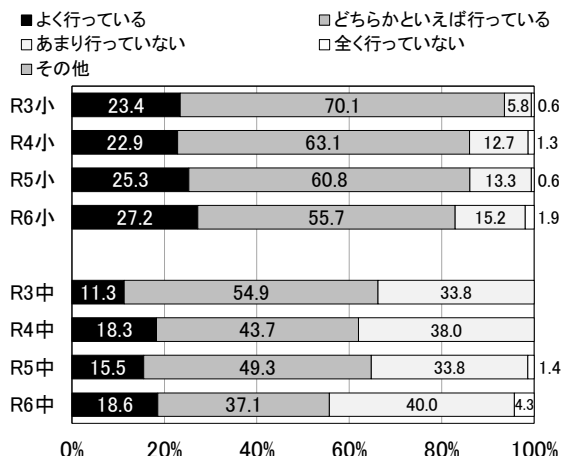


※「0.0」は省略しています。

34 児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。

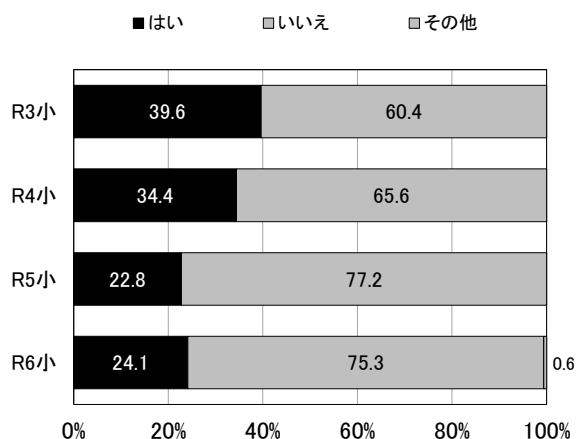


35 「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）



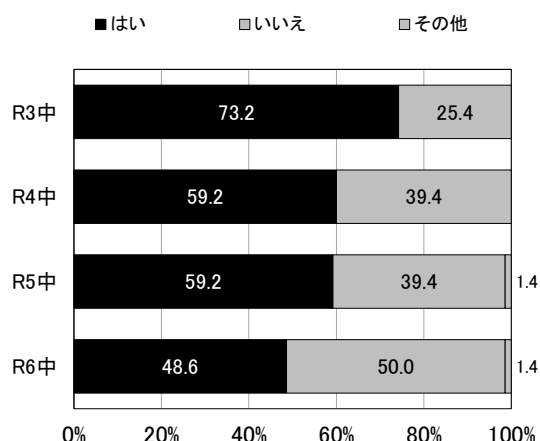
小学校

36 外国語活動（小5・6年外国語を含む）の授業について、校内研修を実施しましたか。

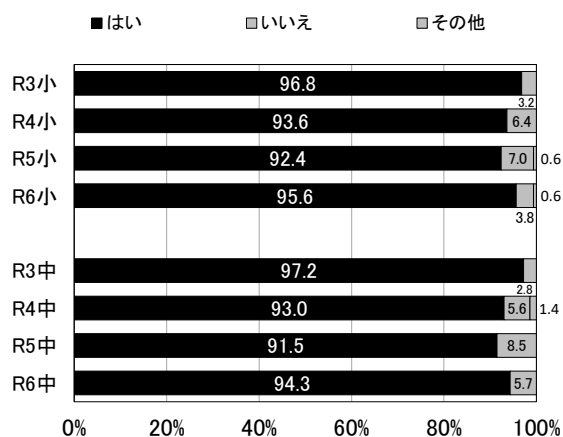


中学校

36 小学校外国語活動（小5・6年外国語を含む）の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。



37 小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組みを行いましたか。（予定を含む）



さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕

授業力向上に役立つ情報がたくさん掲載されています。研修等でぜひご活用ください。

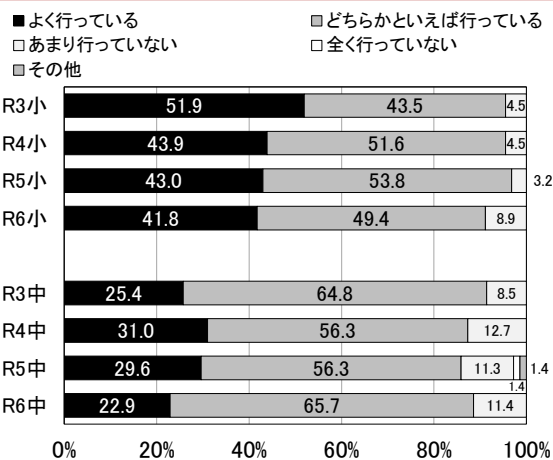


『さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕』

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/14668/kisokihon-all.pdf>

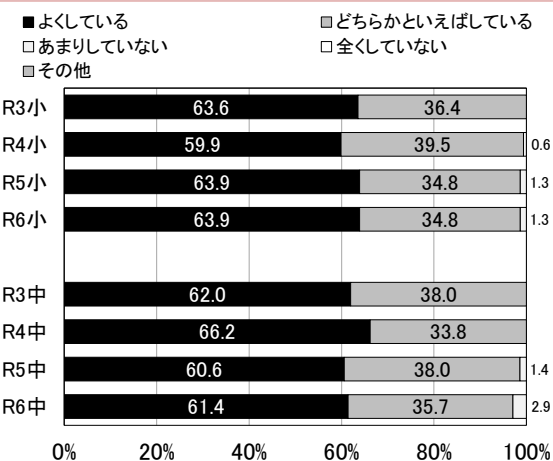
5 家庭学習

38 家庭学習の取組みとして、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。

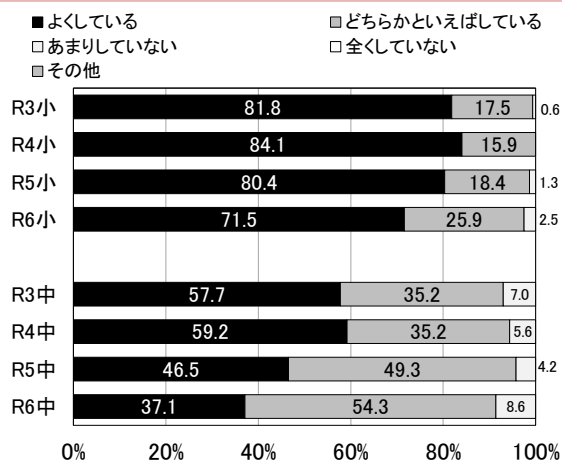


6 学校経営他

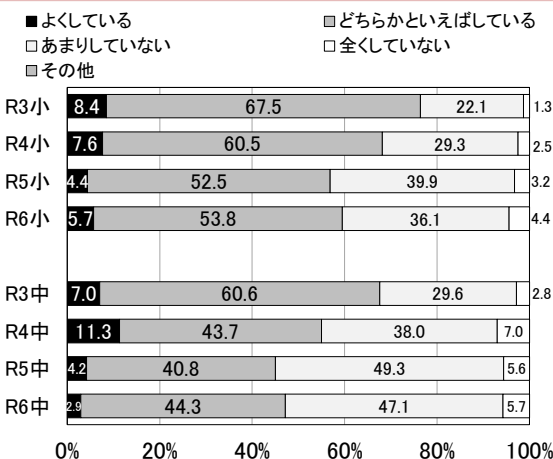
39 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組みに当たっていますか。



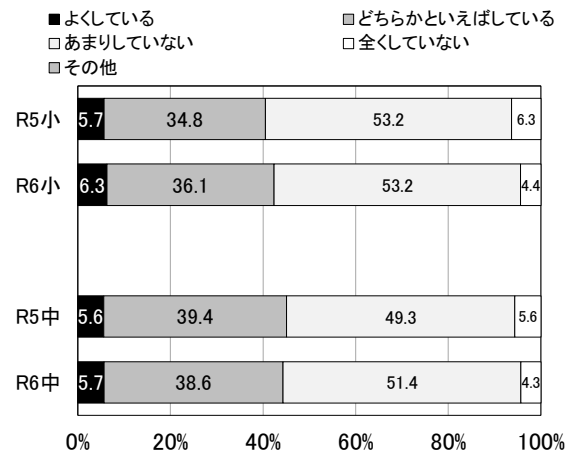
40 模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。



41 現職教育等で「さめきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。

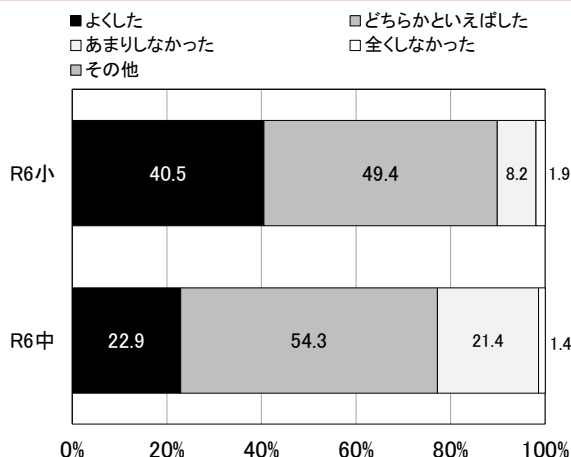


42 現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。

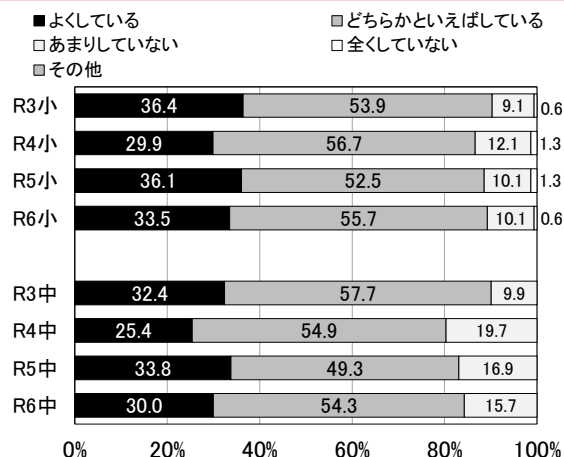


※「0.0」は省略しています。

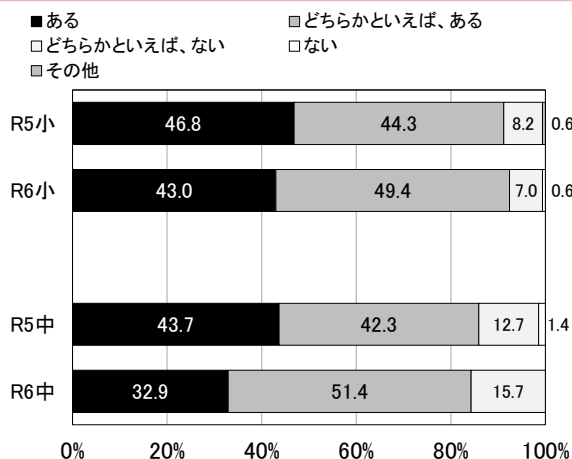
43 前年度、県の学習状況調査の結果を分析し、具体的な授業や評価の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。



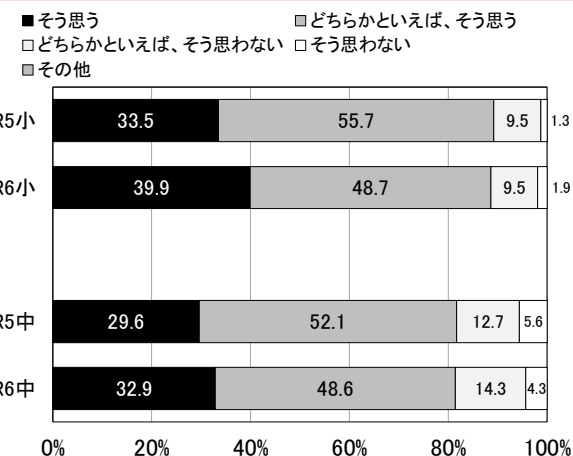
44 ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。



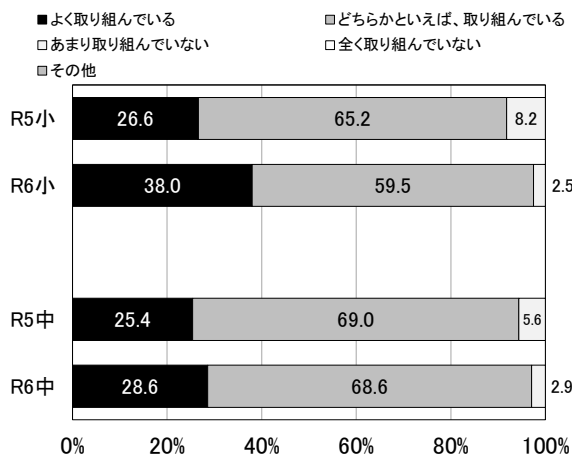
45 教員がコンピュータなどのＩＣＴ機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか。



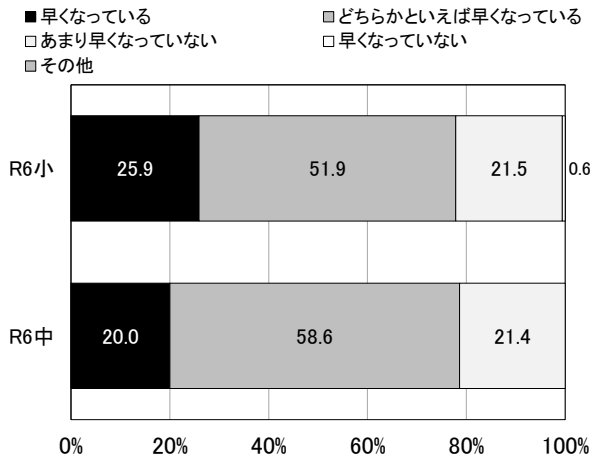
46 コンピュータなどのＩＣＴ機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。



47 ＩＣＴを活用した校務の効率化（事務の軽減）に取り組んでいますか。



48 校務の改善や効率化等により、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。



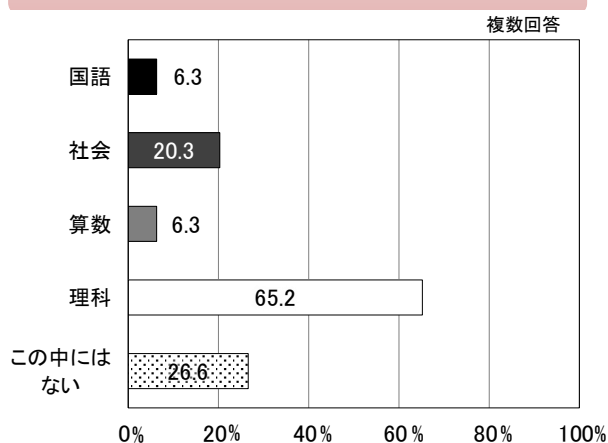
49 教職員は、毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。

■把握できている □どちらかといえば把握できている
□あまり把握できていない □把握できていない
□その他



小学校

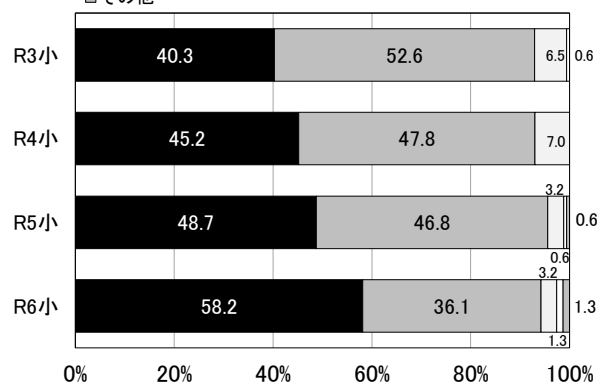
51 第5学年において、今年度専科教員による指導を行っている教科は何ですか。
(国語・社会・算数・理科)



小学校

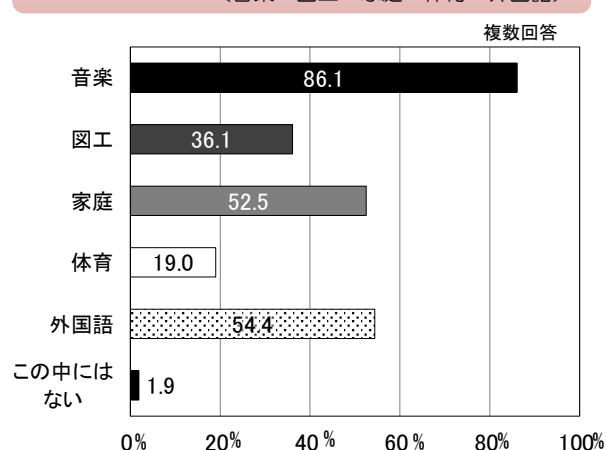
50 幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の観点から、連携した取組みを行っていますか。
(予定を含む)

■よく行っている □どちらかといえば行っている
□あまり行っていない □全く行っていない
□その他



小学校

52 第5学年において、今年度専科教員による指導を行っている教科は何ですか。
(音楽・図工・家庭・体育・外国語)



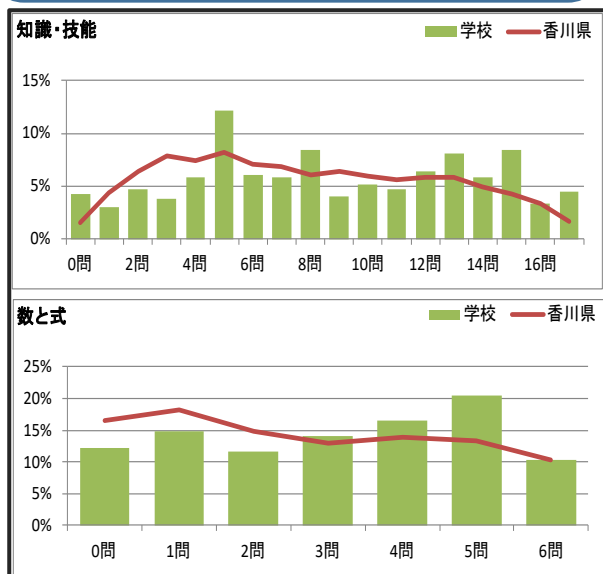
※「0.0」は省略しています。

調査結果を学校課題の改善に活用しましょう！

各校にCD-ROMで調査結果が送付されています。全県調査結果との比較等ができますので、教育課程を評価する資料の一つとして分析・検証を行い、学校課題の改善に活用しましょう。

〈調査結果の一例〉

各教科の領域等別の習熟度から分析



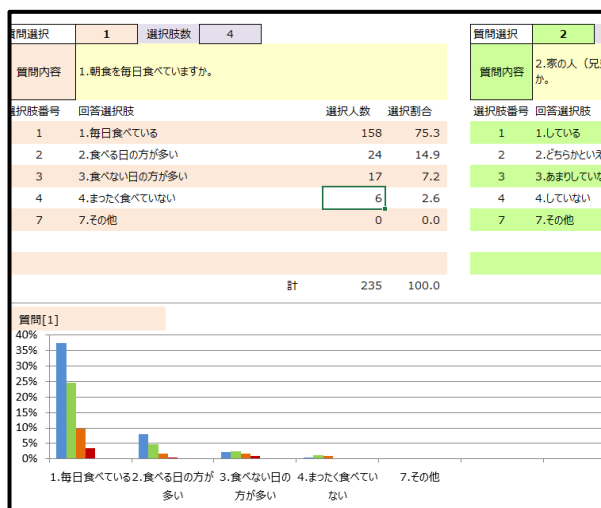
領域等別の習熟度の様子を棒グラフで示しています。平均点に捉われず、棒グラフの高低に着目して習熟度の散らばりを見ることが、授業改善につながります。

質問紙調査の結果一覧から分析

児童生徒質問紙調査結果									
質問No	質問内容	選択人数	選択1	選択2	選択3	選択4	選択5	選択6	肯定的割合
1	1.朝食を毎日食べていますか。	4	55.3	24.9	17.2	2.6		0.0	90.2
2	2.家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話していますか。	4	58.1	23.2	14.0	4.7		0.0	81.3
3	3.家の手伝いをしていますか。	4	17.0	43.0	33.2	6.8		0.0	60.0
4	4.ものごみを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	4	67.7	26.3	4.7	1.3		0.0	94.0
5	5.おずかいにとでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	4	19.6	49.8	24.7	6.0		0.0	69.4
6	6.自分には、よいところがあると思いますか。	4	33.6	36.2	21.7	7.7		0.9	69.8
7	7.将来の夢や目標を持っていますか。	4	24.0	35.1	27.1	13.8		0.0	63.4
8	8.学校のきまりを守っていますか。	4	58.4	38.7	2.0	0.4		0.4	97.0
9	9.係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	4	61.7	33.9	3.5	0.9		0.0	95.3
10	10.人が困っているときは、進んで助けていますか。	4	34.9	56.6	7.0	1.5		0.0	91.5
11	11.近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	4	41.8	37.7	14.0	6.4		0.0	79.6
12	12.人の気持ちや自分も人にもうかがい（配慮）していますか。	4	73.6	20.9	3.4	1.7		0.4	94.5

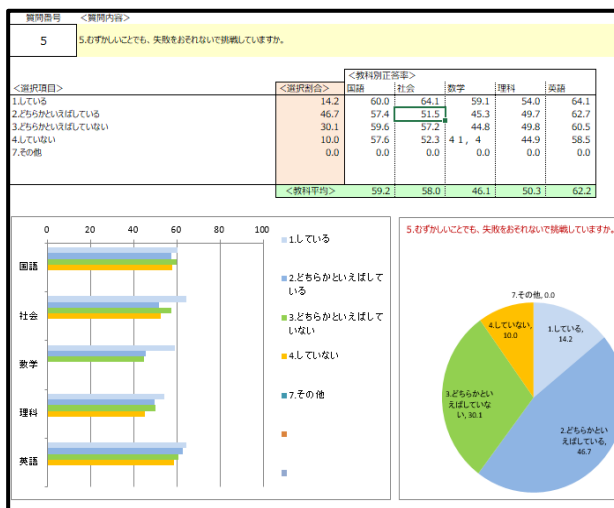
質問紙調査結果の一覧が示されます。並べ替えて肯定的割合が高い順番に表示することもできますので、児童生徒の成果や課題を把握する一つの材料となります。

質問×質問のクロス集計から分析



任意の質問の調査結果が、クロス集計で示されます。児童生徒の生活や学習の状況を把握し、指導内容・指導方法の工夫・改善につなげることができます。

質問×成績のクロス集計から分析



任意の質問の回答別各教科正答率が示されます。生活習慣の改善が、学習に向かう意識の変容につながることも考えられます。

分析・検証の際に整理した成果と課題に基づいて、年間指導計画や校内指導体制等を見直し、次年度計画の作成に生かすことでより良い学校づくりを目指しましょう。さらに、児童生徒や保護者に対して、送付された個人成績表も加味しながら良さやつまずきの状況を伝え、今後の見通しをもつ機会を積極的に設けましょう。

